

5 あなたの普段の生活について

問21 あなたが、防災対策として実践しているものはありますか。

<○は当てはまるものすべて>

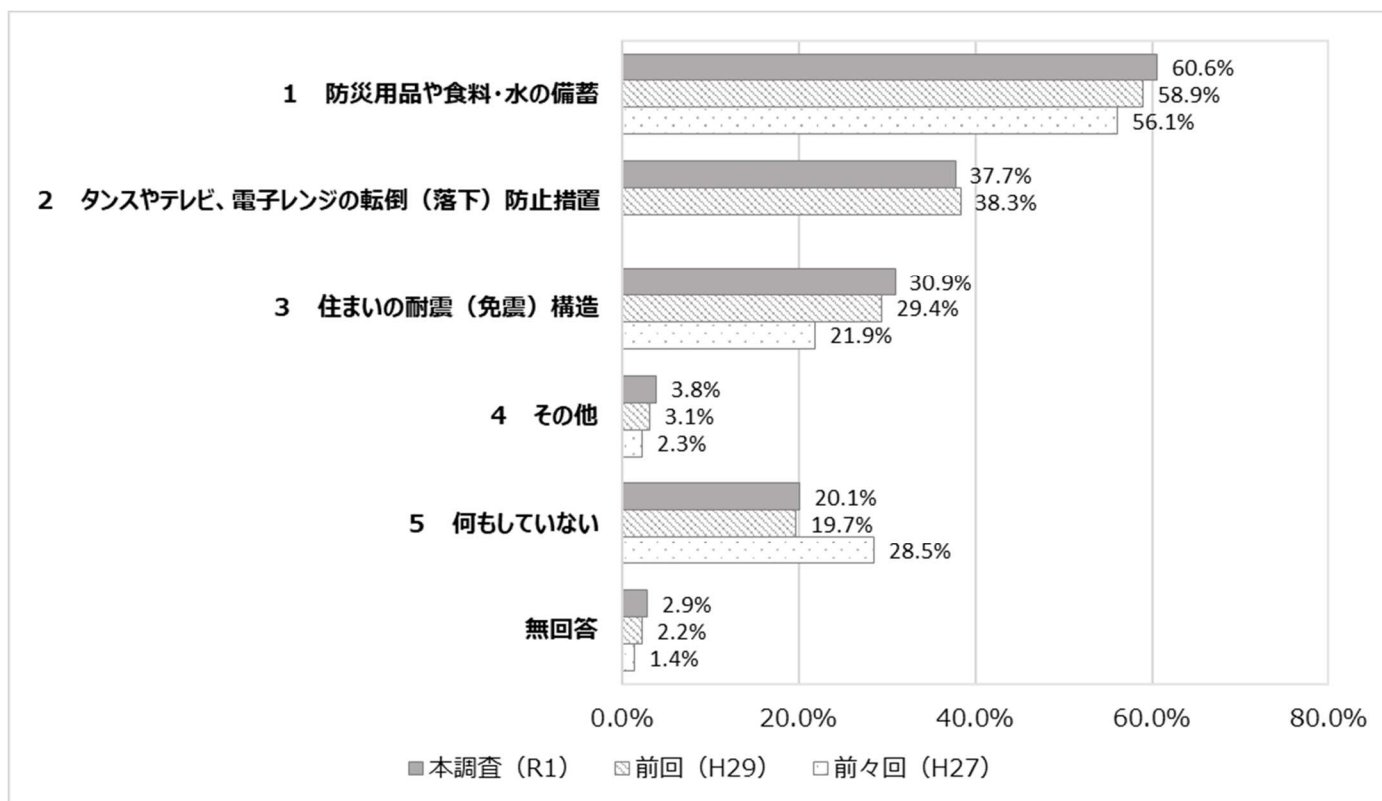
① 全体集計の結果

●防災対策として実施しているものは、「防災用品や食料・水の備蓄」が6割

- ・防災対策として実施しているものについては、「防災用品や食料・水の備蓄」が898人(60.6%)で最も多く、「タンスやテレビ、電子レンジの転倒(落下)防止措置」が559人(37.7%)、「住まいの耐震(免震)構造」が458人(30.9%)で続いている。
- ・過年度調査と比べると、「防災用品や食料・水の備蓄」「住まいの耐震(免震)構造」が増加した。

選択肢	本調査(R1)		前回(H29)	前々回(H27)
	回答数(人)	構成比	構成比	構成比
1 防災用品や食料・水の備蓄	898	60.6%	58.9%	56.1%
2 タンスやテレビ、電子レンジの転倒(落下)防止措置	559	37.7%	38.3%	-
3 住まいの耐震(免震)構造	458	30.9%	29.4%	21.9%
4 その他	57	3.8%	3.1%	2.3%
5 何もしていない	298	20.1%	19.7%	28.5%
無回答	43	2.9%	2.2%	1.4%
全体(有効回答数)	1481			

<過年度調査との比較(項目順)>



5 あなたの普段の生活について

問 21 あなたが、防災対策として実践しているものはありますか。 <○は当てはまるものすべて>

② クロス集計

【地区別】

・全ての地区で「防災用品や食料・水の備蓄」が最も多く、「タンスやテレビ、電子レンジの転落(落下)防止措置」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
筑波地区 (n=101)	防災用品や食料・水の備蓄		何もしていない		タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置		住まいの耐震(免震)構造		その他	
	44	43.6%	35	34.7%	29	28.7%	19	18.8%	1	1.0%
大穂地区 (n=95)	防災用品や食料・水の備蓄		タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置		何もしていない		住まいの耐震(免震)構造		その他	
	55	57.9%	28	29.5%	23	24.2%	22	23.2%	1	1.1%
豊里地区 (n=104)	防災用品や食料・水の備蓄		タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置		何もしていない		住まいの耐震(免震)構造		その他	
	56	53.8%	32	30.8%	27	26.0%	26	25.0%	7	6.7%
谷田部地区 (n=192)	防災用品や食料・水の備蓄		タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置		住まいの耐震(免震)構造		何もしていない		その他	
	104	54.2%	73	38.0%	59	30.7%	38	19.8%	6	3.1%
桜地区 (n=126)	防災用品や食料・水の備蓄		タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置		住まいの耐震(免震)構造		何もしていない		その他	
	83	65.9%	45	35.7%	37	29.4%	21	16.7%	5	4.0%
荻崎地区 (n=153)	防災用品や食料・水の備蓄		タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置		何もしていない		住まいの耐震(免震)構造		その他	
	87	56.9%	57	37.3%	39	25.5%	31	20.3%	10	6.5%
研究学園地区 (n=440)	防災用品や食料・水の備蓄		タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置		住まいの耐震(免震)構造		何もしていない		その他	
	295	67.0%	193	43.9%	127	28.9%	75	17.0%	20	4.5%
TX沿線地区 (n=270)	防災用品や食料・水の備蓄		住まいの耐震(免震)構造		タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置		何もしていない		その他	
	174	64.4%	137	50.7%	102	37.8%	40	14.8%	7	2.6%

【年齢別】

・全ての年齢で「防災用品や食料・水の備蓄」が最も多く、「タンスやテレビ、電子レンジの転落(落下)防止措置」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
10歳代 (n=25)	防災用品や食料・水の備蓄		タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置		住まいの耐震(免震)構造		何もしていない		-	
	14	56.0%	9	36.0%	8	32.0%	5	20.0%	-	-
20歳代 (n=105)	防災用品や食料・水の備蓄		何もしていない		タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置		住まいの耐震(免震)構造		その他	
	48	45.7%	38	36.2%	32	30.5%	16	15.2%	8	7.6%
30歳代 (n=241)	防災用品や食料・水の備蓄		住まいの耐震(免震)構造		タンスやテレビ、電子レンジの転倒 (落下)防止措置		何もしていない		その他	
	153	63.5%	83	34.4%	77	32.0%	48	19.9%	7	2.9%
40歳代 (n=319)	防災用品や食料・水の備蓄		タンスやテレビ、電子レンジの転倒(落下)防止措置 ／住まいの耐震(免震)構造		何もしていない		その他			
	218	68.3%	117	36.7%	48	15.0%	16	5.0%		
50歳代 (n=248)	防災用品や食料・水の備蓄		タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置		住まいの耐震(免震)構造		何もしていない		その他	
	142	57.3%	108	43.5%	74	29.8%	59	23.8%	3	1.2%
60～64歳 (n=131)	防災用品や食料・水の備蓄		タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置		住まいの耐震(免震)構造		何もしていない		その他	
	88	67.2%	56	42.7%	49	37.4%	20	15.3%	6	4.6%
65～69歳 (n=118)	防災用品や食料・水の備蓄		タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置		住まいの耐震(免震)構造		何もしていない		その他	
	71	60.2%	45	38.1%	36	30.5%	20	16.9%	3	2.5%
70～74歳 (n=169)	防災用品や食料・水の備蓄		タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置		住まいの耐震(免震)構造		何もしていない		その他	
	92	54.4%	72	42.6%	42	24.9%	32	18.9%	10	5.9%
75歳以上 (n=119)	防災用品や食料・水の備蓄		タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置		住まいの耐震(免震)構造		何もしていない		その他	
	70	58.8%	40	33.6%	30	25.2%	26	21.8%	4	3.4%

【世帯構成別】

- ・全ての世帯構成で「防災用品や食料・水の備蓄」が最も多く、「タンスやテレビ、電子レンジの転落(落下)防止措置」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
ひとり暮らし (n=175)	防災用品や食料・水の備蓄		何もしていない		タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置		住まいの耐震(免震)構造		その他	
	84	48.0%	62	35.4%	45	25.7%	21	12.0%	7	4.0%
夫婦のみ (n=380)	防災用品や食料・水の備蓄		タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置		住まいの耐震(免震)構造		何もしていない		その他	
	246	64.7%	174	45.8%	126	33.2%	65	17.1%	16	4.2%
親子 (n=703)	防災用品や食料・水の備蓄		タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置		住まいの耐震(免震)構造		何もしていない		その他	
	461	65.6%	282	40.1%	255	36.3%	101	14.4%	28	4.0%
三世同居 (n=132)	防災用品や食料・水の備蓄		何もしていない		タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置		住まいの耐震(免震)構造		その他	
	69	52.3%	38	28.8%	33	25.0%	30	22.7%	3	2.3%
その他 (n=84)	防災用品や食料・水の備蓄		何もしていない		住まいの耐震(免震)構造		タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置		その他	
	36	42.9%	29	34.5%	23	27.4%	22	26.2%	3	3.6%

【住まい別】

- ・全ての住まいで「防災用品や食料・水の備蓄」が最も多くなっている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位		
一戸建(持ち家) (n=996)	防災用品や食料・水の備蓄		タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置		住まいの耐震(免震)構造		何もしていない		その他		
	617	61.9%	380	38.2%	359	36.0%	175	17.6%	39	3.9%	
一戸建(借家) (n=40)	防災用品や食料・水の備蓄		タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置		その他		住まいの耐震(免震)構造/何もしていない				
	23	57.5%	16	40.0%	11	27.5%	2		5.0%		
集合住宅(分譲) (n=133)	防災用品や食料・水の備蓄		その他		タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置		何もしていない		住まいの耐震(免震)構造		
	91	68.4%	69	51.9%	64	48.1%	13	9.8%	3	2.3%	
集合住宅(賃貸) (n=244)	防災用品や食料・水の備蓄		住まいの耐震(免震)構造		その他		タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置		何もしていない		
	131	53.7%	83	34.0%	71	29.1%	16	6.6%	10	4.1%	
公営住宅(公社・ 県営・市営) (n=18)	防災用品や食料・水の備蓄/その他				住まいの耐震(免震)構造		タンスやテレビ、電子レンジの転倒(落下)防止措置/何もしていない				
	9		50.0%		3		16.7%		1		5.6%
社宅・官舎 (n=25)	防災用品や食料・水の備蓄		その他		住まいの耐震(免震)構造		タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置		何もしていない		
	15	60.0%	11	44.0%	6	24.0%	3	12.0%	2	8.0%	
その他 (n=16)	防災用品や食料・水の備蓄		住まいの耐震(免震)構造		タンスやテレビ、電子レンジの転倒(落下)防止措置/その他				何もしていない		
	8	50.0%	5	31.3%	4		25.0%		1		6.3%

5 あなたの普段の生活について

問 22 あなたは、地域の住民が協力して行う防犯活動（防犯ボランティアなど）に参加していますか。〈○は1つ〉

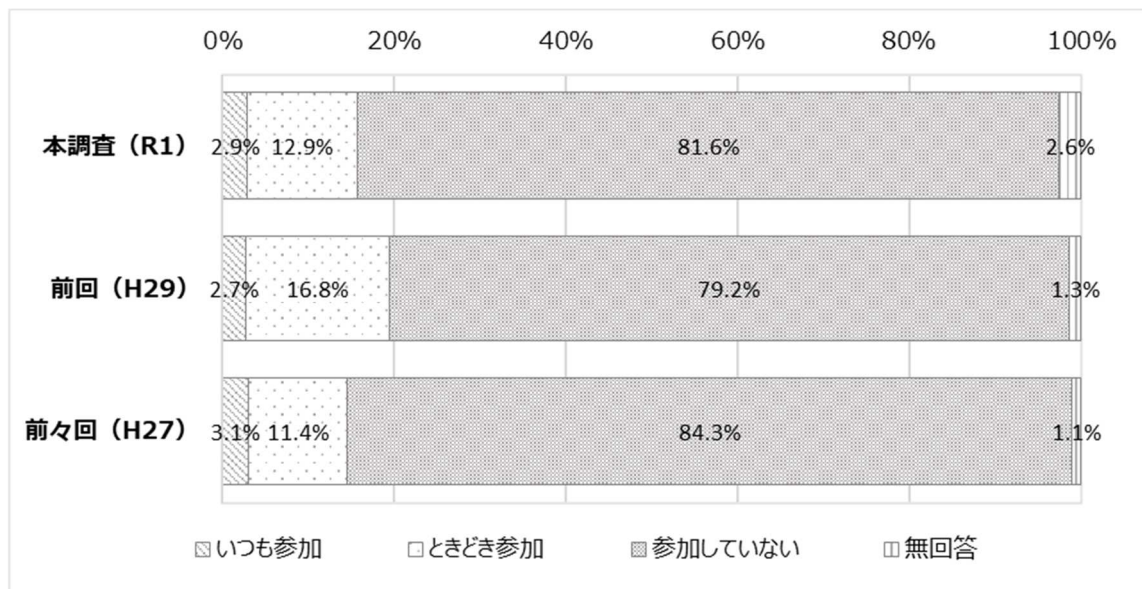
① 全体集計の結果

●防犯活動に「参加していない」が8割超え

・防犯活動への参加については、「参加していない」が1,209人(81.6%)で最も多く、「ときどき参加」が191人(12.9%)、「いつも参加」が43人(2.9%)で続いている。

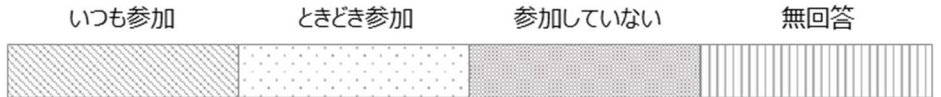
選択肢	本調査(R1)		前回(H29)	前々回(H27)
	回答数(人)	構成比	構成比	構成比
いつも参加	43	2.9%	2.7%	3.1%
ときどき参加	191	12.9%	16.8%	11.4%
参加していない	1209	81.6%	79.2%	84.3%
無回答	38	2.6%	1.3%	1.1%
全体(有効回答数)	1481	100.0%	100.0%	100.0%

〈過年度調査との比較〉



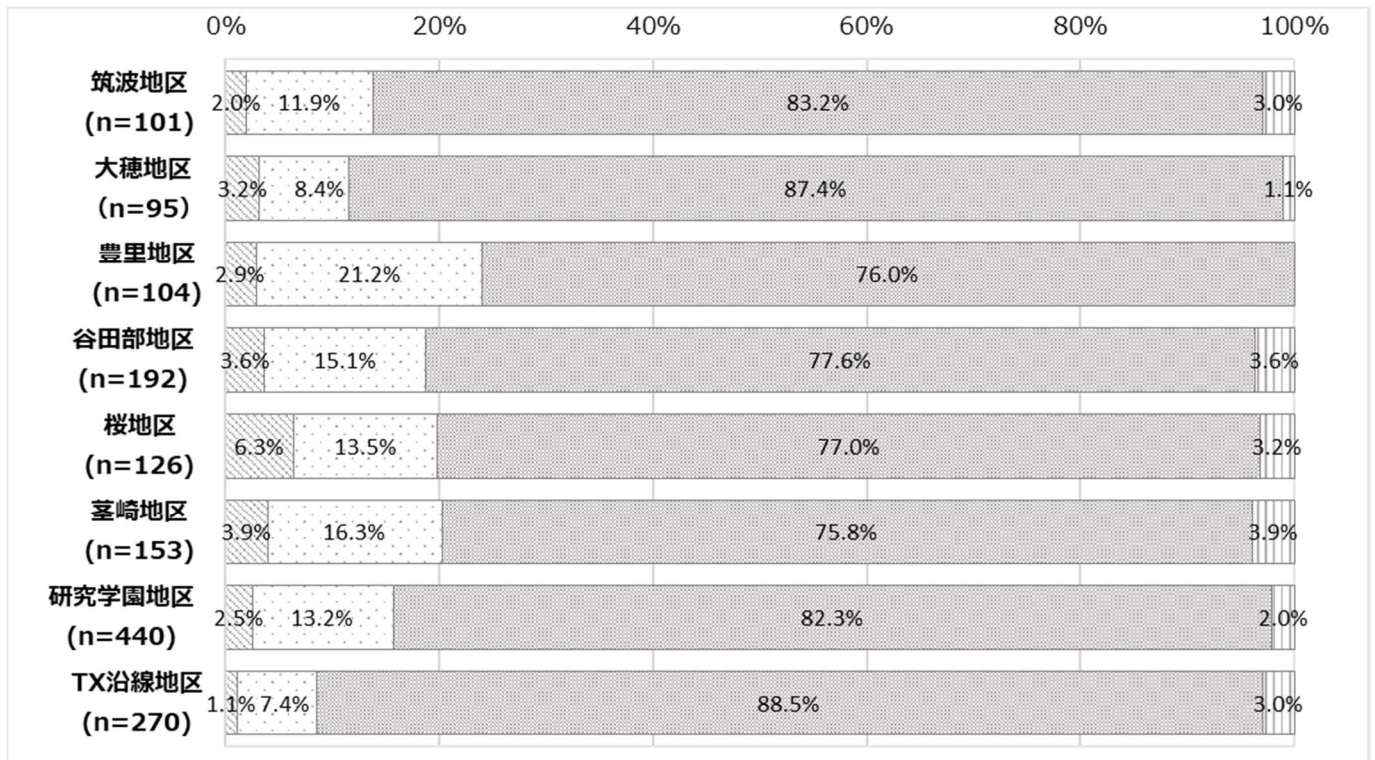
問 22 あなたは、地域の住民が協力して行う防犯活動（防犯ボランティアなど）に参加していますか。〈○は1つ〉

② クロス集計



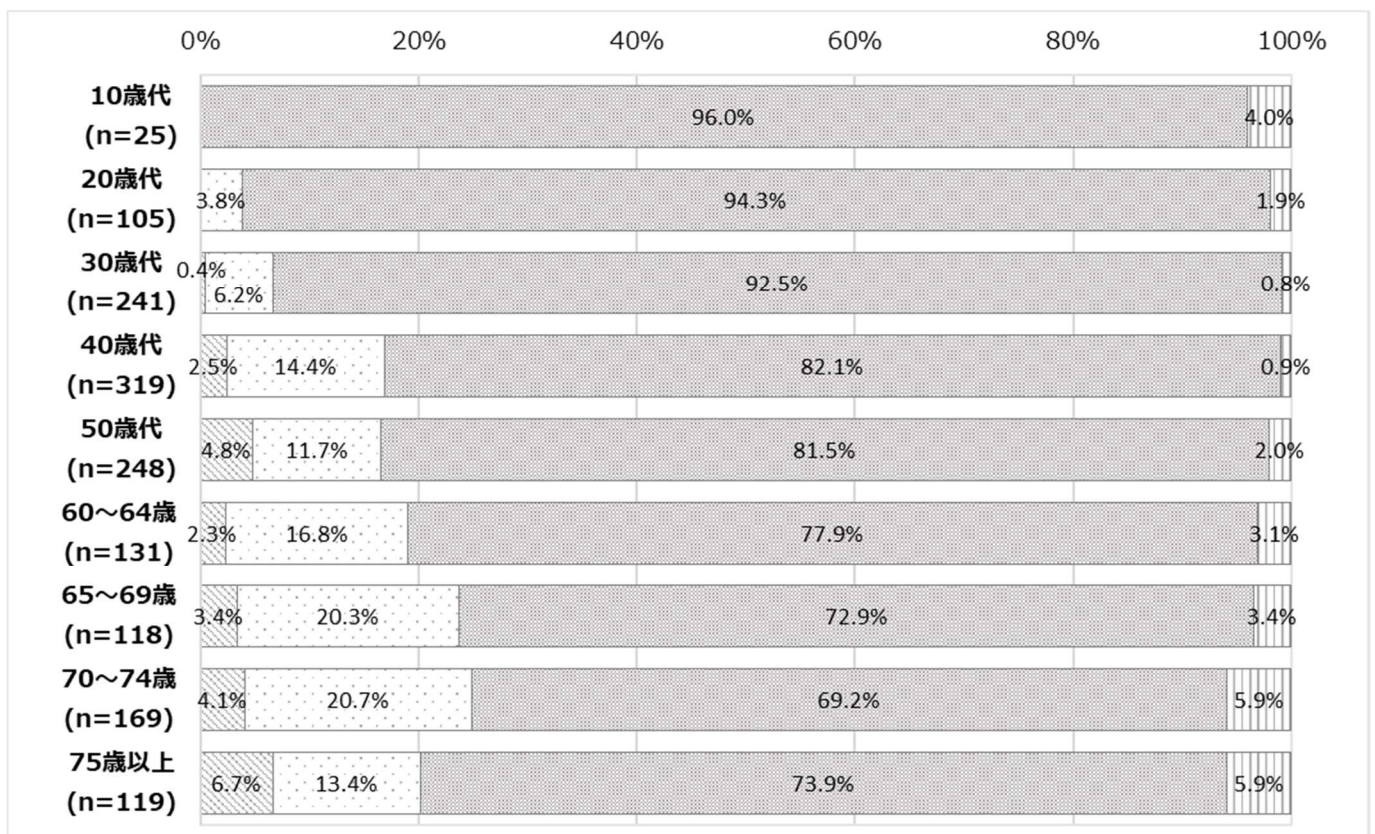
【地区別】

- ・筑波地区、大穂地区、研究学園地区、TX 沿線地区では「参加していない」の割合が80%を超えている。
- ・豊里地区、荃崎地区では「いつも参加/ときどき参加」の割合が20%を超えている。



【年齢別】

- ・全ての年齢で「参加していない」の割合が最も多くなっている。
- ・60～69歳、70～74歳、75歳以上では「いつも参加/ときどき参加」の割合が20%を超えている。
- ・10歳代、20歳代では「いつも参加/ときどき参加」の割合が5%を下回っている。

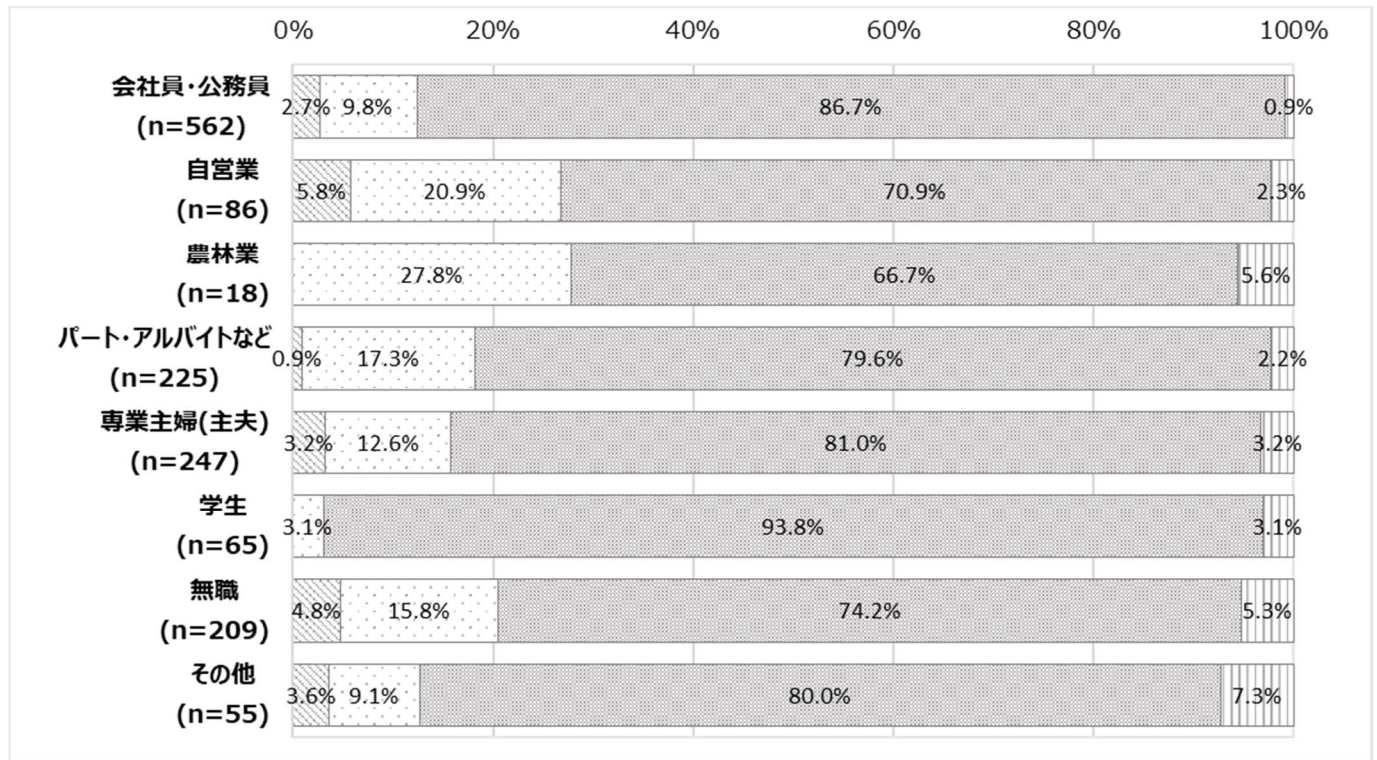


5 あなたの普段の生活について

いつも参加 ときどき参加 参加していない 無回答

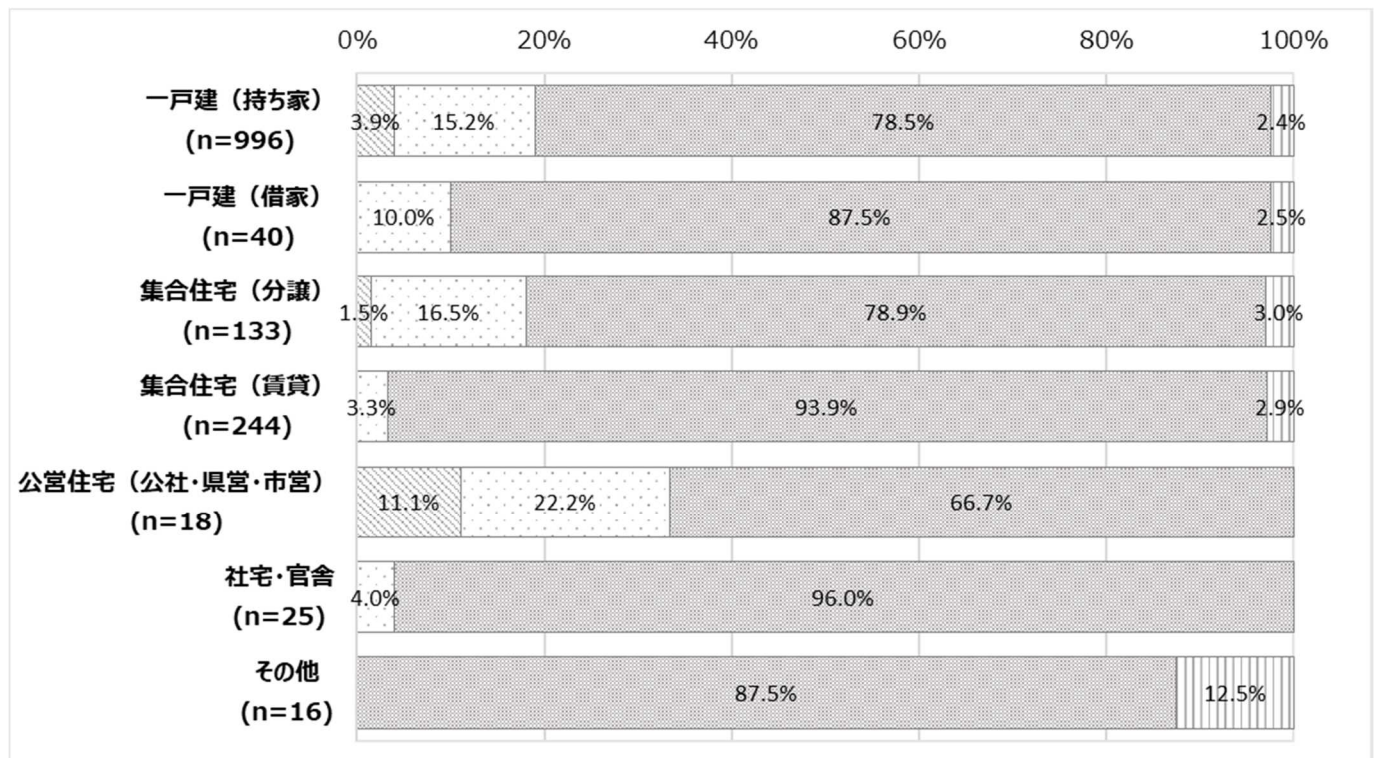
【職業別】

- ・学生では「参加してしない」の割合が他の職業に比べて最も多く、90%を超えている。
- ・自営業、農林業、無職では「いつも参加/ときどき参加」の割合が20%を超えている。



【住まい別】

- ・集合住宅(賃貸)、社宅・官舎では「参加してしない」の割合が90%を超えている。
- ・公営住宅(公社・県営・市営)では「いつも参加」の割合が他の住まいに比べて最も多く、10%を超えている。



【問 22 で「3 参加していない」とお答えの方にお聞きします】

問 23 防犯活動に参加しない理由は何ですか。

<〇は1つ>

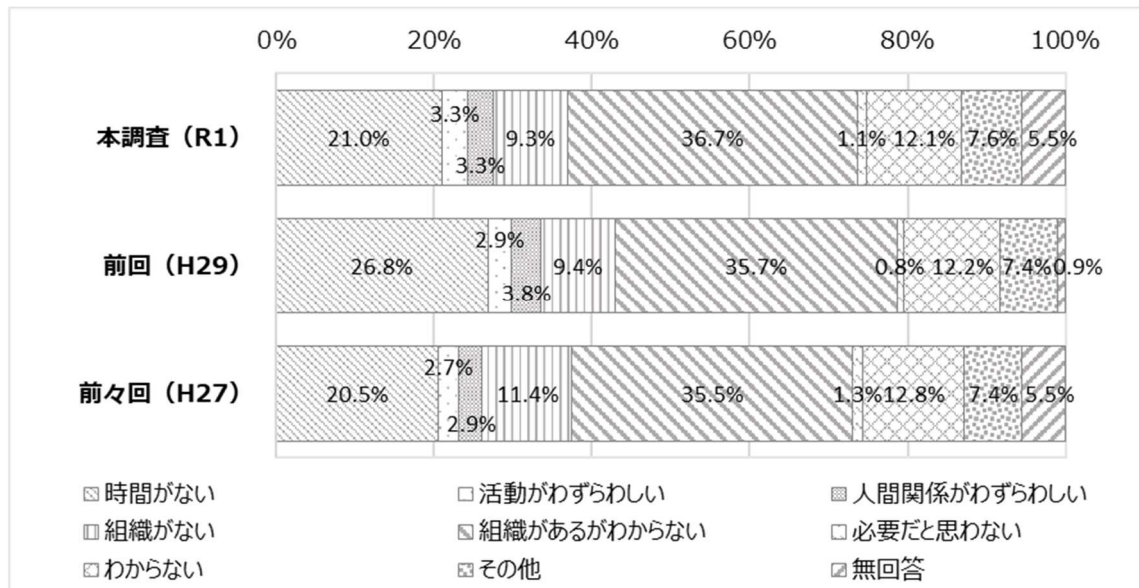
① 全体集計の結果

●防犯活動に参加しない理由は、「組織があるかわからない」が3割半ば

- ・防犯活動に参加しない理由は、「組織があるかわからない」が445人(36.7%)で最も多く、「時間がない」が254人(21.0%)、「組織がない」が113人(9.3%)で続いている。
- ・過年度調査と比べると、「組織があるかわからない」が増加し、「時間がない」が減少している。

選択肢	本調査(R1)		前回(H29)	前々回(H27)
	回答数(人)	構成比	構成比	構成比
時間がない	254	21.0%	26.8%	20.5%
活動がわずらわしい	40	3.3%	2.9%	2.7%
人間関係がわずらわしい	40	3.3%	3.8%	2.9%
組織がない	113	9.3%	9.4%	11.4%
組織があるがわからない	445	36.7%	35.7%	35.5%
必要だと思わない	13	1.1%	0.8%	1.3%
わからない	147	12.1%	12.2%	12.8%
その他	92	7.6%	7.4%	7.4%
無回答	67	5.5%	0.9%	5.5%
全体	1211	100.0%	100.0%	100.0%

<過年度調査との比較>



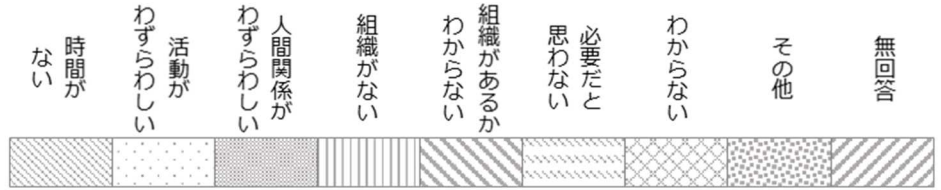
5 あなたの普段の生活について

【問 22 で「3 参加していない」とお答えの方にお聞きします】

問 23 防犯活動に参加しない理由は何ですか。

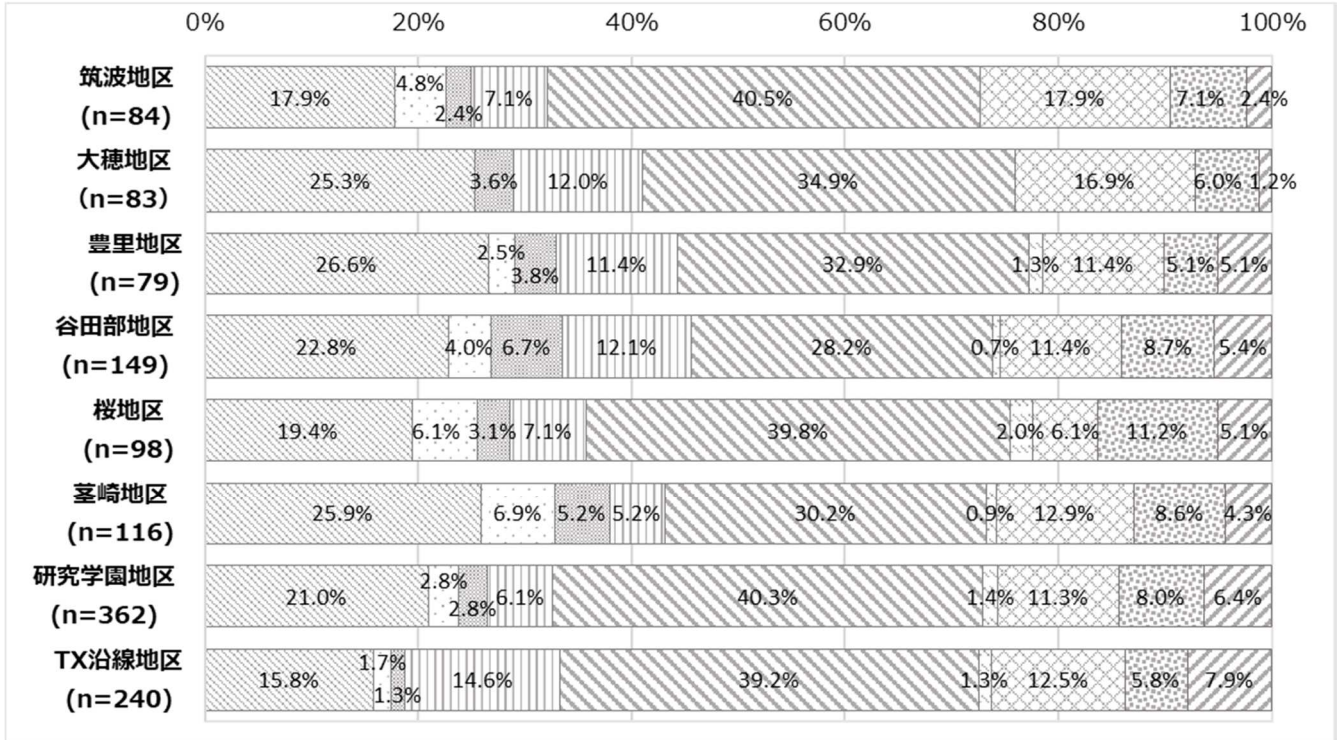
<〇は1つ>

② クロス集計



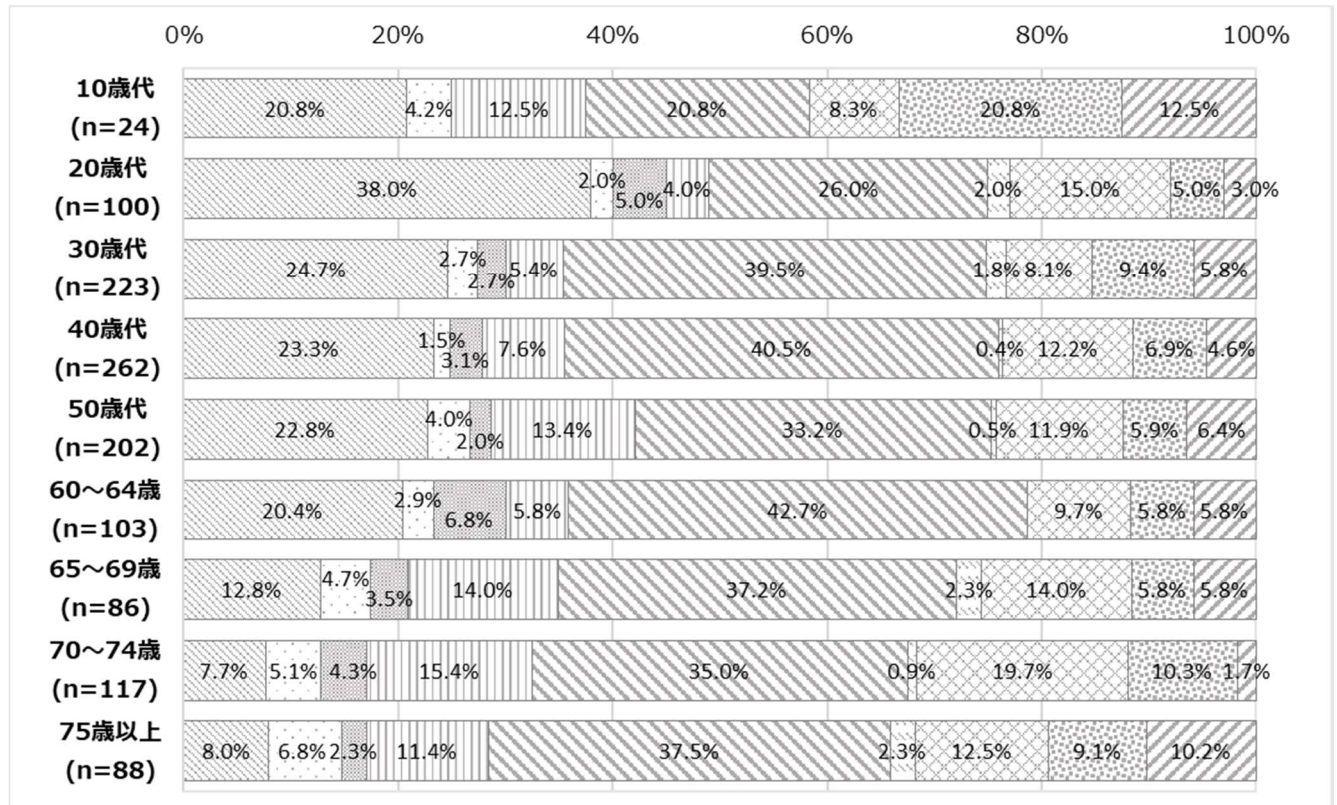
【地区別】

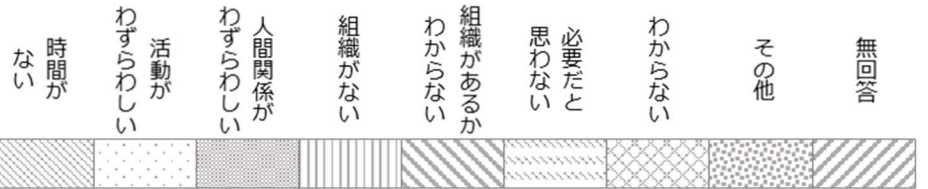
- 全ての地区で「組織があるかわからない」の割合が最も多く、筑波地区、桜地区、研究学園地区、TX 沿線地区では「組織があるかわからない」の割合が 35% を超えている。



【年齢別】

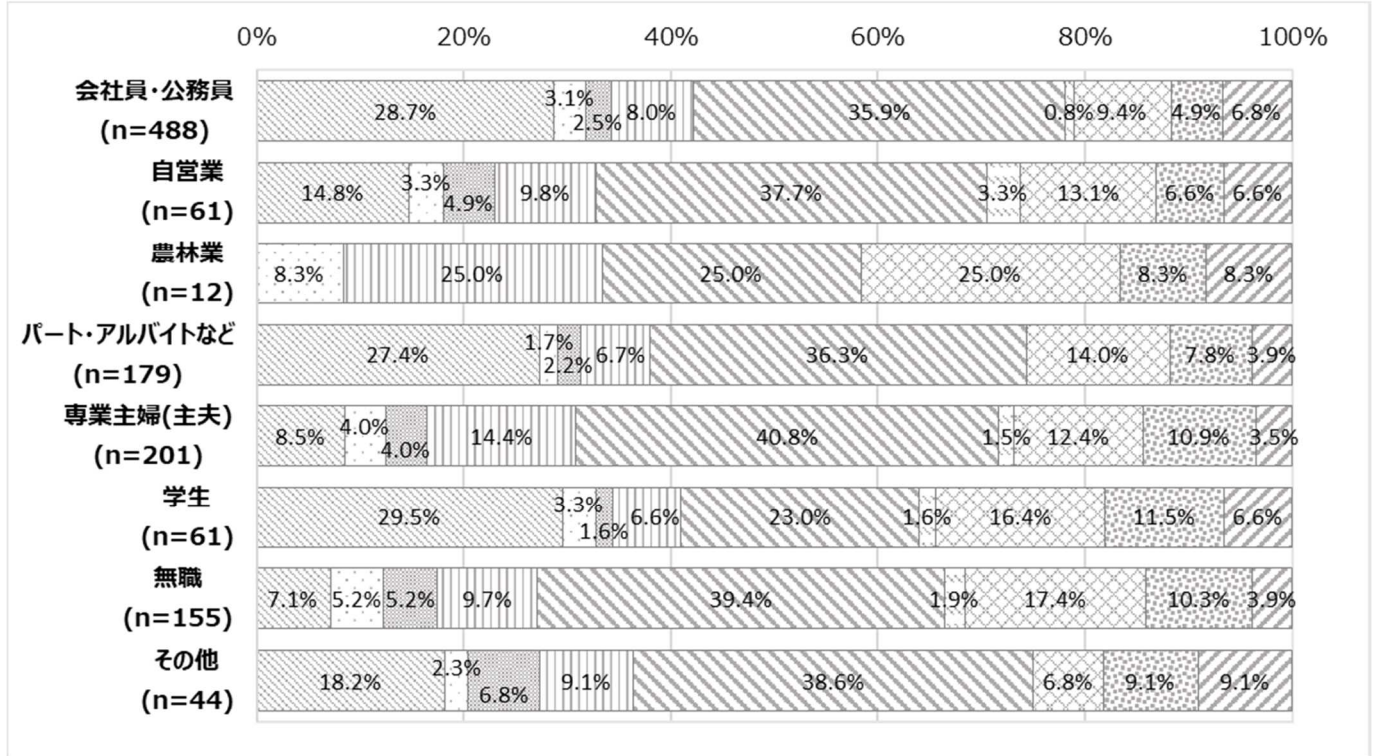
- 20 歳代では「時間がない」の割合が最も多く、35% を超えている。
- 30 歳代以上では「組織があるかわからない」の割合が最も多く、30% を超えている。





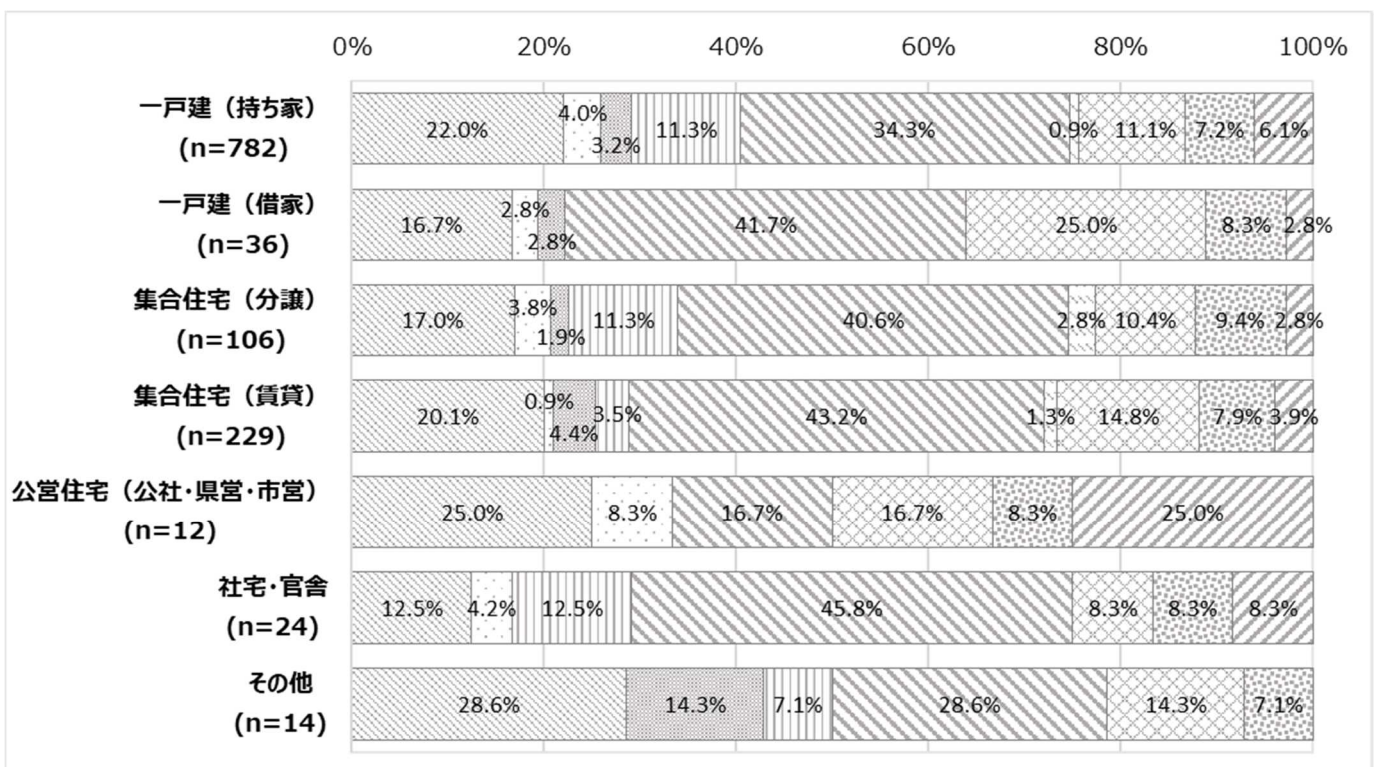
【職業別】

- ・会社員・公務員、パート・アルバイト、学生では「時間がない」の割合が他の職業に比べて多く、25%を超えている。
- ・農林業では「組織がない」の割合が他の職業に比べて多く、25%となっている。



【住まい別】

- ・一戸建(借家)、集合住宅(分譲)、集合住宅(賃貸)、社宅・官舎では「組織があるかわからない」の割合が40%を超えている。



5 あなたの普段の生活について

問 24 あなたの普段の生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活（地域活動・学習・趣味・付き合い等）」の優先度について教えてください。
 <○は1つ>

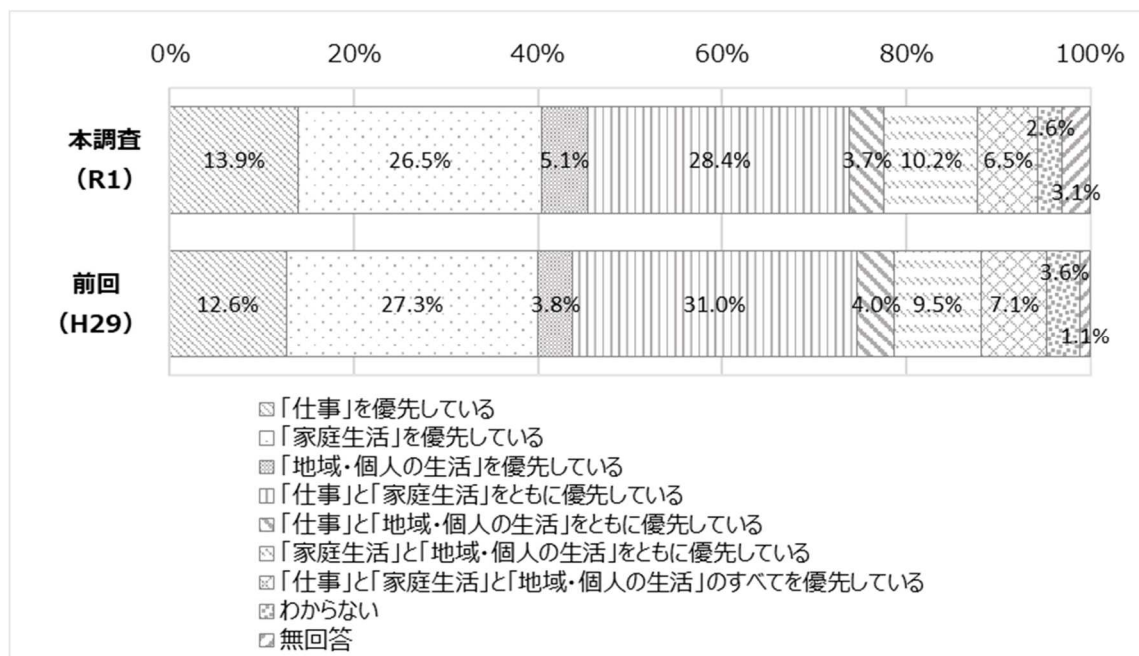
① 全体集計の結果

●普段の生活の中での優先度は、『「仕事」と「家庭生活」をともに優先している』が3割近く

・普段の生活の中での優先度は、「仕事と家庭生活をともに優先している」が421人(28.4%)で最も多く、「家庭生活を優先している」が392人(26.5%)、「仕事を優先している」が206人(13.9%)で続いている。

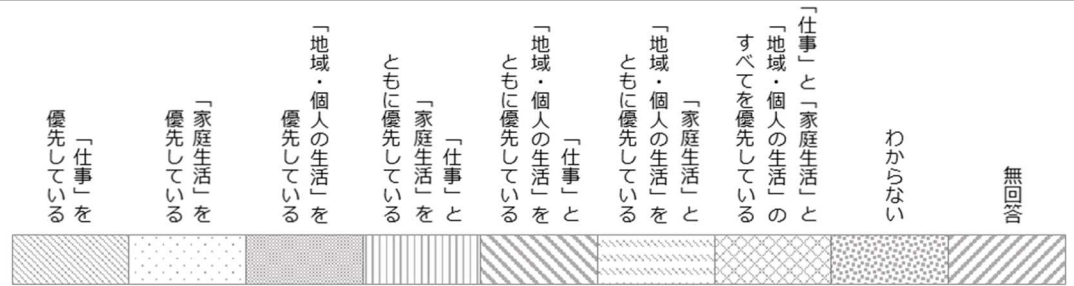
選択肢	本調査(R1)		前回(H29)
	回答数(人)	構成比	構成比
「仕事」を優先している	206	13.9%	12.6%
「家庭生活」を優先している	392	26.5%	27.3%
「地域・個人の生活」を優先している	75	5.1%	3.8%
「仕事」と「家庭生活」をともに優先している	421	28.4%	31.0%
「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している	55	3.7%	4.0%
「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している	151	10.2%	9.5%
「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」のすべてを優先している	96	6.5%	7.1%
わからない	39	2.6%	3.6%
無回答	46	3.1%	1.1%
全体	1481	100.0%	100.0%

<過年度調査との比較>



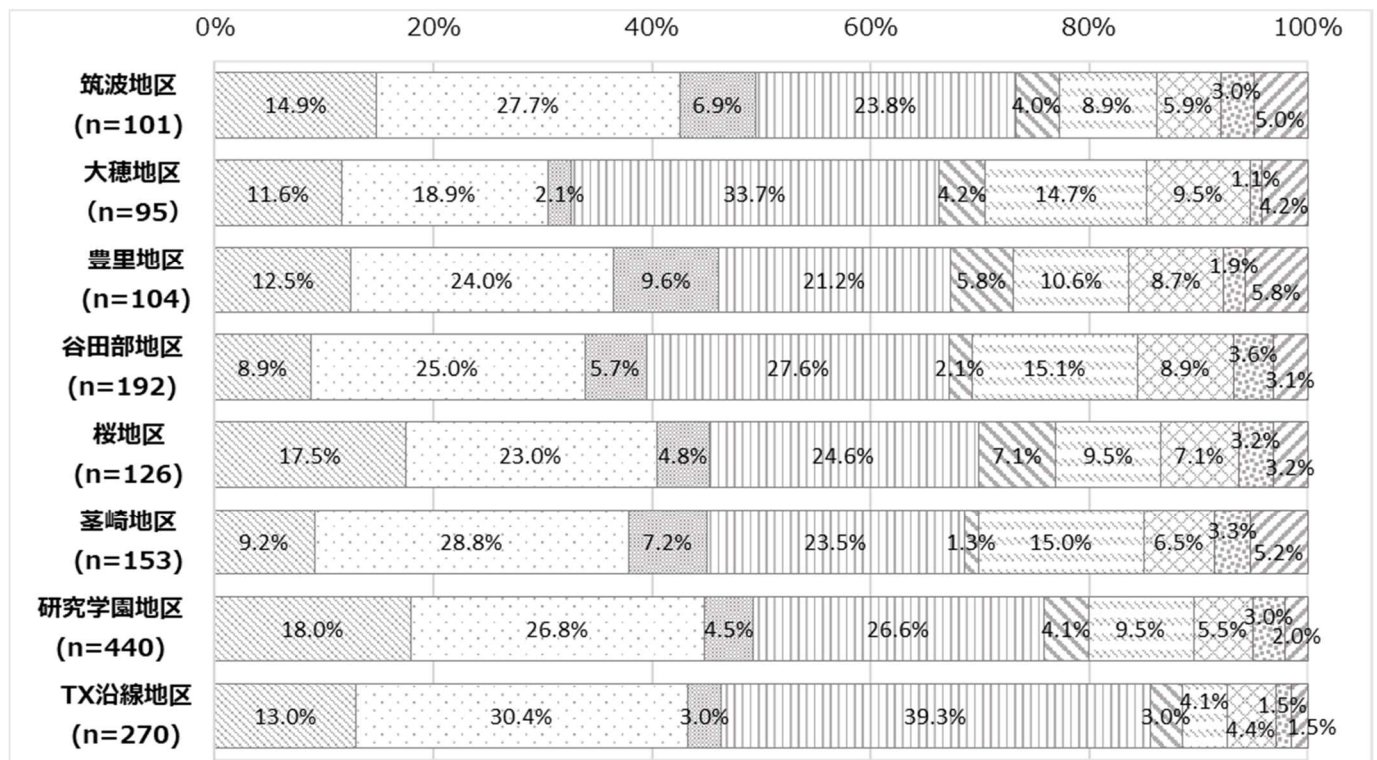
問 24 あなたの普段の生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活（地域活動・学習・趣味・付き合い等）」の優先度について教えてください。
 <〇は1つ>

② クロス集計

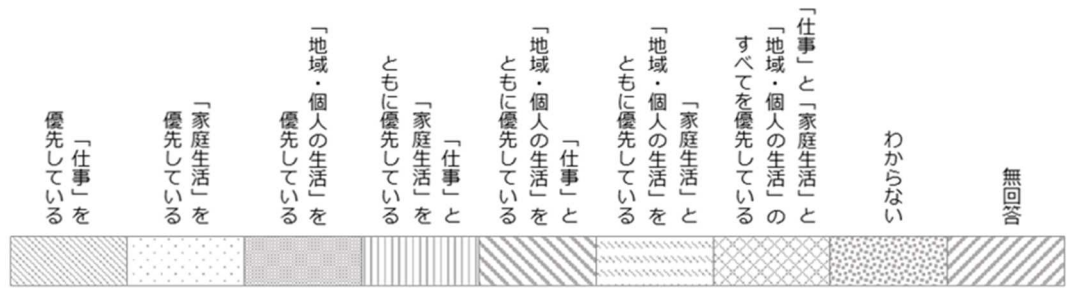


【地区別】

・大穂地区、TX沿線地区では、「仕事と家庭生活をともに優先している」の割合が他の地区に比べて多く、30%を超えている。

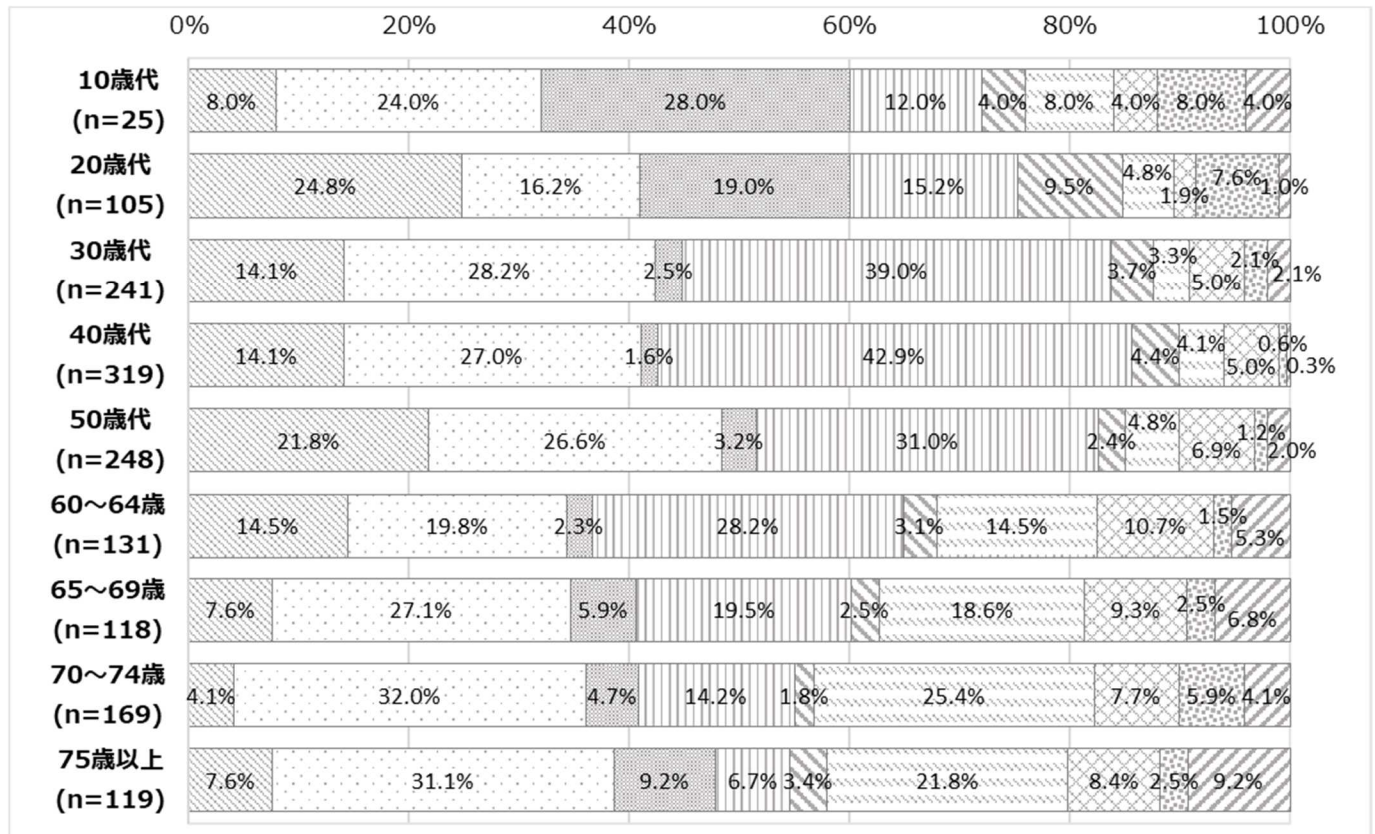


5 あなたの普段の生活について

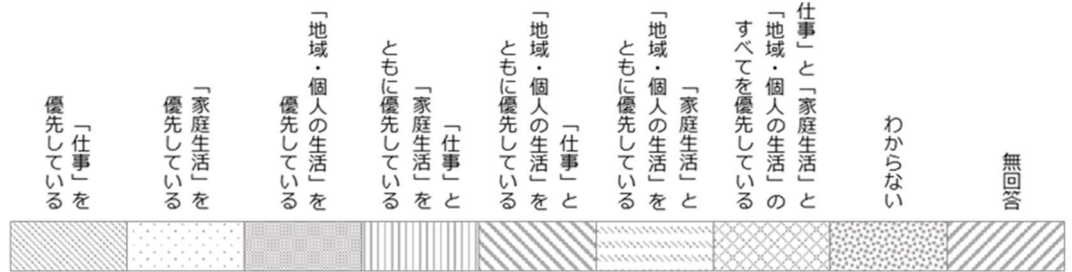


【年齢別】

- ・10歳代では「地域・個人の生活を優先している」の割合が他の年齢と比べて最も多く、28%となっている。
- ・30歳代、40歳代では「仕事と家庭生活ともに優先している」の割合が他の年齢に比べて多く、35%を超えている。
- ・70～74歳、75歳以上では「家庭生活と地域・個人の生活をともに優先している」の割合が他の年齢に比べて多く、20%を超えている。



5 あなたの普段の生活について



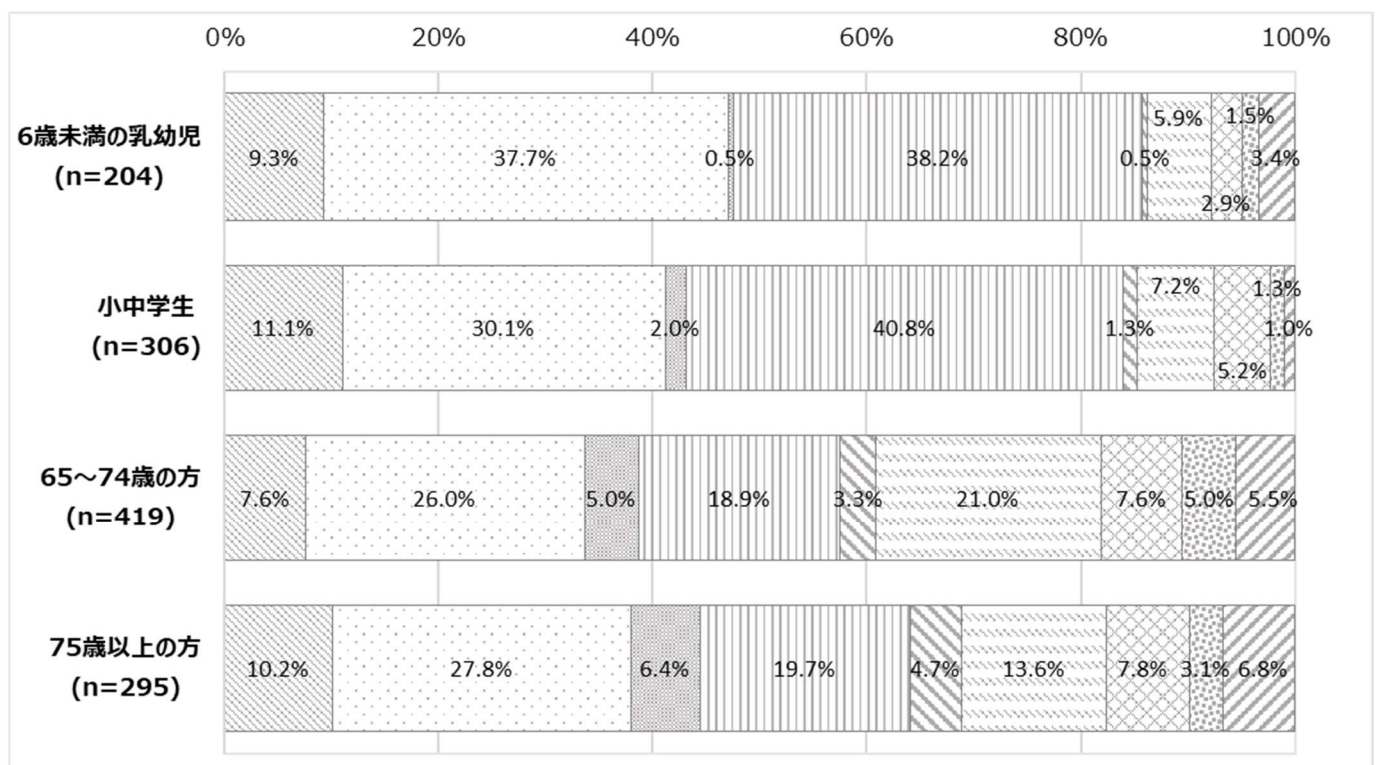
【世帯構成別】

- ・ひとり暮らしでは「仕事を優先している」の割合が他の世帯構成に比べて最も多く、34.9%となっている。
- ・親子では「仕事と家庭生活をともに優先している」の割合が他の世帯構成に比べて多く、32.7%となっている。



【世帯に含む人別】

- ・6歳未満の乳幼児、小中学生では「家庭生活を優先している」の割合が他の世帯に比べて多く、30%を超えている。また、「仕事と家庭生活ともに優先している」の割合も多く35%を超えている。
- ・65～74歳では「家庭生活と地域・個人の生活をともに優先している」の割合が他の世帯に比べて多く、20%を超えている。



5 あなたの普段の生活について

問 25 あなたは、この一年間に運動やスポーツをどのくらいしましたか。なお、運動やスポーツには、散歩や軽い体操なども含まれます。 <〇は1つ>

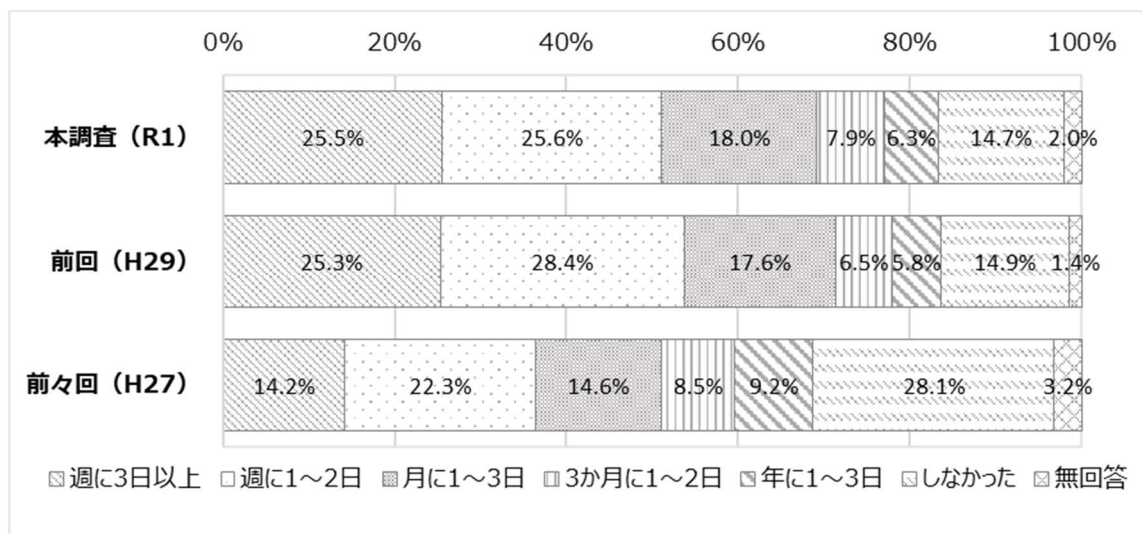
① 全体集計の結果

●年間のスポーツ頻度は、「週に1日以上」が5割超え

- ・一年間の運動やスポーツの頻度については、「週に1～2日」が379人(25.6%)で最も多く、「週に3日以上」が378人(25.5%)、「月に1～3日」が267人(18.0%)、「しなかった」が217人(14.7%)が続いている。
- ・「週に3日以上」と「週に1～2日」を合わせた「週に1日以上」は51.1%である。

選択肢	本調査(R1)		前回(H29)	前々回(H27)
	回答数(人)	構成比	構成比	構成比
週に3日以上	378	25.5%	25.3%	14.2%
週に1～2日	379	25.6%	28.4%	22.3%
月に1～3日	267	18.0%	17.6%	14.6%
3か月に1～2日	117	7.9%	6.5%	8.5%
年に1～3日	93	6.3%	5.8%	9.2%
しなかった	217	14.7%	14.9%	28.1%
無回答	30	2.0%	1.4%	3.2%
全体	1481	100.0%	100.0%	100.0%

<過年度調査との比較>



問 25 あなたは、この一年間に運動やスポーツをどのくらいしましたか。なお、運動やスポーツには、散歩や軽い体操なども含まれます。 <○は1つ>



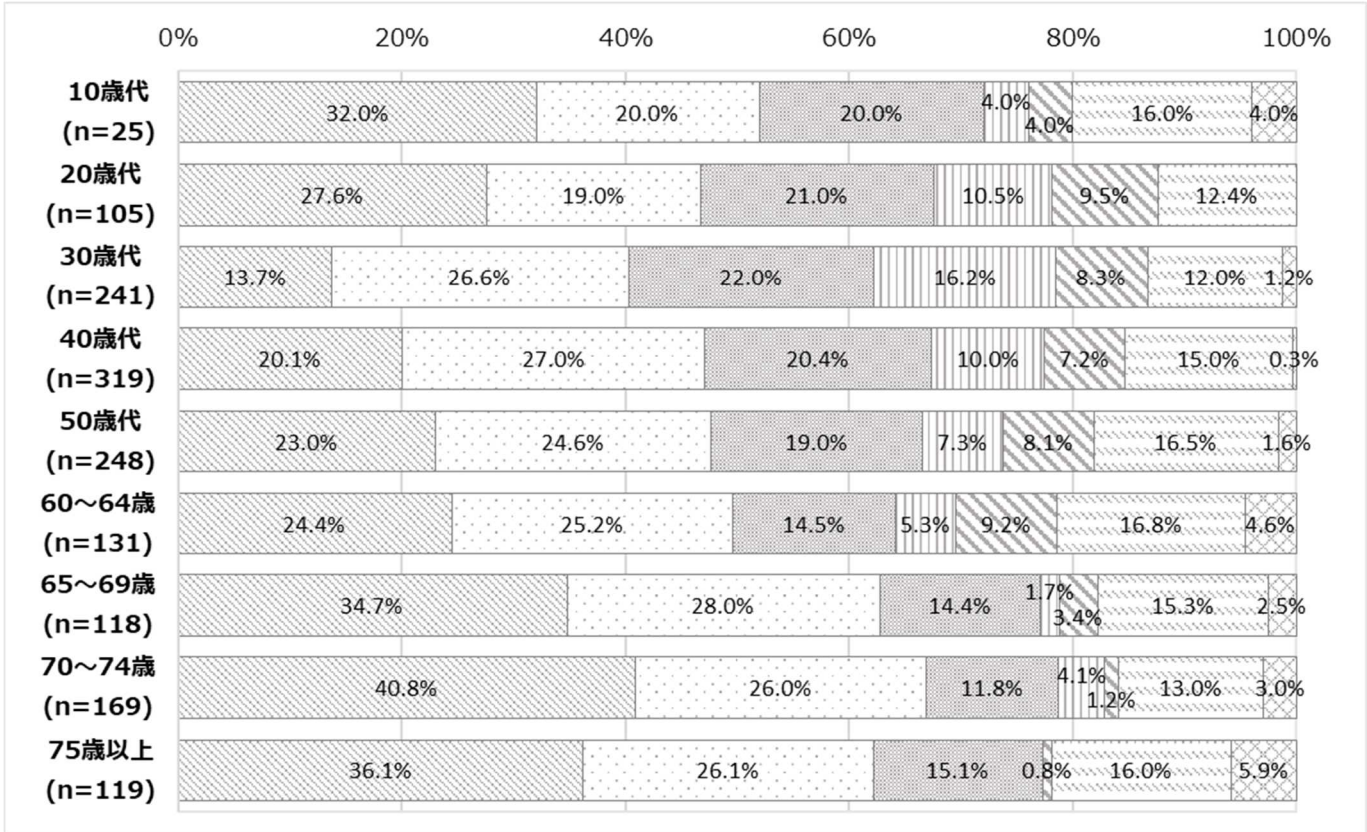
【地区別】

- ・谷田部地区、桜地区、荃崎地区では「週に3日以上」の割合が他の地区に比べて多く、30%を超えている。
- ・大穂地区、豊里地区では「しなかった」の割合が他の地区に比べて多く、20%を超えている。



【年齢別】

- ・70歳以上では「週に3日以上」の割合が35%を超えている。



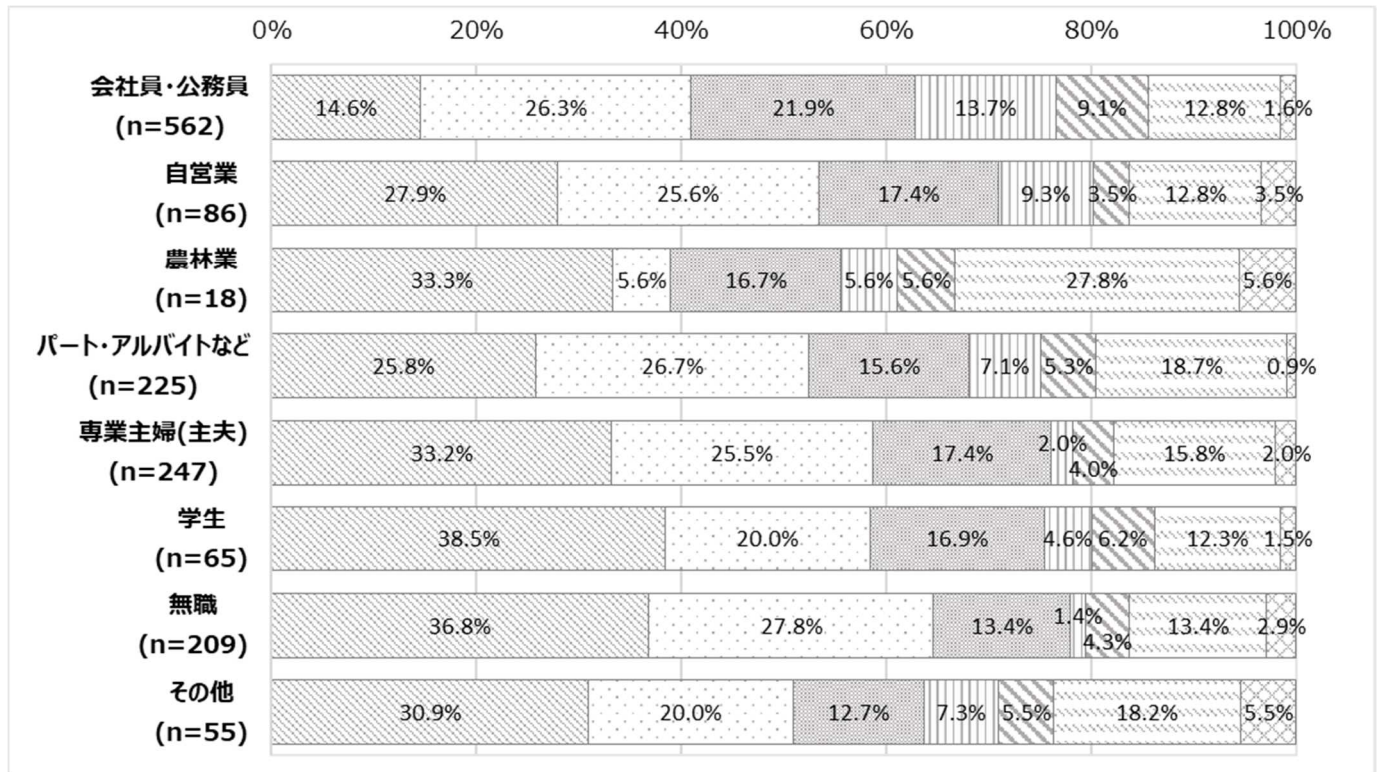
5 あなたの普段の生活について

週に3日以上 週に1~2日 月に1~3日 3か月に1~2日 年に1~3日 しなかった 無回答



【職業別】

- ・学生、無職では「週に3日以上」の割合が他の職業に比べて多く、35%を超えている。
- ・農林業では「しなかった」の割合が他の職業に比べて多く、25%を超えている。



6 交通環境について

問 26 あなたが、日常利用する交通手段は何ですか。

<〇は当てはまるものすべて>

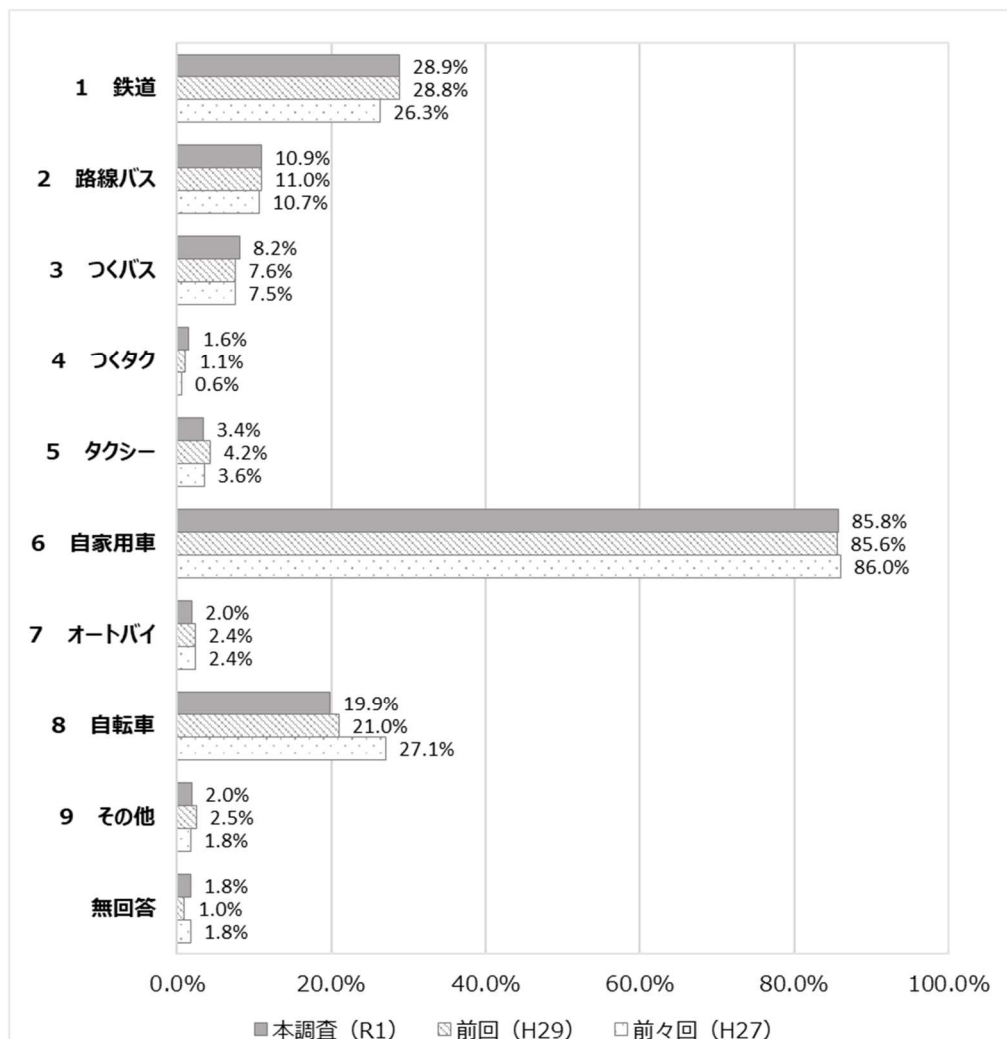
① 全体集計の結果

●日常利用する交通手段は、「自家用車」が8割半ば

・日常利用する交通手段は、「自家用車」が1,270人(85.8%)で最も多く、「鉄道」が428人(28.9%)、「自転車」が294人(19.9%)、「路線バス」が162人(10.9%)で続いている。

選択肢	本調査(R1)		前回(H29)	前々回(H27)
	回答数(人)	構成比	構成比	構成比
1 鉄道	428	28.9%	28.8%	26.3%
2 路線バス	162	10.9%	11.0%	10.7%
3 つくバス	121	8.2%	7.6%	7.5%
4 つくタク	23	1.6%	1.1%	0.6%
5 タクシー	51	3.4%	4.2%	3.6%
6 自家用車	1270	85.8%	85.6%	86.0%
7 オートバイ	29	2.0%	2.4%	2.4%
8 自転車	294	19.9%	21.0%	27.1%
9 その他	29	2.0%	2.5%	1.8%
無回答	27	1.8%	1.0%	1.8%
全体(有効回答数)	1481			

<過年度調査との比較(項目順)>



6 交通環境について

問 26 あなたが、日常利用する交通手段は何ですか。 <○は当てはまるものすべて>

② クロス集計

【地区別】

・全ての地区で「自家用車」が最も多く、「鉄道」が上位に入っている。

回答順	1位	2位	3位	4位	5位
筑波地区 (n=101)	自家用車	つくバス	鉄道	自転車	路線バス
	86 85.1%	11 10.9%	8 7.9%	6 5.9%	5 5.0%
大穂地区 (n=95)	自家用車	鉄道	自転車	つくバス	タクシー
	85 89.5%	13 13.7%	9 9.5%	8 8.4%	3 3.2%
豊里地区 (n=104)	自家用車	鉄道	自転車	つくバス	オートバイ/その他
	93 89.4%	20 19.2%	9 8.7%	4 3.8%	2 1.9%
谷田部地区 (n=192)	自家用車	鉄道	自転車	つくバス	つくタク/オートバイ
	168 87.5%	40 20.8%	28 14.6%	11 5.7%	5 2.6%
桜地区 (n=126)	自家用車	自転車	鉄道	つくバス	路線バス
	116 92.1%	25 19.8%	23 18.3%	14 11.1%	9 7.1%
荃崎地区 (n=153)	自家用車	鉄道	路線バス	自転車	つくバス
	129 84.3%	36 23.5%	30 19.6%	17 11.1%	14 9.2%
研究学園地区 (n=440)	自家用車	鉄道	自転車	路線バス	つくバス
	362 82.3%	155 35.2%	148 33.6%	101 23.0%	39 8.9%
TX沿線地区 (n=270)	自家用車	鉄道	自転車	つくバス	路線バス
	231 85.6%	133 49.3%	52 19.3%	20 7.4%	11 4.1%

【年齢別】

・20歳以上で「自家用車」が最も多くなっている。
 ・全ての年齢で「鉄道」が上位に入っている。

回答順	1位	2位	3位	4位	5位
10歳代 (n=25)	自転車	鉄道/自家用車		路線バス	つくバス
	14 56.0%	13 52.0%	6 24.0%	4 16.0%	
20歳代 (n=105)	自家用車	鉄道	自転車	路線バス	オートバイ
	74 70.5%	53 50.5%	44 41.9%	18 17.1%	8 7.6%
30歳代 (n=241)	自家用車	鉄道	自転車	路線バス	つくバス
	213 88.4%	90 37.3%	45 18.7%	19 7.9%	16 6.6%
40歳代 (n=319)	自家用車	鉄道	自転車	路線バス	つくバス
	294 92.2%	97 30.4%	56 17.6%	31 9.7%	24 7.5%
50歳代 (n=248)	自家用車	鉄道	自転車	路線バス	つくバス
	224 90.3%	67 27.0%	46 18.5%	22 8.9%	19 7.7%
60～64歳 (n=131)	自家用車	鉄道	路線バス	自転車	つくバス
	114 87.0%	32 24.4%	17 13.0%	16 12.2%	8 6.1%
65～69歳 (n=118)	自家用車	鉄道	路線バス	自転車	つくバス
	110 93.2%	26 22.0%	15 12.7%	14 11.9%	11 9.3%
70～74歳 (n=169)	自家用車	自転車	鉄道	路線バス	つくバス
	134 79.3%	38 22.5%	28 16.6%	18 10.7%	16 9.5%
75歳以上 (n=119)	自家用車	鉄道	自転車	つくバス	路線バス
	89 74.8%	20 16.8%	19 16.0%	16 13.4%	15 12.6%

【職業別】

- ・学生以外の職業では「自家用車」が最も多くなっている。
- ・全ての職業で「自転車」が上位に入っている。
- ・農林業以外の職業では「鉄道」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
会社員・公務員 (n=562)	自家用車		鉄道		自転車		路線バス		つくバス	
	502	89.3%	220	39.1%	88	15.7%	54	9.6%	36	6.4%
自営業 (n=86)	自家用車		鉄道		自転車		路線バス		つくバス	
	76	88.4%	14	16.3%	11	12.8%	6	7.0%	4	4.7%
農林業 (n=18)	自家用車		自転車		タクシー		-		-	
	16	88.9%	3	16.7%	1	5.6%	-	-	-	-
パート・アルバイトなど (n=225)	自家用車		自転車		鉄道		つくバス		路線バス	
	207	92.0%	40	17.8%	38	16.9%	20	8.9%	19	8.4%
専業主婦(主夫) (n=247)	自家用車		鉄道		自転車		路線バス		つくバス	
	218	88.3%	62	25.1%	56	22.7%	32	13.0%	22	8.9%
学生 (n=65)	鉄道		自転車		自家用車		路線バス		つくバス	
	37	56.9%	36	55.4%	31	47.7%	17	26.2%	7	10.8%
無職 (n=209)	自家用車		自転車		鉄道		つくバス		路線バス	
	162	77.5%	42	20.1%	36	17.2%	27	12.9%	25	12.0%
その他 (n=55)	自家用車		鉄道		自転車		路線バス		つくバス	
	47	85.5%	17	30.9%	14	25.5%	8	14.5%	4	7.3%

【住まい別】

- ・全ての住まいで「自家用車」が最も多く、「自転車」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
一戸建(持ち家) (n=996)	自家用車		鉄道		自転車		路線バス		つくバス	
	876	88.0%	237	23.8%	161	16.2%	85	8.5%	79	7.9%
一戸建(借家) (n=40)	自家用車		自転車		鉄道		つくバス		路線バス/つくタク	
	34	85.0%	7	17.5%	5	12.5%	4	10.0%	3	7.5%
集合住宅(分譲) (n=133)	自家用車		鉄道		自転車		路線バス		つくバス	
	108	81.2%	71	53.4%	40	30.1%	22	16.5%	10	7.5%
集合住宅(賃貸) (n=244)	自家用車		鉄道		自転車		路線バス		つくバス	
	198	81.1%	95	38.9%	69	28.3%	47	19.3%	25	10.2%
公営住宅(公社・ 県営・市営) (n=18)	自家用車		鉄道		自転車		路線バス/つくタク/タクシー/オートバイ			
	15	83.3%	5	27.8%	2	11.1%	1		5.6%	
社宅・官舎 (n=25)	自家用車		鉄道		自転車		つくバス		路線バス	
	23	92.0%	12	48.0%	7	28.0%	3	12.0%	2	8.0%
その他 (n=16)	自家用車		自転車		タクシー		鉄道/路線バス/オートバイ/その他			
	9	56.3%	5	31.3%	2	12.5%	1		6.3%	

6 交通環境について

問 27 あなたは、現在のつくば市において、歩行者と自転車と自動車が共に安全で快適に
通行できていると思いますか。

<○は1つ>

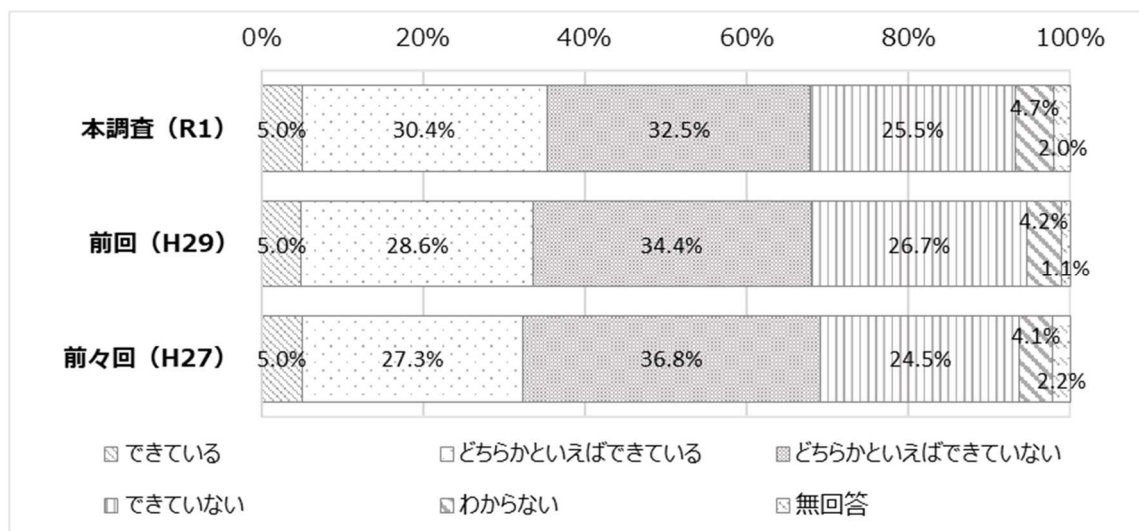
① 全体集計の結果

●歩行者と自転車と自動車が共に安全に快適に通行できているかについては、「どちらかといえばできていない/できていない」が6割近く

- ・安全で快適に通行できているかについては、「どちらかといえばできていない」が481人(32.5%)で最も多く、「どちらかといえばできている」が450人(30.4%)、「できていない」が377人(25.5%)、「できている」が74人(5.0%)で続いている。
- ・過年度調査と比べると、「どちらかといえばできている」が増加し、「どちらかといえばできていない」「できていない」が減少している。

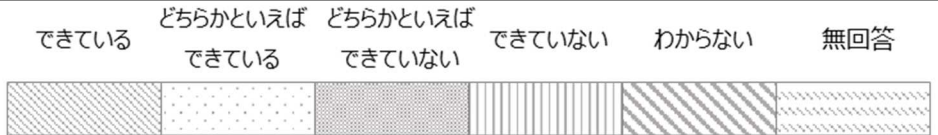
選択肢	本調査(R1)		前回(H29)	前々回(H27)
	回答数(人)	構成比	構成比	構成比
できている	74	5.0%	5.0%	5.0%
どちらかといえばできている	450	30.4%	28.6%	27.3%
どちらかといえばできていない	481	32.5%	34.4%	36.8%
できていない	377	25.5%	26.7%	24.5%
わからない	70	4.7%	4.2%	4.1%
無回答	29	2.0%	1.1%	2.2%
全体	1481	100.0%	100.0%	100.0%

<過年度調査との比較>



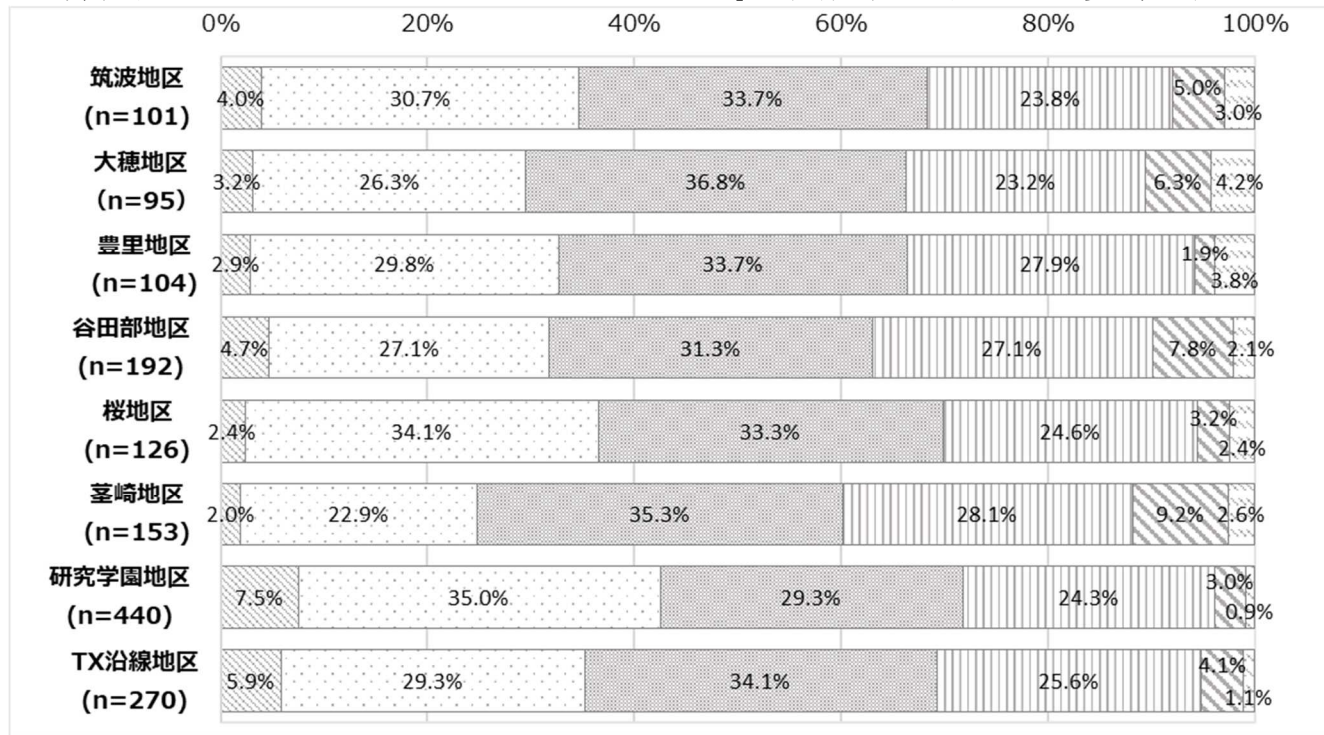
問 27 あなたは、現在のつくば市において、歩行者と自転車と自動車が共に安全で快適に
 通行できていると思いますか。 <○は1つ>

② クロス集計



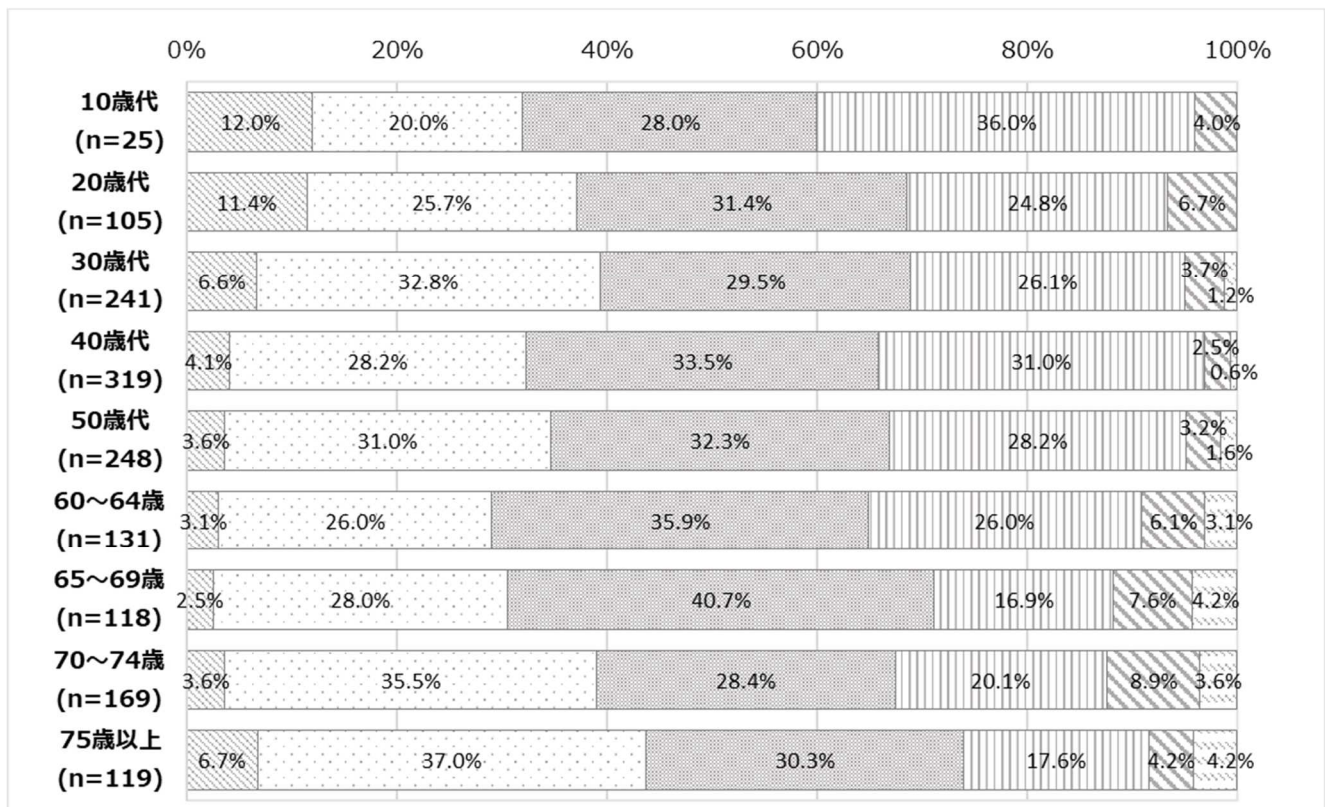
【地区別】

- ・大穂地区、豊里地区、荃崎地区では「どちらかといえばできていない/できていない」の割合が他の地区に比べて多く、60%を超えている。
- ・研究学園地区では「できている/どちらかといえばできている」の割合が他の地区に比べて多く、40%を超えている。



【年齢別】

- ・10歳代、40歳代、50歳代、60～64歳代では「どちらかといえばできていない/できていない」の割合が多く、60%を超えている。
- ・75歳以上では「できている/どちらかといえばできている」の割合が他の地区に比べて多く、40%を超えている。



問 28 つくば市の交通環境がどのようになっていることが望ましいですか。

<〇は1つ>

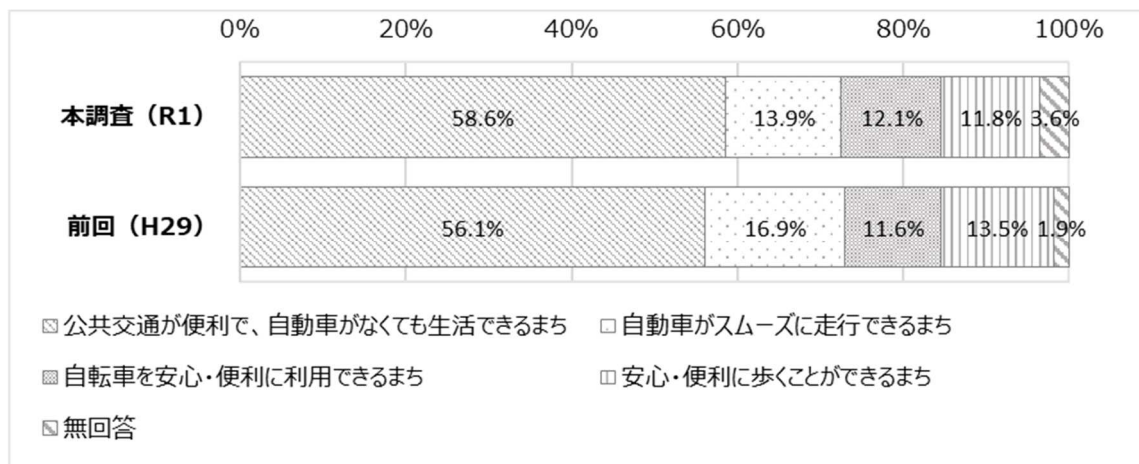
① 全体集計の結果

●つくば市の交通環境で望ましいことについては、「公共交通が便利で、自動車がなくても生活できるまち」が6割近く

- つくば市の交通環境で望ましいことについては、「公共交通が便利で、自動車がなくても生活できるまち」が868人(58.6%)で最も多く、「自動車がスムーズに走行できるまち」が206人(13.9%)、「自転車を安心・便利に利用できるまち」が179人(12.1%)、「安心・便利に歩くことができるまち」が175人(11.8%)が続いている。
- 過年度調査と比べると、「公共交通が便利で、自動車がなくても生活できるまち」が増加している。

選択肢	本調査(R1)		前回(H29)
	回答数(人)	構成比	構成比
公共交通が便利で、自動車がなくても生活できるまち	868	58.6%	56.1%
自動車がスムーズに走行できるまち	206	13.9%	16.9%
自転車を安心・便利に利用できるまち	179	12.1%	11.6%
安心・便利に歩くことができるまち	175	11.8%	13.5%
無回答	53	3.6%	1.9%
全体	1481	100.0%	100.0%

<過年度調査との比較>



問 28 つくば市の交通環境がどのようになっていることが望ましいですか。 <〇は1つ>

② クロス集計

公共交通が便利で、
自動車があなくても
生活できるまち

自動車がスムーズに
走行できるまち

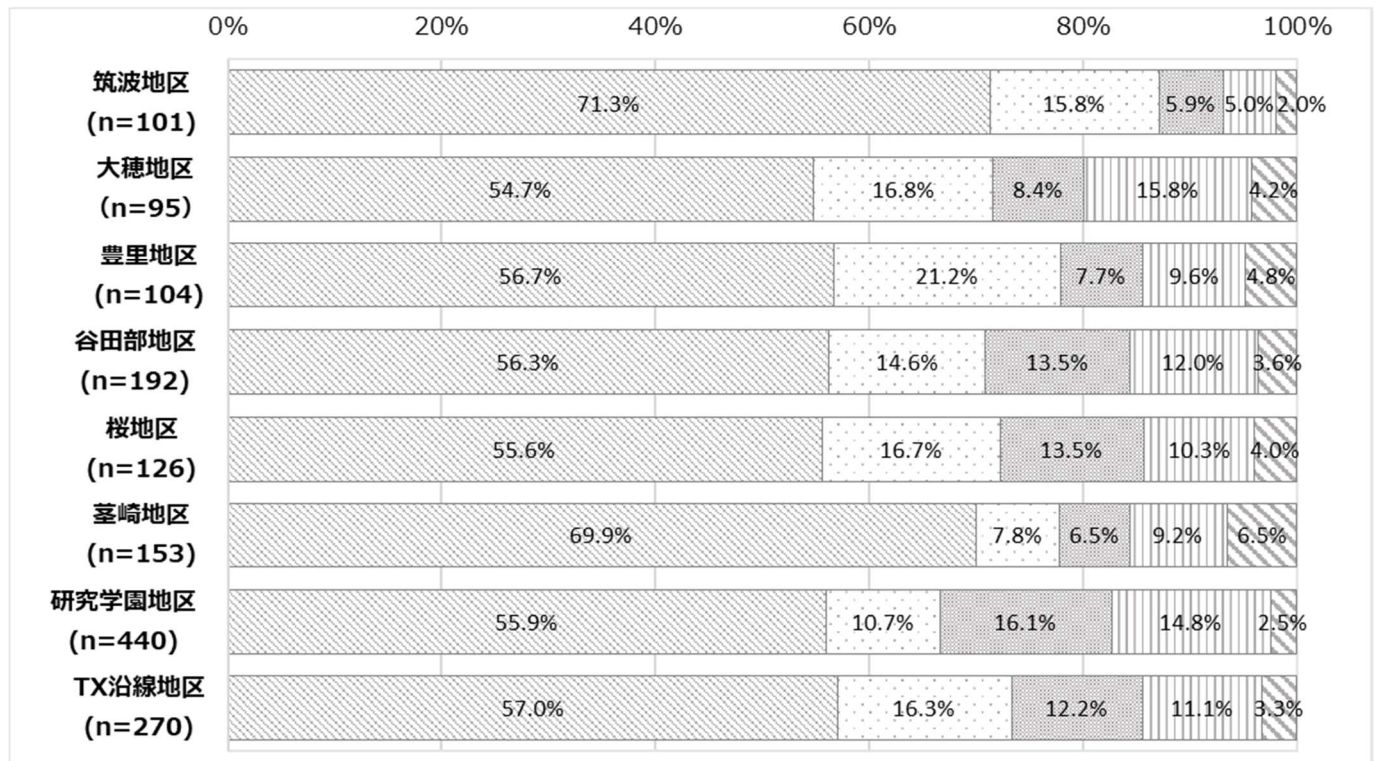
自転車を安心・便利に
利用できるまち

安心・便利に
歩くことができるまち

無回答

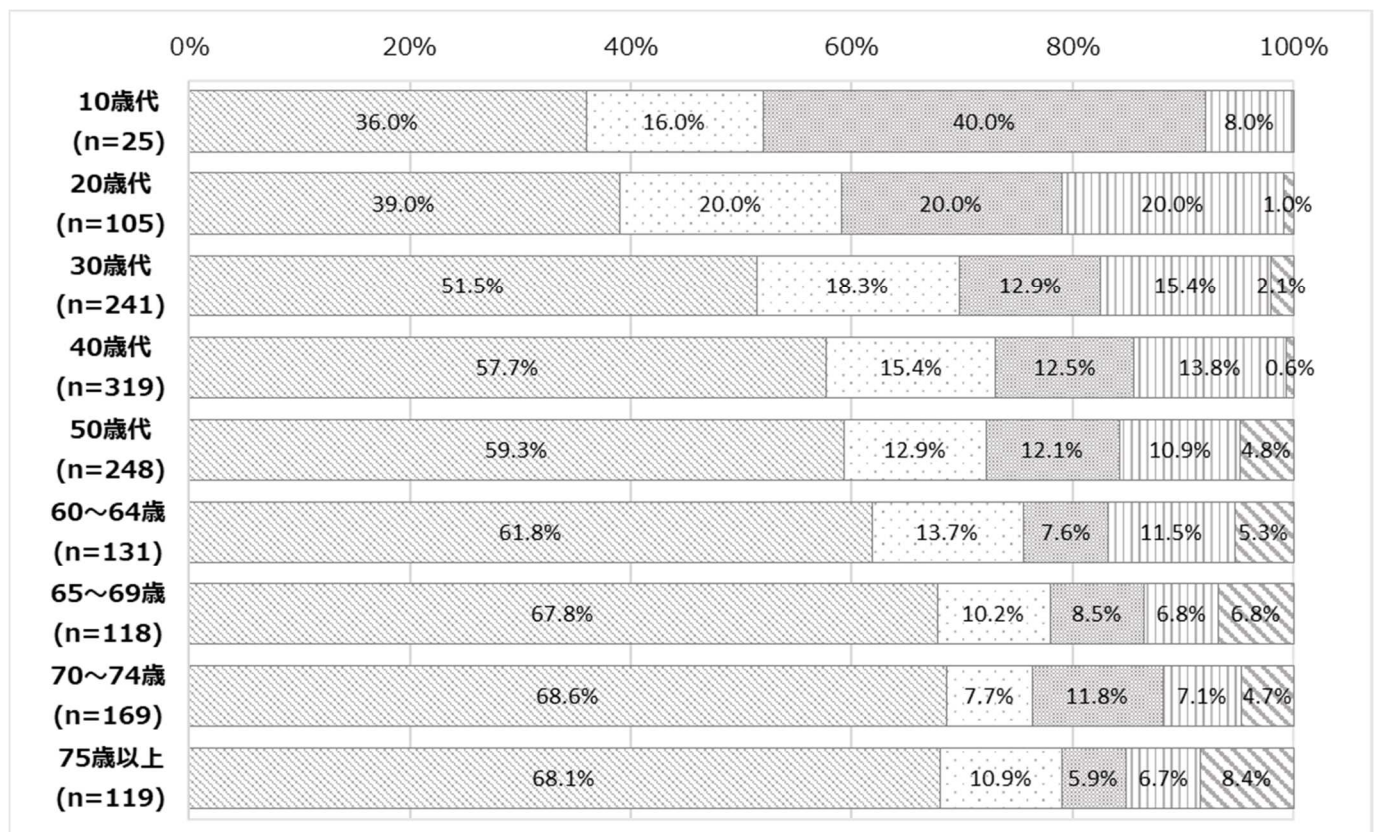
【地区別】

- 全ての地区で「公共交通が便利で、自動車があなくても生活できるまち」の割合が最も多く、筑波地区、荃崎地区では65%を超えている。
- 豊里地区では「自動車がスムーズに走行できるまち」の割合が他の地区に比べて多く、20%を超えている。

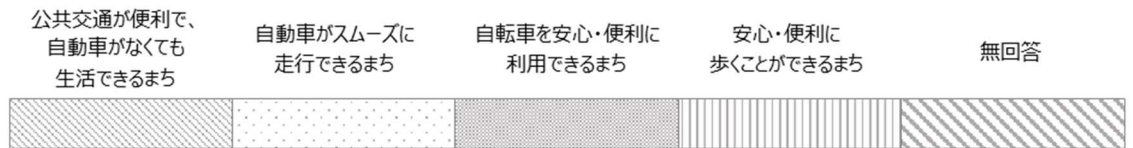


【年齢別】

- 20歳以上では「公共交通が便利で、自動車があなくても生活できるまち」の割合が最も多く、10歳代では「自転車を安心・便利に利用できるまち」が最も多くなっている。

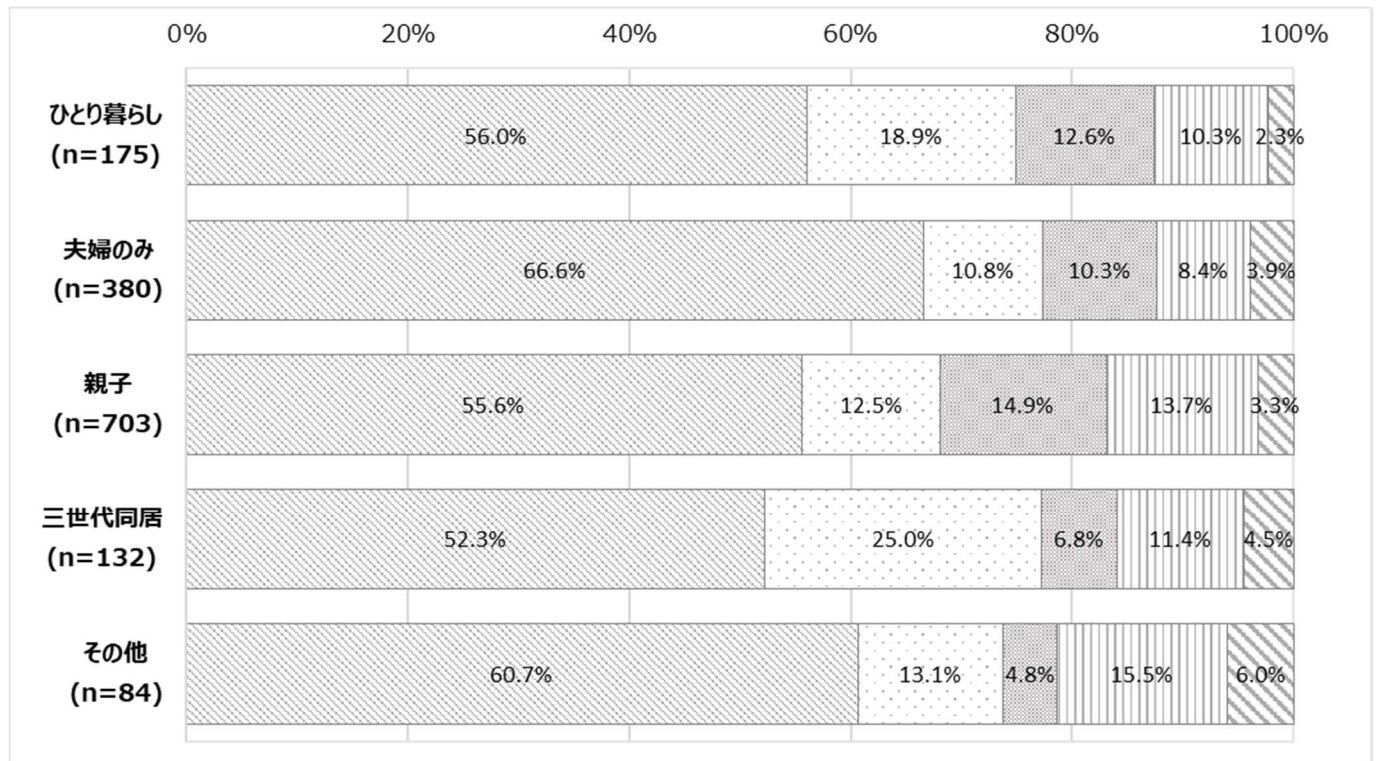


6 交通環境について



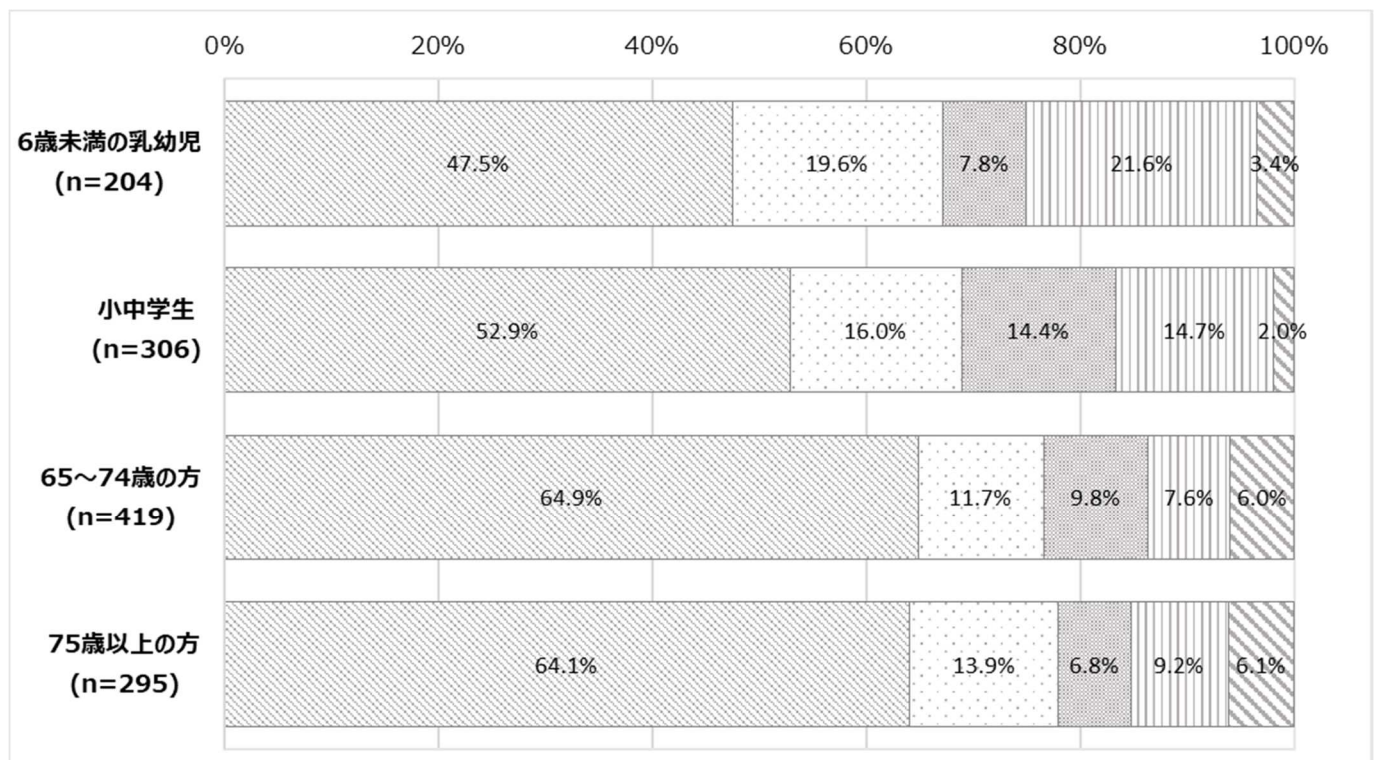
【世帯構成別】

- 全ての世帯構成別で「公共交通が便利で、自動車なくても生活できるまち」の割合が最も多く、夫婦のみ、その他では60%を超えている。
- 三世帯同居では「自動車がスムーズに走行できるまち」の割合が他の世帯構成と比べて多く、25%となっている。



【世帯に含む人別】

- 全ての世帯で「公共交通が便利で、自動車なくても生活できるまち」の割合が最も多く、65～74歳の方、75歳以上の方を含む世帯では60%を超えている。
- 6歳未満の乳幼児を含む世帯では、「安心・便利に歩くことができるまち」の割合が他の世帯に比べて多く、20%を超えている。
- 小中学生を含む世帯では「自転車を安心・便利に利用できるまち」の割合が他の世帯に比べて多く、10%を超えている。



7 つくば駅周辺地区の活性化について

問 29 あなたは、どれぐらい、つくばセンター地区（つくば駅周辺）を訪れますか。

<○は1つ>

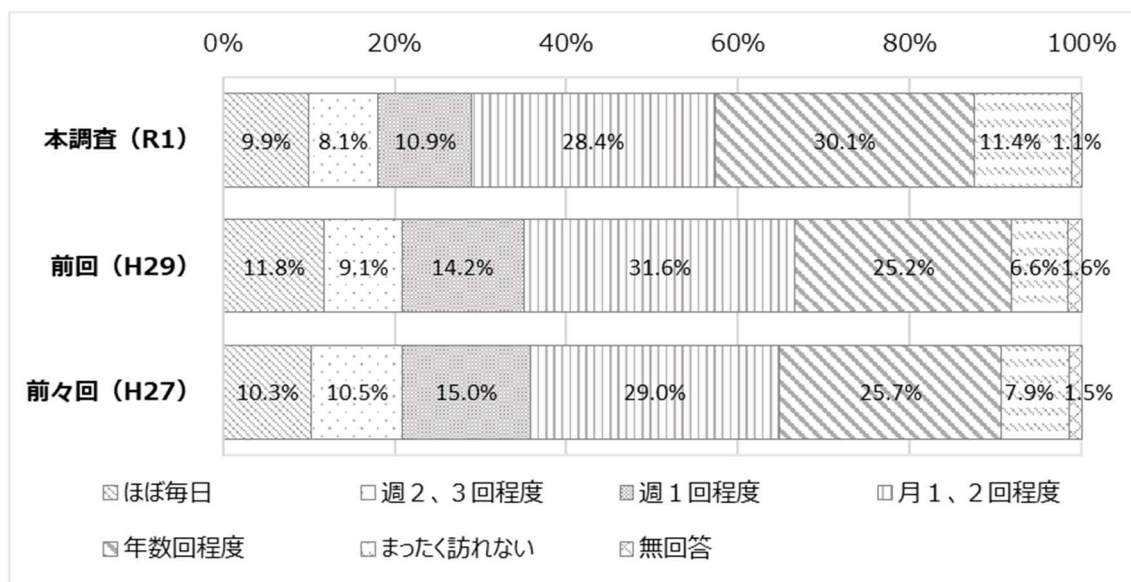
① 全体集計の結果

●つくばセンター地区（つくば駅周辺）に訪れる頻度は、「年数回程度」が3割

- つくばセンター地区（つくば駅周辺）に訪れる頻度については、「年数回程度」が446人(30.1%)で最も多く、「月1、2回程度」が420人(28.4%)、「まったく訪れない」が169人(11.4%)、「週1回程度」が162人(10.9%)で続いている。
- 過年度調査と比べると、「ほぼ毎日」「週2、3回程度」「週1回程度」「月1、2回程度」が減少し、「年数回程度」「まったく訪れない」が増加している。

選択肢	本調査(R1)		前回(H29)	前々回(H27)
	回答数(人)	構成比	構成比	構成比
ほぼ毎日	147	9.9%	11.8%	10.3%
週2、3回程度	120	8.1%	9.1%	10.5%
週1回程度	162	10.9%	14.2%	15.0%
月1、2回程度	420	28.4%	31.6%	29.0%
年数回程度	446	30.1%	25.2%	25.7%
まったく訪れない	169	11.4%	6.6%	7.9%
無回答	17	1.1%	1.6%	1.5%
全体	1481	100.0%	100.0%	100.0%

<過年度調査との比較>



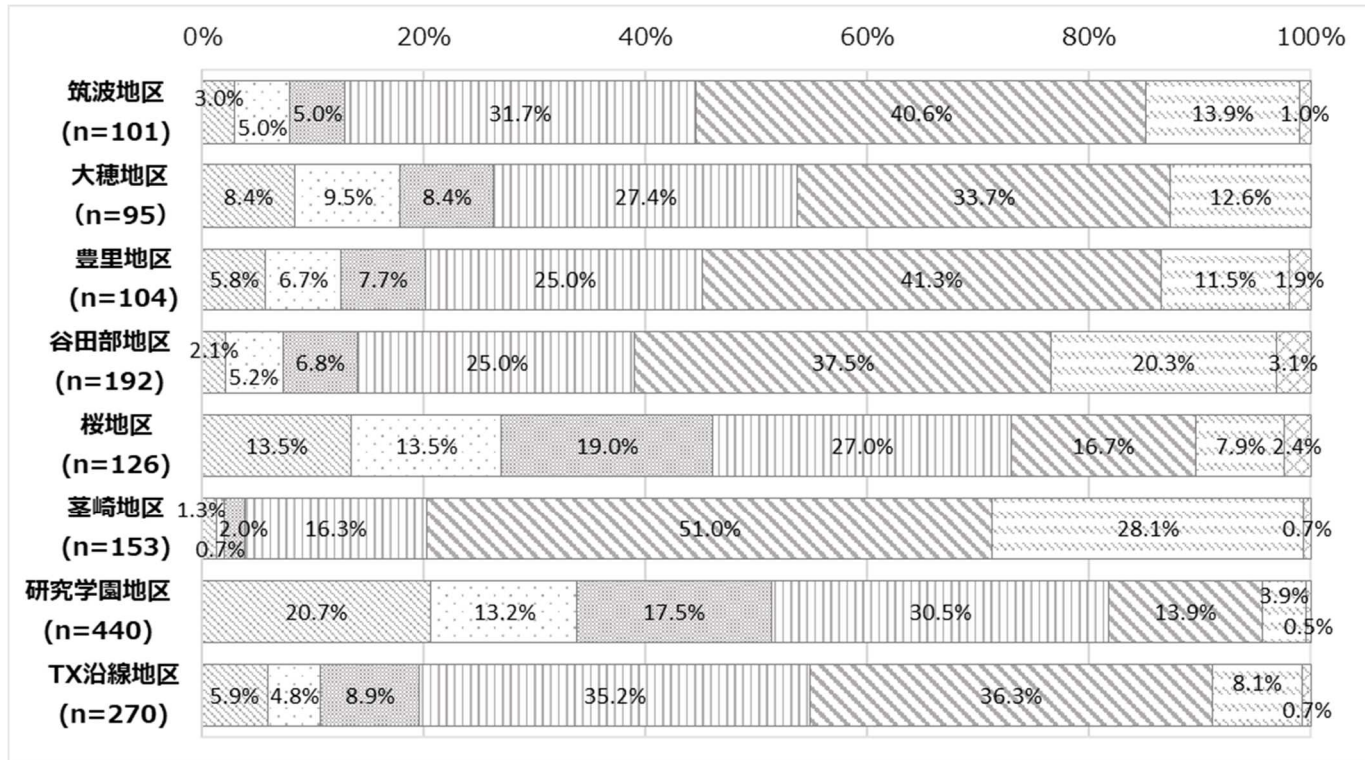
7 つくば駅周辺地区の活性化について

問 29 あなたは、どれぐらい、つくばセンター地区（つくば駅周辺）を訪れますか。 <〇は1つ>

② クロス集計

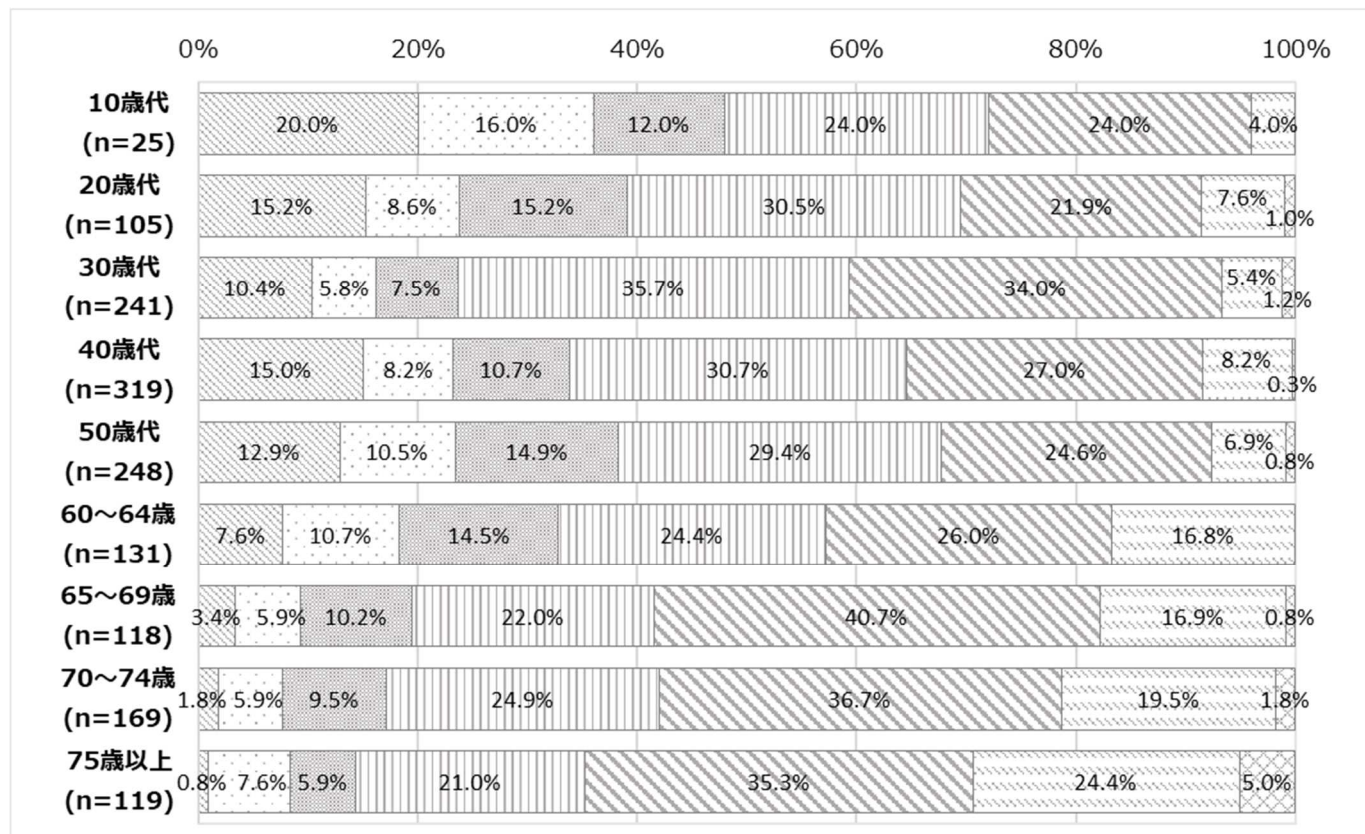
【地区別】

- ・桜地区、研究学園地区では月1、2回以上訪れている割合が他の地区に比べて多く、70%を超えている。
- ・茎崎地区では「まったく訪れない」の割合が他の地区に比べて28.1%と最も多く、次いで谷田部地区の20.3%となっている。



【年齢別】

- ・10歳代から50歳代では「ほぼ毎日」の割合が10%を超えており、最も多い10歳代は20.0%となっている。
- ・60歳以上では「まったく訪れない」の割合が15%を超えており、最も多い75歳以上では24.4%となっている。



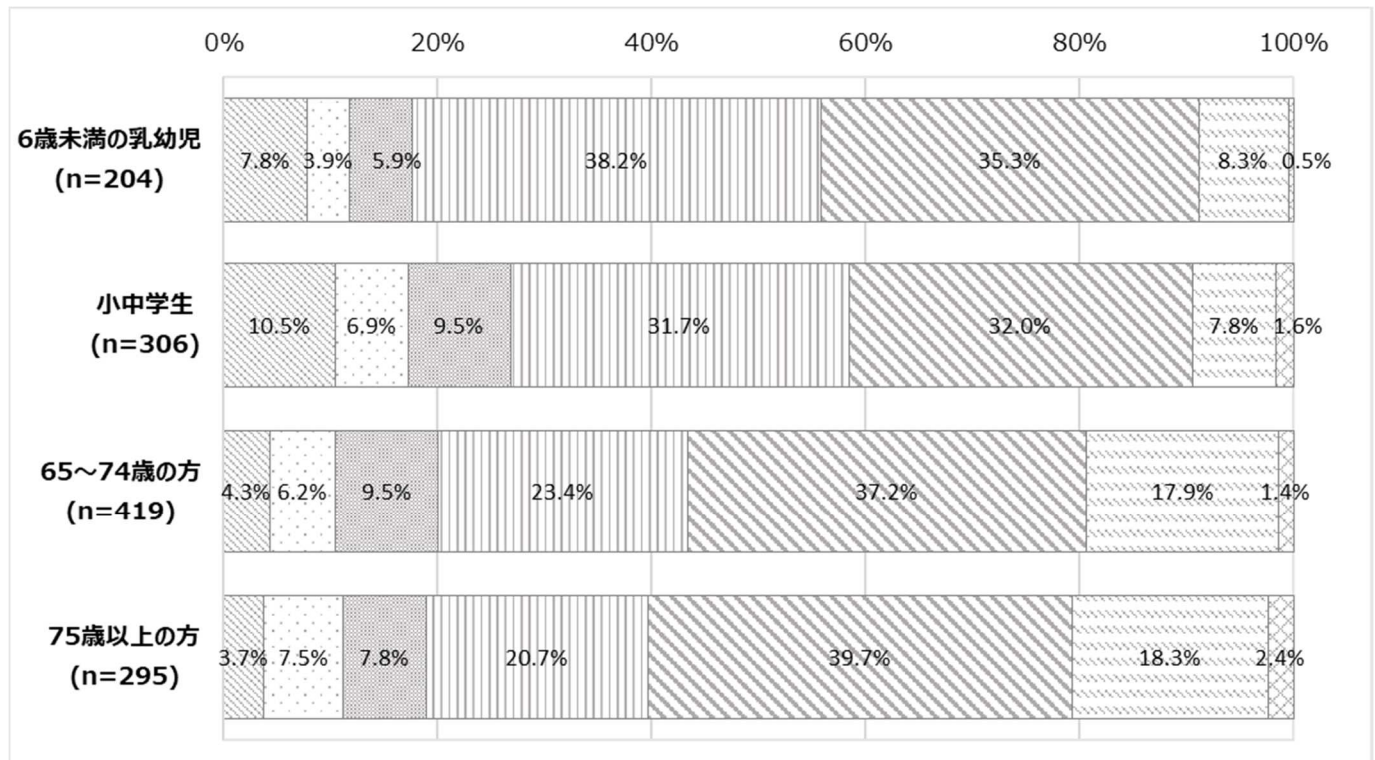
7 つくば駅周辺地区の活性化について

ほぼ毎日 週2、3回程度 週1回程度 月1、2回程度 年数回程度 まったく訪れない 無回答



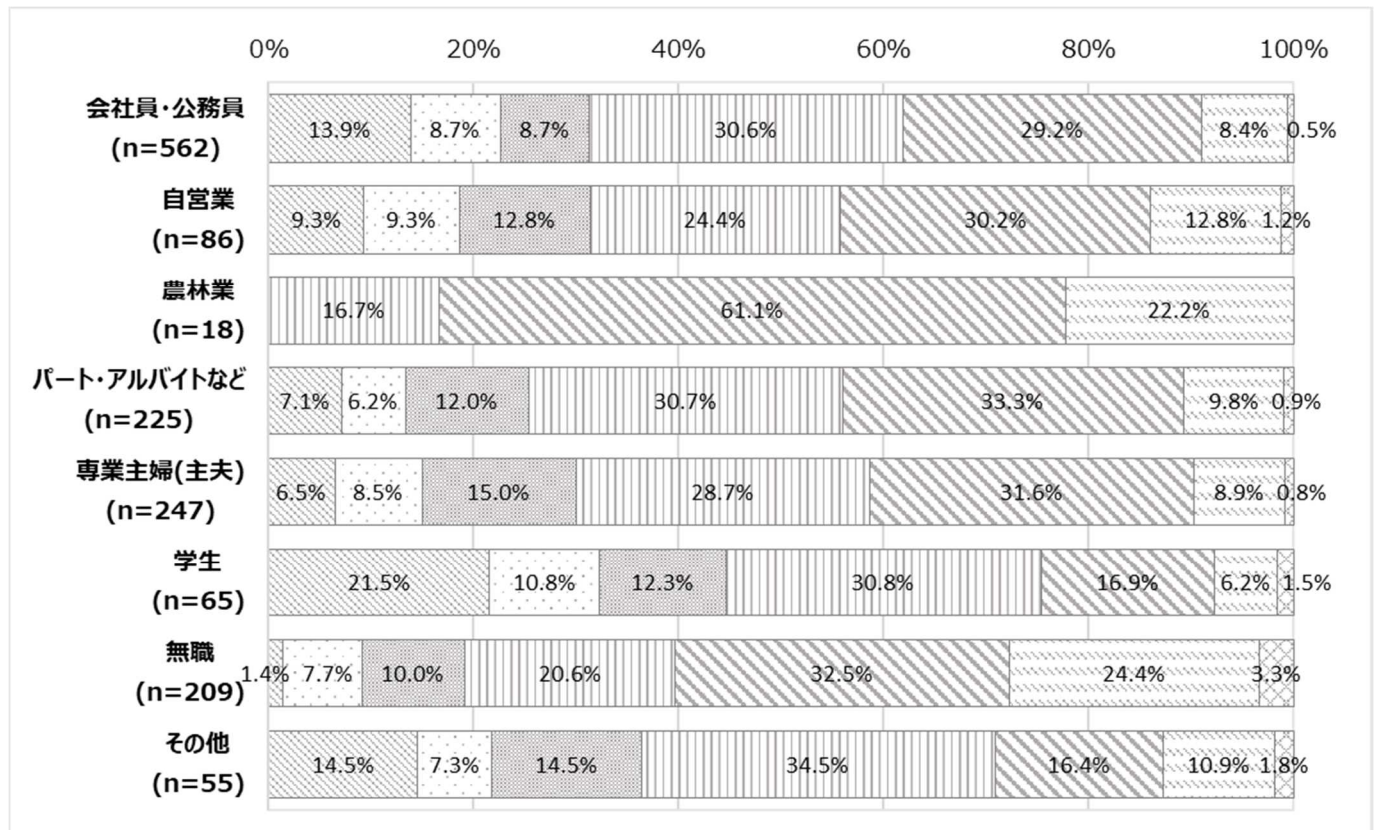
【世帯に含む人別】

- ・6歳未満の乳幼児、小中学生を含む世帯では月1、2回以上訪れている割合が55%を超えている。
- ・65～74歳の方、75歳以上の方を含む世帯では「まったく訪れない」の割合が15%を超えている。



【職業別】

- ・農林業、無職以外の全ての職業で月1、2回以上訪れている割合が55%を超えている。



7 つくば駅周辺地区の活性化について

【問 29 で 1~5 を選択した方にお聞きします】

問 30 主にどのような目的でつくばセンター地区を訪れますか。

<○は1つ>

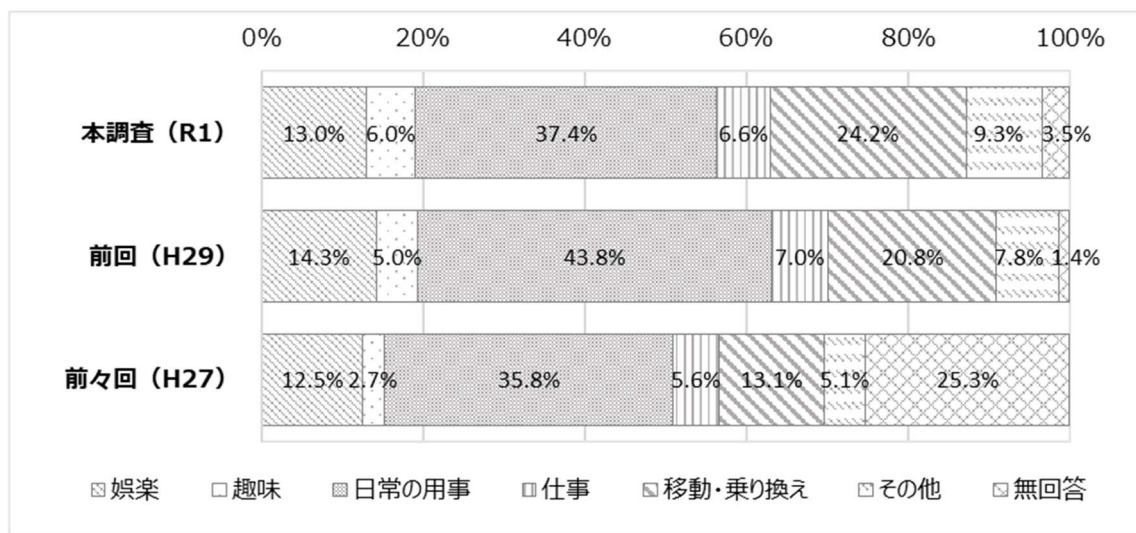
① 全体集計の結果

●つくばセンター地区を訪れる訪れる主な目的は、「日常の用事」が3割半ば

・つくばセンター地区を訪れる主な目的は、「日常の用事」が484人(37.4%)で最も多く、「移動・乗り換え」が314人(24.2%)、「娯楽」が168人(13.0%)、「仕事」が85人(6.6%)で続いている。

選択肢	本調査(R1)		前回(H29)	前々回(H27)
	回答数(人)	構成比	構成比	構成比
娯楽	168	13.0%	14.3%	12.5%
趣味	78	6.0%	5.0%	2.7%
日常の用事	484	37.4%	43.8%	35.8%
仕事	85	6.6%	7.0%	5.6%
移動・乗り換え	314	24.2%	20.8%	13.1%
その他	121	9.3%	7.8%	5.1%
無回答	45	3.5%	1.4%	25.3%
全体	1295	100.0%	100.0%	100.0%

<過年度調査との比較>



【問 29 で 1~5 を選択した方にお聞きします】

問 30 主にどのような目的でつくばセンター地区を訪れますか。

<〇は1つ>

② クロス集計

娯楽 趣味 日常の用事 仕事 移動・乗り換え その他 無回答



【地区別】

- ・桜地区以外の全ての地区で「日常の用事」の割合が最も多くなっている。
- ・桜地区では「移動・乗り換え」の割合が最も多くなっている。



【年齢別】

- ・30歳以上では「日常の用事」が最も多くなっている。
- ・10歳代、20歳代では「移動・乗り換え」の割合が最も多くなっている。



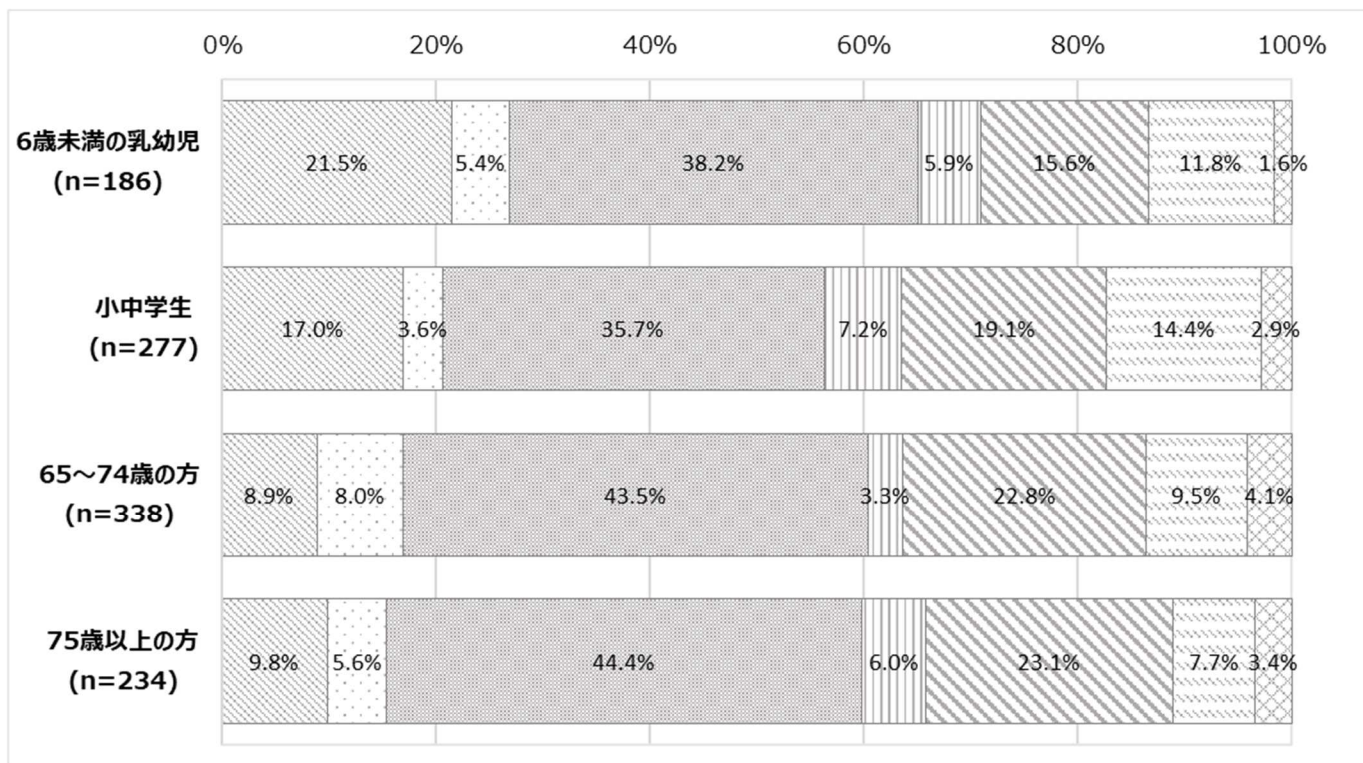
7 つくば駅周辺地区の活性化について

娯楽 趣味 日常の用事 仕事 移動・乗り換え その他 無回答



【世帯に含む人別】

- ・全ての世帯で「日常の用事」の割合が最も多くなっている。
- ・6歳未満の乳幼児を含む世帯では「娯楽」の割合が他の世帯に比べて多く、21.5%となっている。
- ・65～74歳の方、75歳以上の方を含む世帯では「移動・乗り換え」の割合が他の世帯に比べて多く、20%を超えている。



【職業別】

- ・学生以外の全ての職業では「日常の用事」の割合が最も多くなっている。
- ・学生では「移動・乗り換え」の割合が最も多く、51.7%となっている。



問 31 あなたは、にぎわいのあるつくばセンター地区（つくば駅周辺）にするためには、どのような取組が必要だと思いますか。 <〇は1つ>

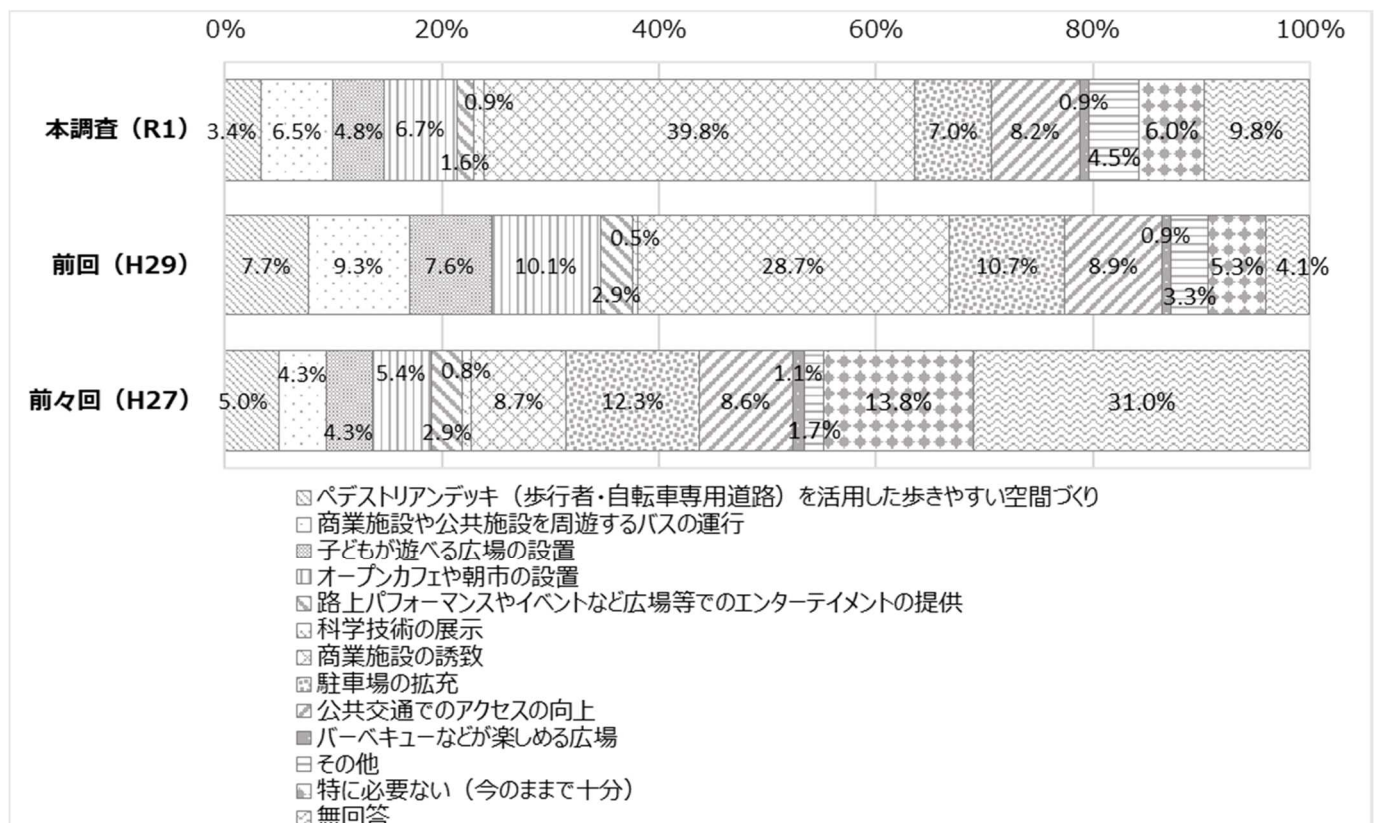
① 全体集計の結果

●にぎわいのあるつくばセンター地区にするために必要な取組は、「商業施設の誘致」が4割近く

・にぎわいのあるつくばセンター地区にするために必要な取組については、「商業施設の誘致」が589人(39.8%)で最も多く、「公共交通でのアクセスの向上」が121人(8.2%)、「駐車場の拡充」が104人(7.0%)、「オープンカフェや朝市の設置」が99人(6.7%)が続いている。

選択肢	本調査(R1)		前回(H29)	前々回(H27)
	回答数(人)	構成比	構成比	構成比
ペDESTリアンデッキ(歩行者・自転車専用道路)を活用した歩きやすい空間づくり	50	3.4%	7.7%	5.0%
商業施設や公共施設を周遊するバスの運行	97	6.5%	9.3%	4.3%
子どもが遊べる広場の設置	71	4.8%	7.6%	4.3%
オープンカフェや朝市の設置	99	6.7%	10.1%	5.4%
路上パフォーマンスやイベントなど広場等でのエンターテインメントの提供	23	1.6%	2.9%	2.9%
科学技術の展示	13	0.9%	0.5%	0.8%
商業施設の誘致	589	39.8%	28.7%	8.7%
駐車場の拡充	104	7.0%	10.7%	12.3%
公共交通でのアクセスの向上	121	8.2%	8.9%	8.6%
バーベキューなどが楽しめる広場	13	0.9%	0.9%	1.1%
その他	67	4.5%	3.3%	1.7%
特に必要ない(今のままで十分)	89	6.0%	5.3%	13.8%
無回答	145	9.8%	4.1%	31.0%
全体	1481	100.0%	100.0%	100.0%

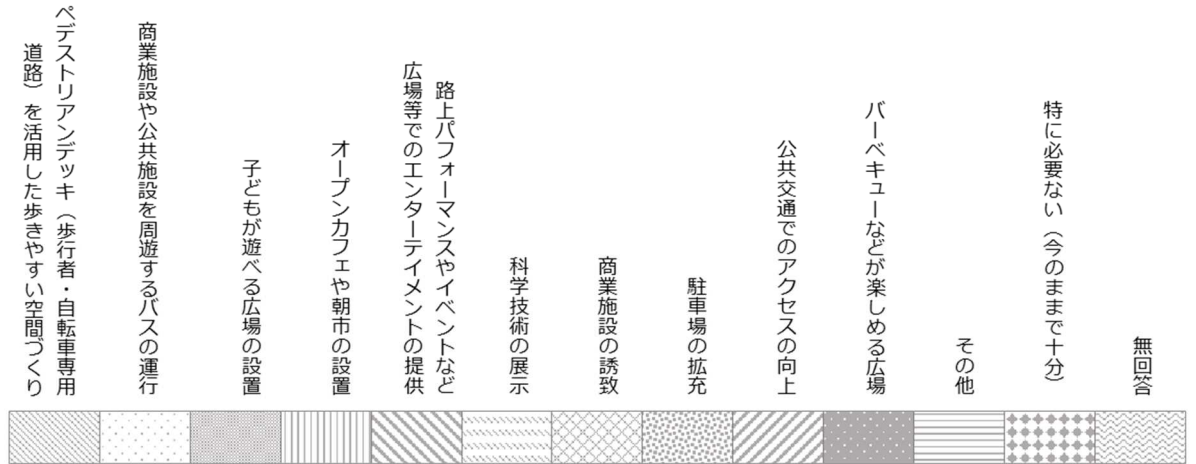
<過年度調査との比較>



7 つくば駅周辺地区の活性化について

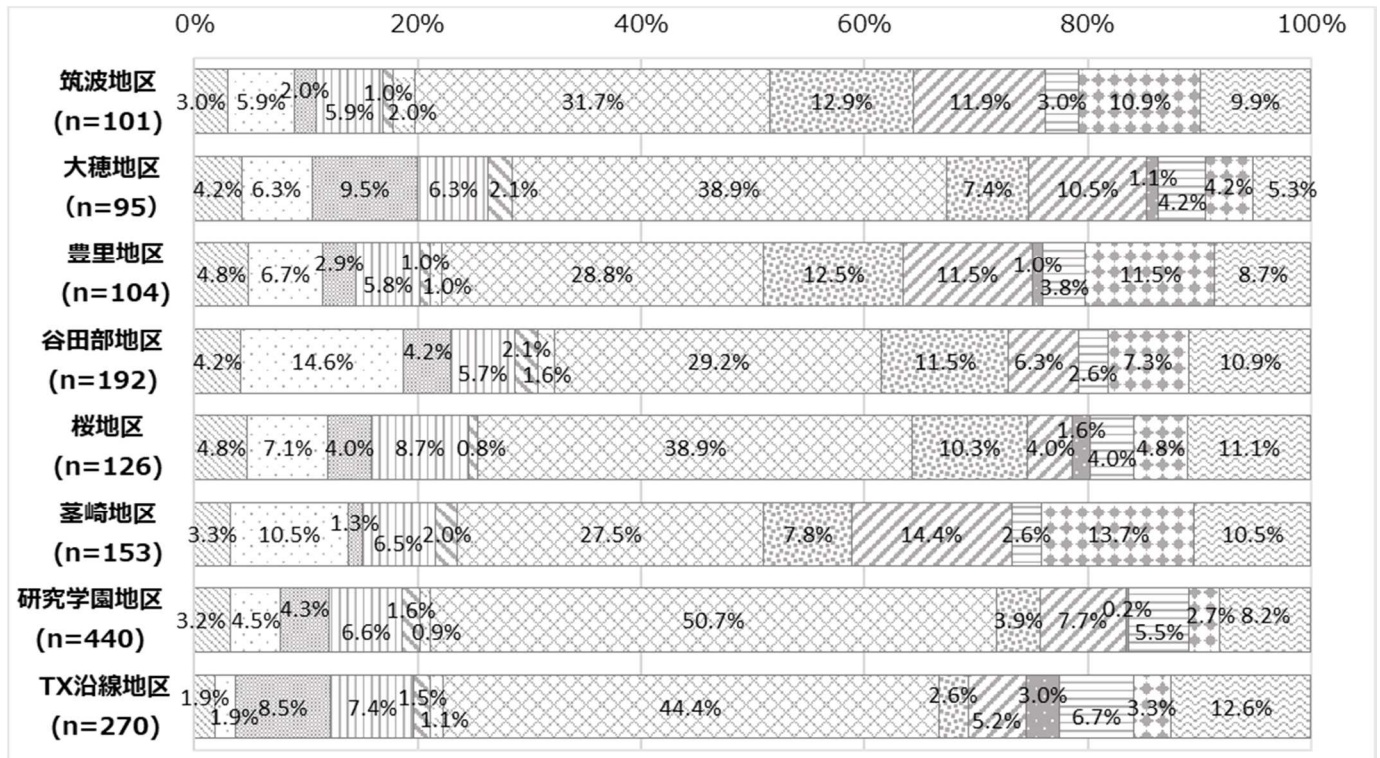
問 31 あなたは、にぎわいのあるつくばセンター地区（つくば駅周辺）にするためには、どのような取組が必要だと思いますか。 <〇は1つ>

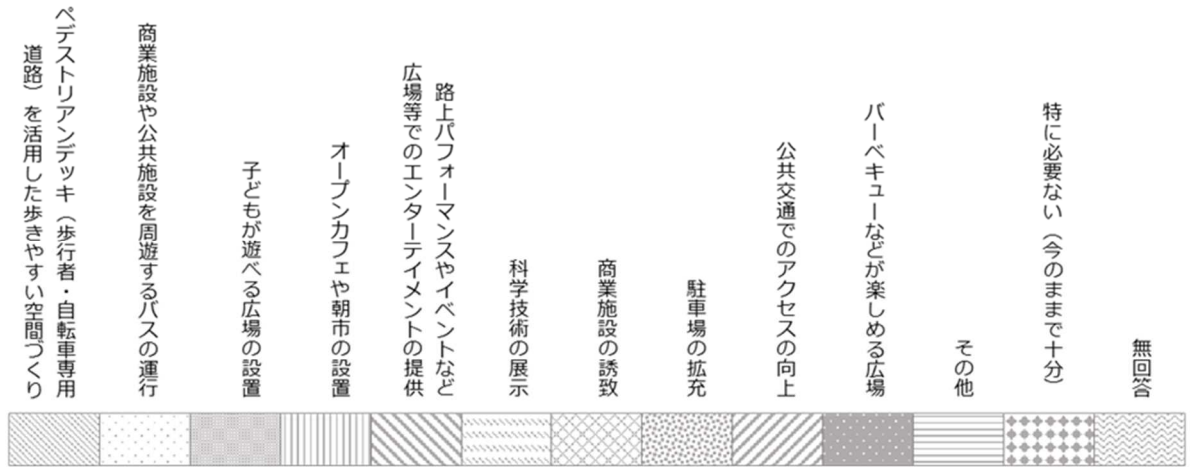
② クロス集計



【地区別】

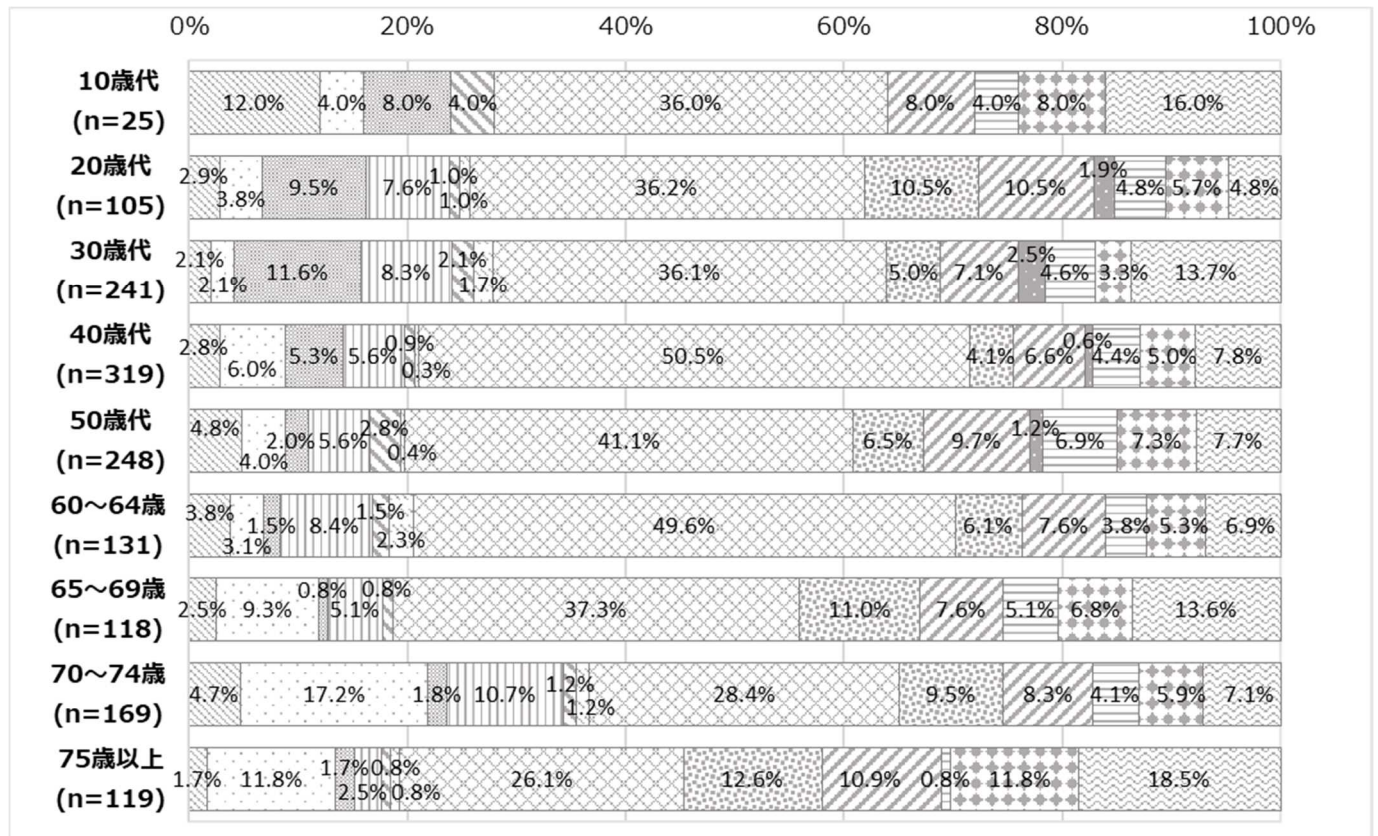
- ・全ての地区で「商業施設の誘致」の割合が最も多く、研究学園地区が最も多い50.7%となっている。
- ・谷田部地区では「商業施設や公共施設を周遊するバスの運行」の割合が他の地区に比べて多く、14.6%となっている。
- ・荃崎地区では「公共交通でのアクセスの向上」の割合が他の地区に比べて多く、14.4%となっている。





【年齢別】

- ・全ての年齢で「商業施設の誘致」の割合が最も多くなっている。
- ・10歳代では「ペDESTリアンデッキ(歩行者・自転車専用道路)を活用した歩きやすい空間づくり」の割合が他の年齢に比べて多く、12.0%となっている。
- ・70～74歳では「商業施設や公共施設を周遊するバスの運行」の割合が他の年齢に比べて多く、17.2%となっている。



8 科学のまちについて

問 32 あなたは、つくばが「科学のまち」であることの恩恵を感じることがありますか。 <〇は1つ>

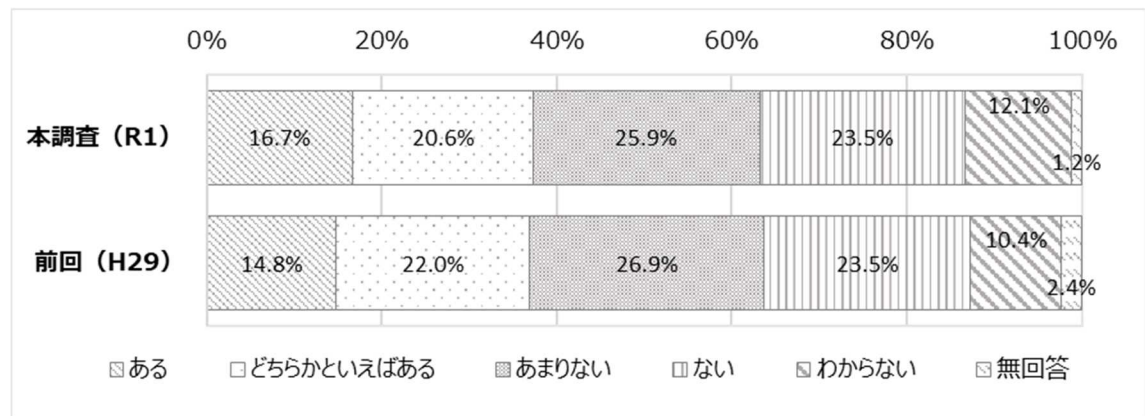
① 全体集計の結果

●つくばが「科学のまち」であることの恩恵を感じたことは、「あまりない/ない」が5割近く

・「科学のまち」の恩恵を感じるかについては、「あまりない」が384人(25.9%)で最も多く、「ない」が348人(23.5%)、「どちらかといえばある」が305人(20.6%)、「ある」が247人(16.7%)で続いている。

選択肢	本調査(R1)		前回(H29)
	回答数(人)	構成比	構成比
ある	247	16.7%	14.8%
どちらかといえばある	305	20.6%	22.0%
あまりない	384	25.9%	26.9%
ない	348	23.5%	23.5%
わからない	179	12.1%	10.4%
無回答	18	1.2%	2.4%
全体	1481	100.0%	100.0%

<過年度調査との比較>



問 32 あなたは、つくばが「科学のまち」であることの恩恵を感じることはありますか。 <〇は1つ>

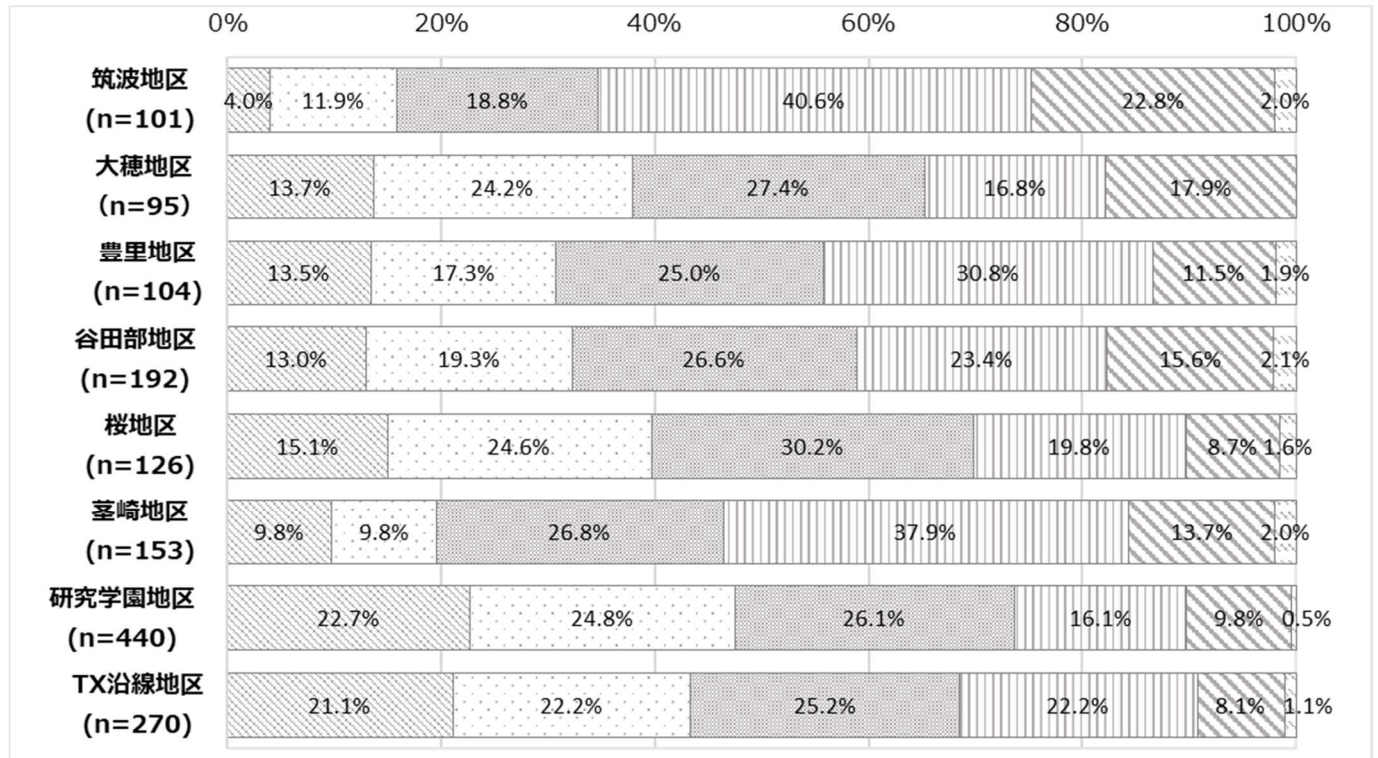
② クロス集計

ある どちらかといえばある あまりない ない わからない 無回答



【地区別】

- ・ 研究学園地区以外の全ての地区で「あまりない/ない」の割合が最も多く、茎崎地区では最も多い64.7%となっている。
- ・ 研究学園地区では「ある/どちらかといえばある」の割合が最も多く、47.5%となっている。



【年齢別】

- ・ 30歳代、50歳代以上では「あまりない/ない」の割合が最も多く、10歳代、20歳代、40歳代では「ある/どちらかといえばある」の割合が最も多くなっている。



8 科学のまちについて

ある どちらかといえばある あまりない ない わからない 無回答



【世帯構成別】

- 全ての世帯構成で「あまりない/ない」の割合が最も多くなっている。
- 親子では「ある/どちらかといえばある」の割合が他の世帯構成に比べて多く、40%を超えている。



【世帯に含む人別】

- 6歳未満の乳幼児、小中学生を含む世帯では「ある/どちらかといえばある」の割合が最も多く、45%を超えている。
- 65～74歳の方、75歳以上の方を含む世帯では「あまりない/ない」の割合が最も多く、50%を超えている。



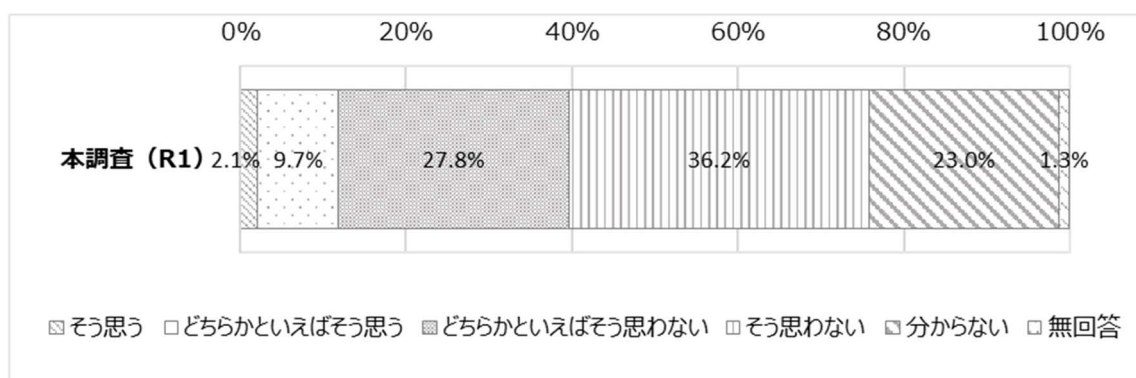
問 33 あなたは、つくば市は先端的な製品・サービスが暮らしの中に活かされていると思いますか。 <○は1つ>
 ※本調査で新たに追加した設問

① 全体集計の結果

●先端的な製品・サービスが暮らしの中に活かされていると思うことは、「どちらかといえばそう思わない/そう思わない」が6割半ば

- ・先端的な製品・サービスが暮らしの中に活かされていると思うかについては、「そう思わない」が536人(36.2%)で最も多く、「どちらかといえばそう思わない」が411人(27.8%)、「わからない」が340人(23.0%)、「どちらかといえばそう思う」が144人(9.7%)で続いている。

選択肢	本調査(R1)	
	回答数(人)	構成比
そう思う	31	2.1%
どちらかといえばそう思う	144	9.7%
どちらかといえばそう思わない	411	27.8%
そう思わない	536	36.2%
分からない	340	23.0%
無回答	19	1.3%
全体	1481	100.0%



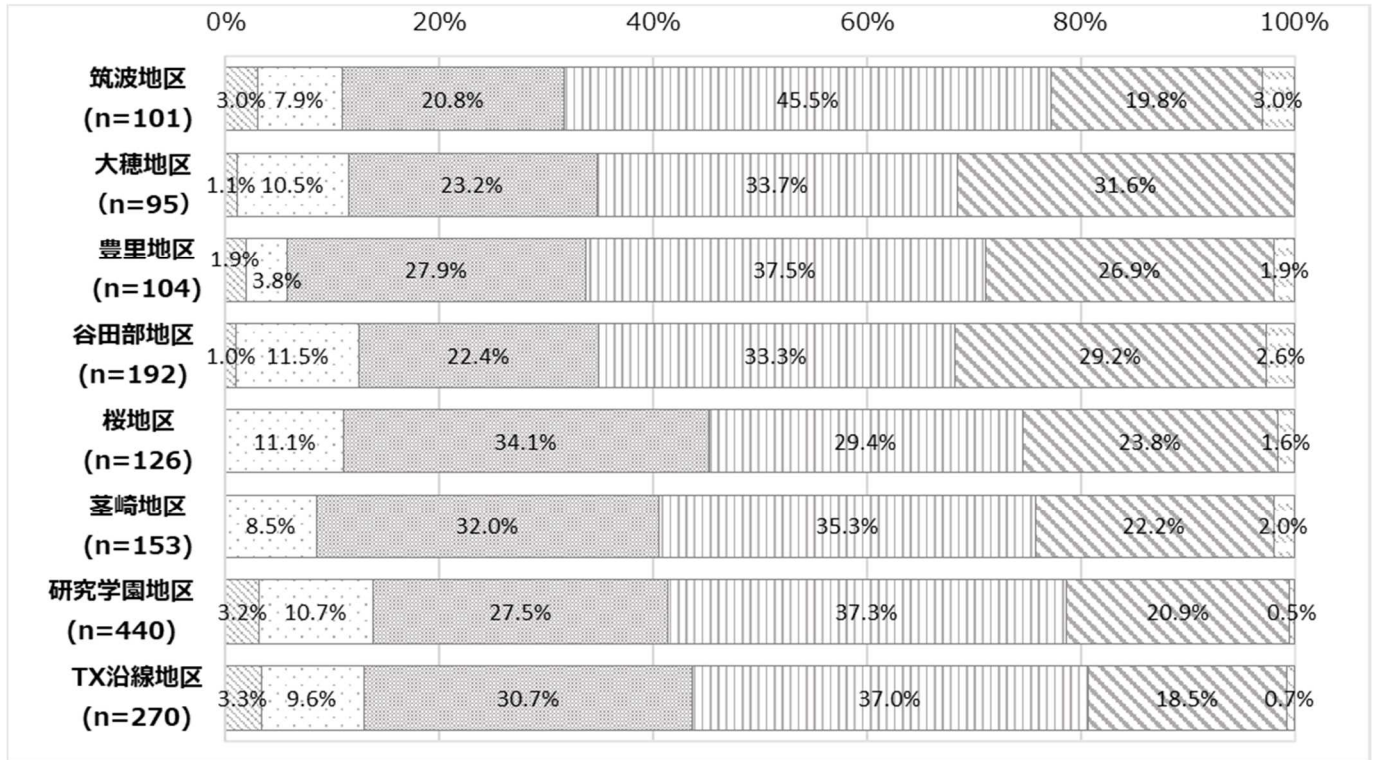
8 科学のまちについて

問 33 あなたは、つくば市は先端的な製品・サービスが暮らしの中に活かされていると思いますか。 <○は1つ>
 ※本調査で新たに追加した設問

② クロス集計

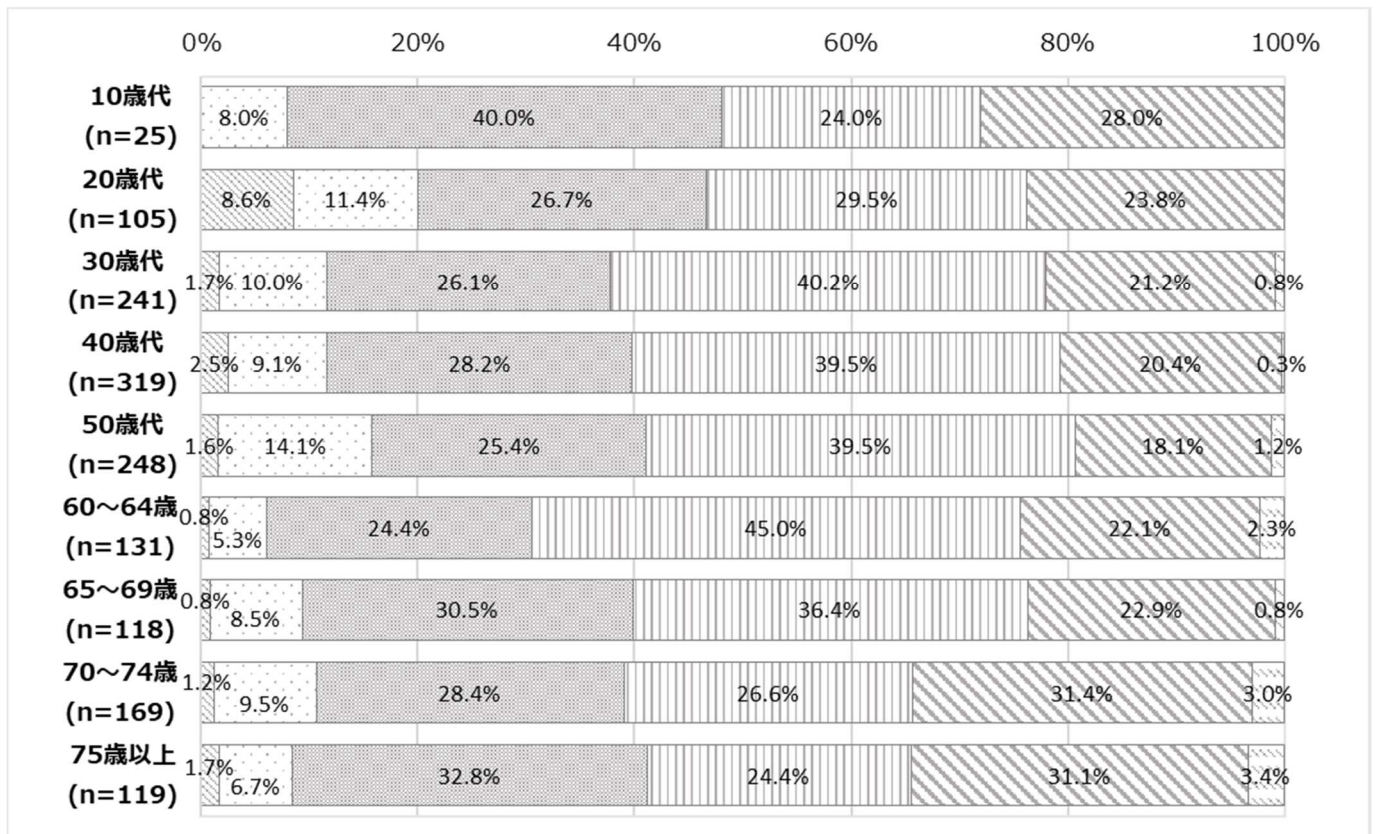
【地区別】

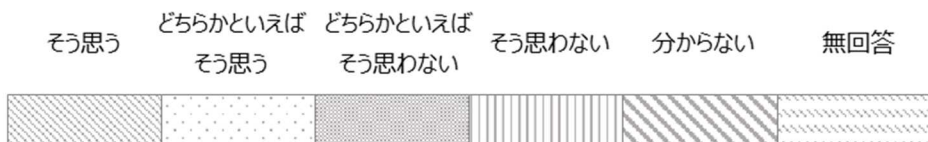
・全ての地区で「どちらかといえばそう思わない/そう思わない」の割合が最も多くなっている。



【年齢別】

・全ての年齢で「どちらかといえばそう思わない/そう思わない」の割合が最も多くなっている。
 ・20歳代では「そう思う/どちらかといえばそう思う」の割合が他の年齢に比べて多く、20%となっている。





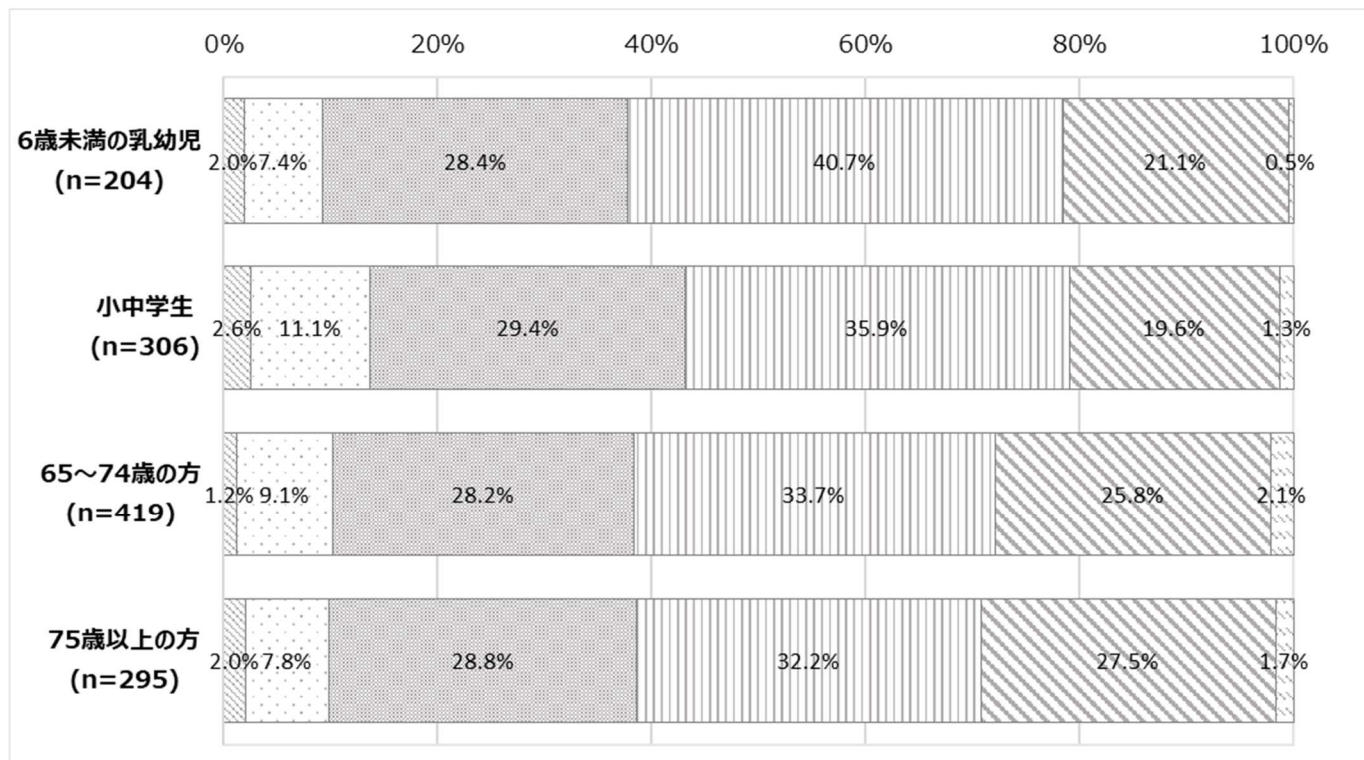
【世帯構成別】

- 全ての世帯構成で「どちらかといえばそう思わない/そう思わない」の割合が最も多くなっている。
- ひとり暮らしでは「そう思う/どちらかといえばそう思わない」の割合が他の世帯構成に比べて多く、14.9%となっている。



【世帯に含む人別】

- 全ての世帯で「どちらかといえばそう思わない/そう思わない」の割合が最も多くなっている。
- 小中学生を含む世帯では「そう思う/どちらかといえばそう思わない」の割合が他の世帯に比べて多く、13.7%となっている。



問 34 ITやAI、ビッグデータなど、新しい技術や研究成果により、将来的に便利になっていくことを期待する分野を選び、番号を以下の解答欄に3つまで記入してください。

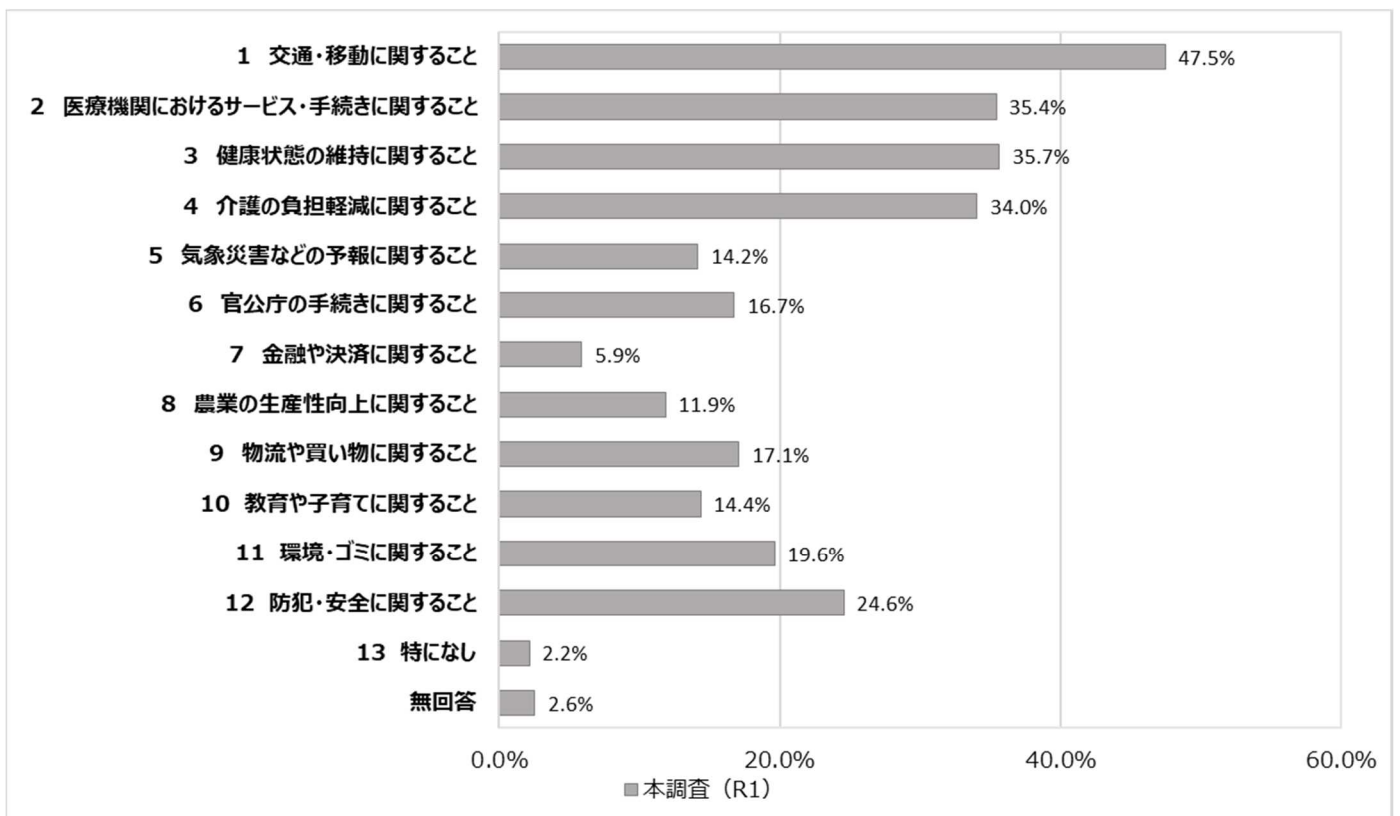
※本調査で新たに追加した設問

① 全体集計の結果

●**新しい技術や研究成果により、将来的に便利になっていくことを期待する分野は、「交通・移動に関する事（自動運転、新型モビリティなど）」が4割半ば**

・新しい技術や研究成果により、将来的に便利になっていくことを期待する分野については、「交通・移動に関する事（自動運転、新型モビリティなど）」が703人(47.5%)で最も多く、「健康状態の維持に関する事（病気の予防、新たな治療技術など）」が528人(35.7%)、「医療機関におけるサービス・手続きに関する事」が525人(35.4%)、「介護の負担軽減に関する事」が504人(34.0%)が続いている。

選択肢	本調査(R1)	
	回答数(人)	構成比
1 交通・移動に関する事(自動運転、新型モビリティなど)	703	47.5%
2 医療機関におけるサービス・手続きに関する事	525	35.4%
3 健康状態の維持に関する事(病気の予防、新たな治療技術など)	528	35.7%
4 介護の負担軽減に関する事	504	34.0%
5 気象災害などの予報に関する事	210	14.2%
6 官公庁の手続きに関する事(手続きの簡素化、インターネットでの手続き等)	248	16.7%
7 金融や決済に関する事(キャッシュレス決済や、インターネットでの手続き等)	87	5.9%
8 農業の生産性向上に関する事(人手不足の解消、収量増加など)	176	11.9%
9 物流や買い物に関する事(ドローン、宅配、産地・生産者の見える化など)	253	17.1%
10 教育や子育てに関する事(遠隔教育、AI活用、科学体験教育など)	213	14.4%
11 環境・ゴミに関する事(水質浄化、リサイクルなど)	291	19.6%
12 防犯・安全に関する事(ロボットによる見守りなど)	364	24.6%
13 特になし	32	2.2%
無回答	38	2.6%
全体(有効回答数)	1481	



問34 ITやAI、ビッグデータなど、新しい技術や研究成果により、将来的に便利になっていくことを期待する分野を選び、番号を以下の解答欄に3つまで記入してください。

※本調査で新たに追加した設問

② クロス集計

【地区別】

- ・全ての地区では「交通・移動に関すること」が上位に入っている。
- ・豊里地区、谷田部地区、桜地区、荃崎地区では「介護の負担軽減に関すること」が上位に入っている。
- ・桜地区以外の地区では「医療機関におけるサービス・手続きに関すること」が上位に入っている。

回答順	1位	2位	3位	4位	5位
筑波地区 (n=101)	交通・移動に関すること	介護の負担軽減に関すること	医療機関におけるサービス・手続きに関すること	健康状態の維持に関すること	防犯・安全に関すること
	49 48.5%	47 46.5%	40 39.6%	32 31.7%	24 23.8%
大穂地区 (n=95)	健康状態の維持に関すること	交通・移動に関すること	医療機関におけるサービス・手続きに関すること	介護の負担軽減に関すること	防犯・安全に関すること
	45 47.4%	44 46.3%	38 40.0%	28 29.5%	23 24.2%
豊里地区 (n=104)	介護の負担軽減に関すること	交通・移動に関すること／医療機関におけるサービス・手続きに関すること		防犯・安全に関すること	健康状態の維持に関すること
	47 45.2%	42 40.4%		37 35.6%	35 33.7%
谷田部地区 (n=192)	交通・移動に関すること	介護の負担軽減に関すること	医療機関におけるサービス・手続きに関すること	健康状態の維持に関すること	防犯・安全に関すること
	81 42.2%	79 41.1%	77 40.1%	65 33.9%	44 22.9%
桜地区 (n=126)	交通・移動に関すること	健康状態の維持に関すること	介護の負担軽減に関すること	医療機関におけるサービス・手続きに関すること	環境・ゴミに関すること
	59 46.8%	46 36.5%	43 34.1%	39 31.0%	34 27.0%
荃崎地区 (n=153)	健康状態の維持に関すること	介護の負担軽減に関すること	交通・移動に関すること／医療機関におけるサービス・手続きに関すること		環境・ゴミに関すること
	66 43.1%	63 41.2%	62 40.5%		33 21.6%
研究学園地区 (n=440)	交通・移動に関すること	健康状態の維持に関すること	医療機関におけるサービス・手続きに関すること	介護の負担軽減に関すること	防犯・安全に関すること
	220 50.0%	146 33.2%	132 30.0%	129 29.3%	108 24.5%
TX沿線地区 (n=270)	交通・移動に関すること	医療機関におけるサービス・手続きに関すること	健康状態の維持に関すること	介護の負担軽減に関すること／防犯・安全に関すること	
	146 54.1%	95 35.2%	93 34.4%	68 25.2%	

【年齢別】

- ・75歳以上を除くすべての年齢で「交通・移動に関すること」が上位に入っている。
- ・30歳代以外の年齢で「健康状態の維持に関すること」が上位に入っている。
- ・60～64歳代、70～74歳代では「介護の負担軽減に関すること」が最も多くなっている。

回答順	1位	2位	3位	4位	5位
10歳代 (n=25)	交通・移動に関すること／健康状態の維持に関すること		医療機関におけるサービス・手続きに関すること	気象災害などの予報に関すること／物流や買い物に関すること	
	9 36.0%		8 32.0%	7 28.0%	
20歳代 (n=105)	交通・移動に関すること	防犯・安全に関すること	健康状態の維持に関すること	医療機関におけるサービス・手続きに関すること	物流や買い物に関すること
	61 58.1%	30 28.6%	29 27.6%	28 26.7%	27 25.7%
30歳代 (n=241)	交通・移動に関すること	医療機関におけるサービス・手続きに関すること	防犯・安全に関すること	健康状態の維持に関すること	介護の負担軽減に関すること／教育や子育てに関すること
	134 55.6%	83 34.4%	65 27.0%	64 26.6%	58 24.1%
40歳代 (n=319)	交通・移動に関すること	健康状態の維持に関すること	医療機関におけるサービス・手続きに関すること	介護の負担軽減に関すること	防犯・安全に関すること
	157 49.2%	108 33.9%	99 31.0%	94 29.5%	83 26.0%
50歳代 (n=248)	交通・移動に関すること	健康状態の維持に関すること	介護の負担軽減に関すること	医療機関におけるサービス・手続きに関すること	防犯・安全に関すること
	133 53.6%	94 37.9%	89 35.9%	85 34.3%	60 24.2%
60～64歳 (n=131)	介護の負担軽減に関すること	健康状態の維持に関すること	交通・移動に関すること	医療機関におけるサービス・手続きに関すること	防犯・安全に関すること
	63 48.1%	59 45.0%	52 39.7%	44 33.6%	31 23.7%
65～69歳 (n=118)	交通・移動に関すること	医療機関におけるサービス・手続きに関すること／健康状態の維持に関すること		介護の負担軽減に関すること	環境・ゴミに関すること
	50 42.4%	46 39.0%		43 36.4%	30 25.4%
70～74歳 (n=169)	介護の負担軽減に関すること	医療機関におけるサービス・手続きに関すること	交通・移動に関すること／健康状態の維持に関すること		防犯・安全に関すること
	77 45.6%	75 44.4%	64 37.9%		44 26.0%
75歳以上 (n=119)	医療機関におけるサービス・手続きに関すること／健康状態の維持に関すること		介護の負担軽減に関すること	交通・移動に関すること	環境・ゴミに関すること
	55 46.2%		54 45.4%	42 35.3%	29 24.4%

8 科学のまちについて

【世帯構成別】

- ・全ての世帯構成で「交通・移動に関する事」が上位に入っている。
- ・その他を除くすべての世帯構成で「健康状態の維持に関する事」が上位に入っている。
- ・三世代同居を除くすべての世帯構成で「医療機関におけるサービス・手続きに関する事」が上位に入っている。
- ・三世代同居とその他では「介護の負担軽減に関する事」が最も多くなっている。

回答順	1位	2位	3位	4位	5位
ひとり暮らし (n=175)	交通・移動に関する事	健康状態の維持に関する事	医療機関におけるサービス・手続きに関する事	環境・ゴミに関する事	介護の負担軽減に関する事
	94 53.7%	65 37.1%	61 34.9%	42 24.0%	40 22.9%
夫婦のみ (n=380)	交通・移動に関する事	健康状態の維持に関する事	医療機関におけるサービス・手続きに関する事	介護の負担軽減に関する事	防犯・安全に関する事
	187 49.2%	143 37.6%	139 36.6%	137 36.1%	96 25.3%
親子 (n=703)	交通・移動に関する事	健康状態の維持に関する事	医療機関におけるサービス・手続きに関する事	介護の負担軽減に関する事	防犯・安全に関する事
	334 47.5%	244 34.7%	243 34.6%	222 31.6%	181 25.7%
三世代同居 (n=132)	介護の負担軽減に関する事	交通・移動に関する事	健康状態の維持に関する事	医療機関におけるサービス・手続きに関する事	防犯・安全に関する事
	58 43.9%	55 41.7%	48 36.4%	45 34.1%	35 26.5%
その他 (n=84)	介護の負担軽減に関する事	医療機関におけるサービス・手続きに関する事	交通・移動に関する事	健康状態の維持に関する事	環境・ゴミに関する事
	45 53.6%	35 41.7%	32 38.1%	28 33.3%	19 22.6%

【世帯に含む人別】

- ・6歳未満の乳幼児、小中学生を含む世帯では「交通・移動に関する事」が最も多くなっている。
- ・65～74歳の方、75歳以上の方を含む世帯では「介護の負担軽減に関する事」が最も多くなっている。
- ・全ての世帯で「医療機関におけるサービス・手続きに関する事」が上位に入っている。

回答順	1位	2位	3位	4位	5位
6歳未満の乳幼児 (n=204)	交通・移動に関する事	医療機関におけるサービス・手続きに関する事	教育や子育てに関する事	健康状態の維持に関する事	防犯・安全に関する事
	94 46.1%	72 35.3%	68 33.3%	63 30.9%	60 29.4%
小中学生 (n=306)	交通・移動に関する事	健康状態の維持に関する事	医療機関におけるサービス・手続きに関する事	防犯・安全に関する事	介護の負担軽減に関する事
	136 44.4%	102 33.3%	93 30.4%	90 29.4%	87 28.4%
65～74歳の方 (n=419)	介護の負担軽減に関する事	交通・移動に関する事	医療機関におけるサービス・手続きに関する事	健康状態の維持に関する事	防犯・安全に関する事
	176 42.0%	171 40.8%	163 38.9%	161 38.4%	98 23.4%
75歳以上の方 (n=295)	介護の負担軽減に関する事	医療機関におけるサービス・手続きに関する事	健康状態の維持に関する事	交通・移動に関する事	防犯・安全に関する事
	139 47.1%	133 45.1%	119 40.3%	114 38.6%	63 21.4%

9 国際都市つくばについて

問 35 あなたは、「国際都市」として、つくば市が取り組むべきことは何だと思いますか。
当てはまる番号を、右の回答欄に3つまで記入して下さい。

① 全体集計の結果

●国際都市として取り組むべきことは、「学校での国際教育」が4割半ば

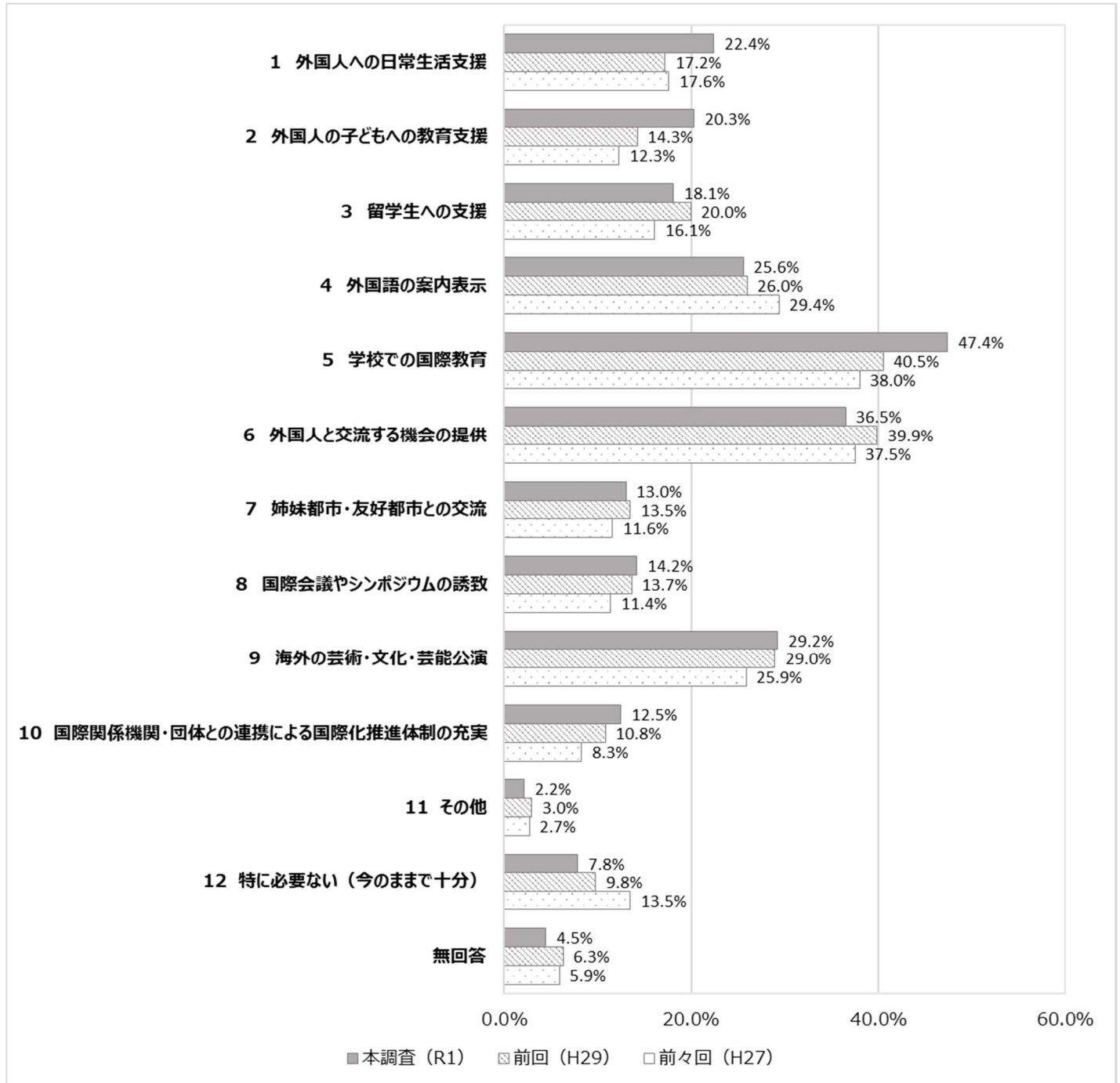
・つくば市が国際都市として取り組むべきことについては、「学校での国際教育」が702人(47.4%)で最も多く、「外国人と交流する機会の提供」が541人(36.5%)、「海外の芸術・文化・芸能公演」が433人(29.2%)、「外国語の案内表示」が379人(25.6%)が続いている。

選択肢	本調査(R1)		前回(H29)	前々回(H27)
	回答数(人)	構成比	構成比	構成比
1 外国人への日常生活支援	332	22.4%	17.2%	17.6%
2 外国人の子どもへの教育支援	301	20.3%	14.3%	12.3%
3 留学生への支援	268	18.1%	20.0%	16.1%
4 外国語の案内表示	379	25.6%	26.0%	29.4%
5 学校での国際教育	702	47.4%	40.5%	38.0%
6 外国人と交流する機会の提供	541	36.5%	39.9%	37.5%
7 姉妹都市・友好都市との交流	193	13.0%	13.5%	11.6%
8 国際会議やシンポジウムの誘致	210	14.2%	13.7%	11.4%
9 海外の芸術・文化・芸能公演	433	29.2%	29.0%	25.9%
10 国際関係機関・団体との連携による国際化推進体制の充実	185	12.5%	10.8%	8.3%
11 その他	32	2.2%	3.0%	2.7%
12 特に必要ない(今のままで十分)	116	7.8%	9.8%	13.5%
無回答	66	4.5%	6.3%	5.9%
全体(有効回答数)	1481			

9 国際都市つくばについて

問 35 あなたは、「国際都市」として、つくば市が取り組むべきことは何だと思いますか。
当てはまる番号を、右の回答欄に3つまで記入して下さい。

<過年度調査との比較（項目順）>



問 35 あなたは、「国際都市」として、つくば市が取り組むべきことは何だと思いますか。
 当てはまる番号を、右の回答欄に3つまで記入して下さい。

② クロス集計

【地区別】

- ・全ての地域で「学校での国際教育」が最も多く、次いで「外国人と交流する機会の提供」「海外の芸術・文化・芸能公演」となっている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
筑波地区 (n=101)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		海外の芸術・文化・芸能公演		国際関係機関・団体との連携による 国際化推進体制の充実		外国語の案内表示	
	51	50.5%	35	34.7%	28	27.7%	20	19.8%	19	18.8%
大穂地区 (n=95)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		外国語の案内表示／海外の芸術・文化・芸能公演		留学生への支援			
	48	50.5%	33	34.7%	23		24.2%		19	20.0%
豊里地区 (n=104)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		海外の芸術・文化・芸能公演		外国語の案内表示		外国人への日常生活支援	
	50	48.1%	37	35.6%	31	29.8%	26	25.0%	18	17.3%
谷田部地区 (n=192)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		海外の芸術・文化・芸能公演		留学生への支援		外国人への日常生活支援 ／外国人の子どもへの教育支援	
	99	51.6%	52	27.1%	51	26.6%	39	20.3%	36	18.8%
桜地区 (n=126)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		海外の芸術・文化・芸能公演		外国人への日常生活支援		外国人の子どもへの教育支援 ／留学生への支援	
	56	44.4%	45	35.7%	37	29.4%	36	28.6%	26	20.6%
荃崎地区 (n=153)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		海外の芸術・文化・芸能公演		外国語の案内表示		留学生への支援	
	77	50.3%	64	41.8%	45	29.4%	42	27.5%	33	21.6%
研究学園地区 (n=440)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		海外の芸術・文化・芸能公演		外国語の案内表示		外国人への日常生活支援	
	174	39.5%	160	36.4%	139	31.6%	134	30.5%	130	29.5%
TX沿線地区 (n=270)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		海外の芸術・文化・芸能公演		外国語の案内表示		外国人への日常生活支援	
	147	54.4%	115	42.6%	79	29.3%	74	27.4%	59	21.9%

【年齢別】

- ・10歳代では「外国語の案内表示」が最も多く、20歳代以上では「学校での国際教育」が最も多くなっている。
- ・全ての年齢で「外国人と交流する機会の提供」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
10歳代 (n=25)	外国語の案内表示		学校での国際教育		外国人への日常生活支援／外国人と交流する機会の提供		外国人の子どもへの教育支援 ／留学生への支援			
	12	48.0%	11	44.0%	7		28.0%		6	24.0%
20歳代 (n=105)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		海外の芸術・文化・芸能公演		外国人への日常生活支援		外国語の案内表示	
	44	41.9%	34	32.4%	32	30.5%	30	28.6%	26	24.8%
30歳代 (n=241)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		外国人への日常生活支援		海外の芸術・文化・芸能公演		外国語の案内表示	
	128	53.1%	90	37.3%	68	28.2%	66	27.4%	65	27.0%
40歳代 (n=319)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		海外の芸術・文化・芸能公演		外国語の案内表示		外国人への日常生活支援	
	165	51.7%	133	41.7%	93	29.2%	89	27.9%	78	24.5%
50歳代 (n=248)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		海外の芸術・文化・芸能公演		留学生への支援		外国人への日常生活支援	
	106	42.7%	89	35.9%	82	33.1%	62	25.0%	58	23.4%
60～64歳 (n=131)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		海外の芸術・文化・芸能公演		外国人の子どもへの教育支援／外国語の案内表示			
	67	51.1%	47	35.9%	37	28.2%	33		25.2%	
65～69歳 (n=118)	学校での国際教育		海外の芸術・文化・芸能公演		外国人と交流する機会の提供		外国語の案内表示		国際会議やシンポジウムの誘致	
	56	47.5%	41	34.7%	39	33.1%	30	25.4%	23	19.5%
70～74歳 (n=169)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		外国語の案内表示		海外の芸術・文化・芸能公演		外国人への日常生活支援	
	65	38.5%	58	34.3%	48	28.4%	46	27.2%	32	18.9%
75歳以上 (n=119)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		海外の芸術・文化・芸能公演		外国語の案内表示		留学生への支援	
	56	47.1%	41	34.5%	30	25.2%	24	20.2%	22	18.5%

9 国際都市つくばについて

【世帯に含む人別】

- ・全ての世代で「学校での国際教育」が最も多く、次いで「外国人と交流する機会の提供」となっている。
- ・小中学生を含む世代では「外国人の子供への教育支援」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
6歳未満の乳幼児 (n=204)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		海外の芸術・文化・芸能公演		外国人の子供への教育支援		外国人への日常生活支援 ／外国語の案内表示	
	134	65.7%	87	42.6%	54	26.5%	50	24.5%	47	23.0%
小中学生 (n=306)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		外国人の子供への教育支援		海外の芸術・文化・芸能公演		外国語の案内表示	
	200	65.4%	117	38.2%	84	27.5%	83	27.1%	72	23.5%
65～74歳の方 (n=419)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		海外の芸術・文化・芸能公演		外国語の案内表示		外国人への日常生活支援	
	183	43.7%	139	33.2%	125	29.8%	112	26.7%	77	18.4%
75歳以上の方 (n=295)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		海外の芸術・文化・芸能公演		外国語の案内表示		留学生への支援	
	142	48.1%	106	35.9%	79	26.8%	68	23.1%	65	22.0%

【職業別】

- ・その他を除く全ての職業で「学校での国際教育」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
会社員・公務員 (n=562)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		海外の芸術・文化・芸能公演		外国語の案内表示		外国人への日常生活支援	
	270	48.0%	219	39.0%	166	29.5%	156	27.8%	144	25.6%
自営業 (n=86)	学校での国際教育		海外の芸術・文化・芸能公演		外国人と交流する機会の提供		姉妹都市・友好都市との交流		外国語の案内表示	
	42	48.8%	29	33.7%	24	27.9%	21	24.4%	20	23.3%
農林業 (n=18)	学校での国際教育		外国人の子供への教育支援		外国語の案内表示		姉妹都市・友好都市との交流		留学生への支援	
	9	50.0%	5	27.8%	5	27.8%	5	27.8%	4	22.2%
パート・アルバイトなど (n=225)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		外国語の案内表示／海外の芸術・文化・芸能公演		外国人の子供への教育支援			
	114	50.7%	83	36.9%	62	27.6%	47	20.9%		
専業主婦(主夫) (n=247)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		海外の芸術・文化・芸能公演		外国語の案内表示		外国人の子供への教育支援	
	128	51.8%	97	39.3%	79	32.0%	61	24.7%	53	21.5%
学生 (n=65)	学校での国際教育		外国語の案内表示		外国人への日常生活支援		外国人と交流する機会の提供／海外の芸術・文化・芸能公演			
	25	38.5%	21	32.3%	19	29.2%	17	26.2%		
無職 (n=209)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		海外の芸術・文化・芸能公演		外国人への日常生活支援		外国語の案内表示	
	83	39.7%	71	34.0%	56	26.8%	47	22.5%	42	20.1%
その他 (n=55)	外国人と交流する機会の提供		学校での国際教育		海外の芸術・文化・芸能公演		外国人への日常生活支援		外国人の子供への教育支援	
	26	47.3%	24	43.6%	19	34.5%	14	25.5%	11	20.0%

10 SDGs（持続可能な開発目標）について

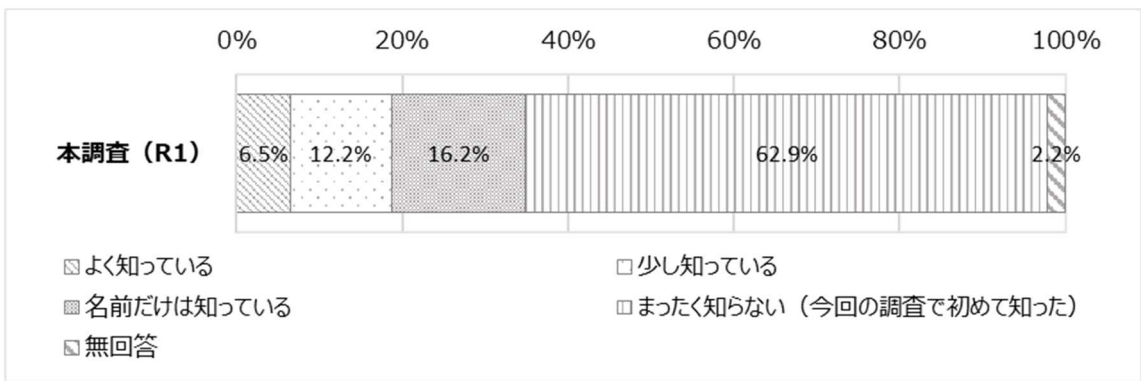
問 36 あなたのSDGsに関する認知度について、以下の選択肢の中から最も近いものを選んでください。
 <○は1つ>
 ※本調査で新たに追加した設問

① 全体集計の結果

●SDGsに関する認知度は、「まったく知らない（今回の調査で初めて知った）」が6割超え

・SDGsに関する認知度については、「まったく知らない（今回の調査で初めて知った）」が932人(62.9%)で最も多く、「名前だけは知っている」が240人(16.2%)、「少し知っている」が181人(12.2%)、「よく知っている」が96人(6.5%)で続いている。

選択肢	本調査(R1)	
	回答数(人)	構成比
よく知っている	96	6.5%
少し知っている	181	12.2%
名前だけは知っている	240	16.2%
まったく知らない(今回の調査で初めて知った)	932	62.9%
無回答	32	2.2%
全体	1481	100.0%



問 36 あなたのSDGsに関する認知度について、以下の選択肢の中から最も近いものを選んでください。
 <〇は1つ>
 ※本調査で新たに追加した設問

② クロス集計

よく知っている 少し知っている 名前だけは知っている まったく知らない（今回の調査で初めて知った） 無回答

【地区別】

- ・全ての地区で「まったく知らない(今回の調査で初めて知った)」の割合が最も多くなっている。
- ・研究学園地区、TX沿線地区では「少し知っている」の割合が他の地区に比べて多く、15%を超えている。



【年齢別】

- ・全ての年齢で「まったく知らない」の割合が最も多く、65～69歳が最も多い76.3%となっている。
- ・「よく知っている」「少し知っている」の割合が10歳代で最も多くなっている。



問 37 SDGs や持続可能都市に関することで、関心が高いものを選び、番号を以下の解答欄に3つまで記入してください。

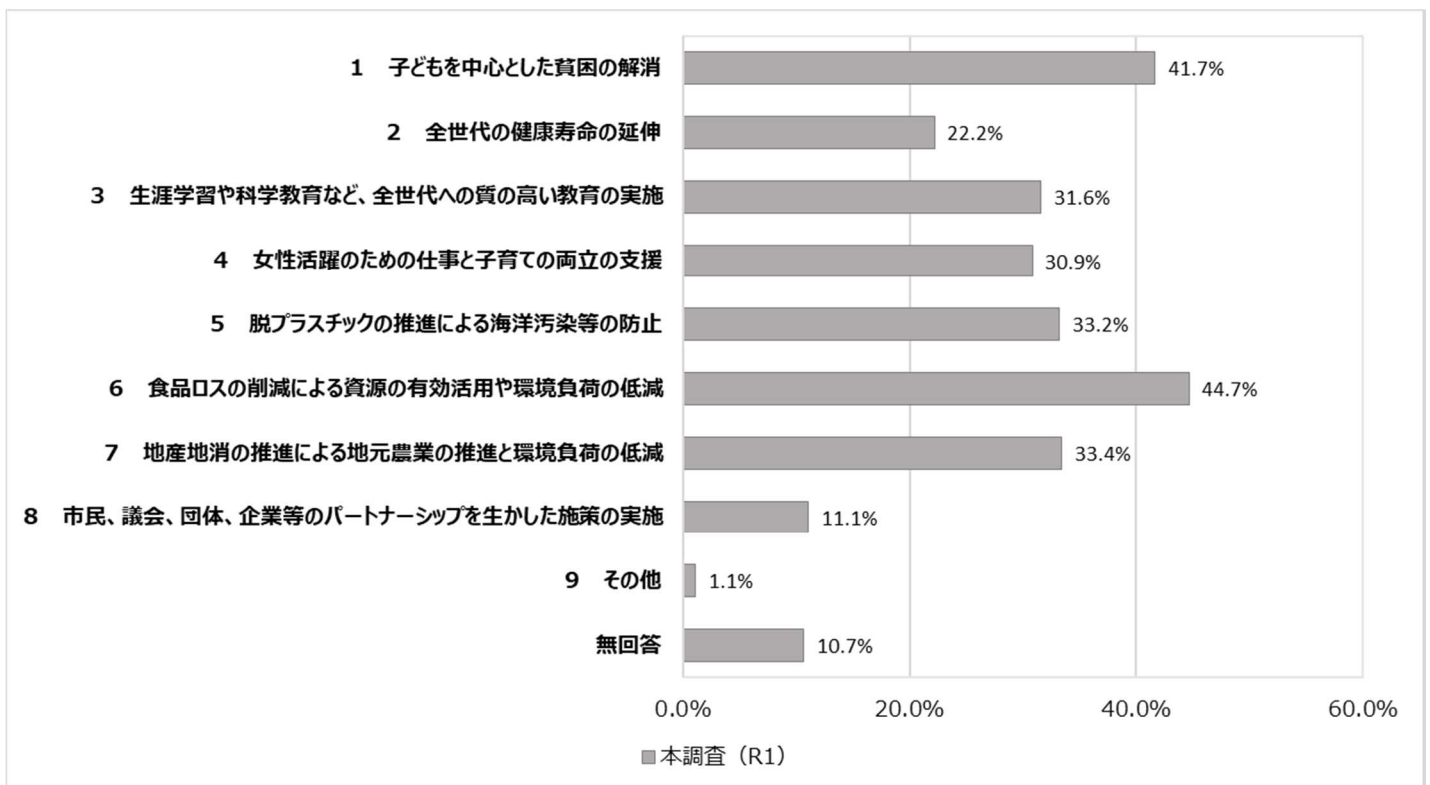
※本調査で新たに追加した設問

① 全体集計の結果

●SDGs や持続可能都市に関することで関心が高いものは、「食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負荷の低減」が4割半ば

- ・SDGs や持続可能都市に関することで、関心が高いものは、「食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負荷の低減」が662人(44.7%)で最も多く、「子どもを中心とした貧困の解消」が617人(41.7%)、「子どもを中心とした貧困の解消」が617人(41.7%)、「地産地消の推進による地元農業の推進と環境負荷の低減」が495人(33.4%)、「脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止」が492人(33.2%)で続いている。

選択肢	本調査(R1)	
	回答数(人)	構成比
1 子どもを中心とした貧困の解消	617	41.7%
2 全世代の健康寿命の延伸	329	22.2%
3 生涯学習や科学教育など、全世代への質の高い教育の実施	468	31.6%
4 女性活躍のための仕事と子育ての両立の支援	457	30.9%
5 脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止	492	33.2%
6 食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負荷の低減	662	44.7%
7 地産地消の推進による地元農業の推進と環境負荷の低減	495	33.4%
8 市民、議会、団体、企業等のパートナーシップを生かした施策の実施	164	11.1%
9 その他	16	1.1%
無回答	158	10.7%
全体(有効回答数)	1481	



問37 SDGsや持続可能都市に関することで、関心が高いものを選び、番号を以下の解答欄に3つまで記入してください。
 ※本調査で新たに追加した設問

② クロス集計

【地区別】

・全ての地区で「食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負担の低減」「子どもを中心とした貧困の解消」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
筑波地区 (n=101)	子どもを中心とした貧困の解消 40 39.6%		食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負担の低減 37 36.6%		地産地消の推進による地元農業の推進と環境負担の低減 36 35.6%		脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止 27 26.7%		女性活躍のための仕事と子育ての両立の支援 26 25.7%	
大穂地区 (n=95)	食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負担の低減 44 46.3%		子どもを中心とした貧困の解消 36 37.9%		地産地消の推進による地元農業の推進と環境負担の低減 35 36.8%		脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止 28 29.5%		全世代の健康寿命の延伸 26 27.4%	
豊里地区 (n=104)	食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負担の低減 50 48.1%		子どもを中心とした貧困の解消 43 41.3%		脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止 32 30.8%		全世代の健康寿命の延伸 ／地産地消の推進による地元農業の推進と環境負担の低減 31 29.8%			
谷田部地区 (n=192)	食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負担の低減 81 42.2%		子どもを中心とした貧困の解消 68 35.4%		脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止 67 34.9%		地産地消の推進による地元農業の推進と環境負担の低減 58 30.2%		生涯学習や科学教育など、全世代への質の高い教育の実施 51 26.6%	
桜地区 (n=126)	食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負担の低減 52 41.3%		子どもを中心とした貧困の解消 50 39.7%		脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止 44 34.9%		女性活躍のための仕事と子育ての両立の支援 43 34.1%		生涯学習や科学教育など、全世代への質の高い教育の実施 42 33.3%	
荻崎地区 (n=153)	食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負担の低減 71 46.4%		脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止 63 41.2%		子どもを中心とした貧困の解消 61 39.9%		地産地消の推進による地元農業の推進と環境負担の低減 48 31.4%		女性活躍のための仕事と子育ての両立の支援 46 30.1%	
研究学園地区 (n=440)	食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負担の低減 216 49.1%		子どもを中心とした貧困の解消 200 45.5%		地産地消の推進による地元農業の推進と環境負担の低減 175 39.8%		生涯学習や科学教育など、全世代への質の高い教育の実施 151 34.3%		脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止 149 33.9%	
TX沿線地区 (n=270)	子どもを中心とした貧困の解消 119 44.1%		生涯学習や科学教育など、全世代への質の高い教育の実施 117 43.3%		食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負担の低減 111 41.1%		女性活躍のための仕事と子育ての両立の支援 98 36.3%		脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止 82 30.4%	

【年齢別】

- ・全ての年齢で「子どもを中心とした貧困の解消」が上位に入っている。
- ・10歳代から30歳代では「女性活躍のための仕事と子育ての両立の支援」が最も多くなっている。
- ・50歳代、65歳以上では「食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負担の低減」が最も多くなっている。
- ・60～64歳代では「地産地消の推進による地元農業の推進と環境負担の低減」が最も多くなっている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
10歳代 (n=25)	子どもを中心とした貧困の解消／女性活躍のための仕事と子育ての両立の支援 ／食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負担の低減 11 44.0%				生涯学習や科学教育など、全世代への質の高い教育の実施 ／脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止 10 40.0%					
20歳代 (n=105)	女性活躍のための仕事と子育ての両立の支援 49 46.7%		子どもを中心とした貧困の解消 46 43.8%		生涯学習や科学教育など、全世代への質の高い教育の実施 42 40.0%		食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負担の低減 38 36.2%		地産地消の推進による地元農業の推進と環境負担の低減 26 24.8%	
30歳代 (n=241)	女性活躍のための仕事と子育ての両立の支援 112 46.5%		子どもを中心とした貧困の解消 105 43.6%		食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負担の低減 102 42.3%		生涯学習や科学教育など、全世代への質の高い教育の実施 94 39.0%		地産地消の推進による地元農業の推進と環境負担の低減 71 29.5%	
40歳代 (n=319)	子どもを中心とした貧困の解消 143 44.8%		食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負担の低減 141 44.2%		生涯学習や科学教育など、全世代への質の高い教育の実施 119 37.3%		脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止 ／地産地消の推進による地元農業の推進と環境負担の低減 117 36.7%			
50歳代 (n=248)	食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負担の低減 126 50.8%		子どもを中心とした貧困の解消 108 43.5%		脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止 94 37.9%		地産地消の推進による地元農業の推進と環境負担の低減 87 35.1%		生涯学習や科学教育など、全世代への質の高い教育の実施 71 28.6%	
60～64歳 (n=131)	地産地消の推進による地元農業の推進と環境負担の低減 55 42.0%		食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負担の低減 52 39.7%		子どもを中心とした貧困の解消 48 36.6%		生涯学習や科学教育など、全世代への質の高い教育の実施 ／脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止 38 29.0%			
65～69歳 (n=118)	食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負担の低減 61 51.7%		子どもを中心とした貧困の解消 49 40.7%		地産地消の推進による地元農業の推進と環境負担の低減 47 39.8%		脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止 45 38.1%		生涯学習や科学教育など、全世代への質の高い教育の実施 34 28.8%	
70～74歳 (n=169)	食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負担の低減 72 42.6%		子どもを中心とした貧困の解消 64 37.9%		脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止 56 33.1%		地産地消の推進による地元農業の推進と環境負担の低減 48 28.4%		全世代の健康寿命の延伸 38 22.5%	
75歳以上 (n=119)	食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負担の低減 56 47.1%		脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止 49 41.2%		子どもを中心とした貧困の解消 43 36.1%		全世代の健康寿命の延伸 42 35.3%		地産地消の推進による地元農業の推進と環境負担の低減 36 30.3%	

11 幸福度について

問 38 あなたは、「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、現在どの程度幸せだと思いますか。
 あてはまる数字（点数）を選んでください。 <○は1つ>

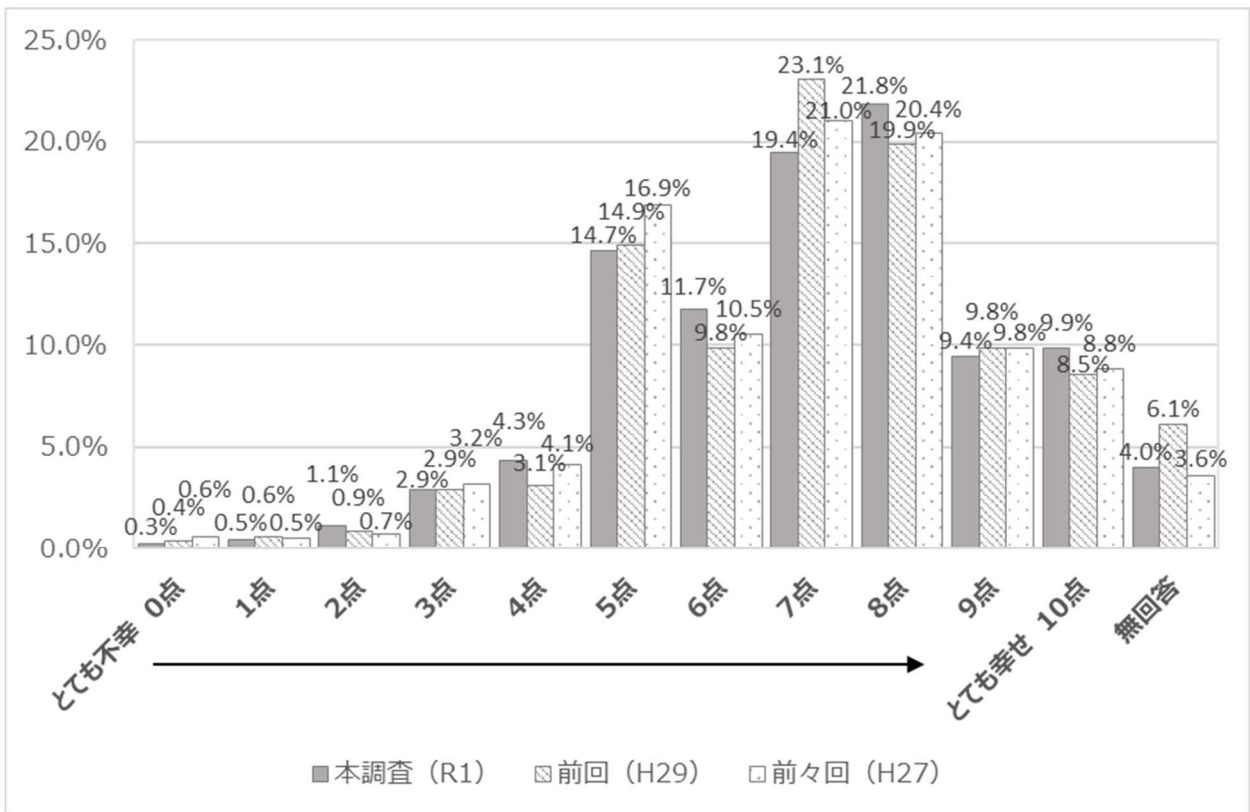
① 全体集計の結果

●現在の幸福度は、全体の平均点は「6.94点」

- ・幸福度については、「8点」が323人(21.8%)で最も多く、「7点」が288人(19.4%)、「5点」が217人(14.7%)、「6点」が174人(11.7%)で続いている。
- ・幸せ（「10点」「9点」「8点」「7点」「6点」の合計）が72.2%となっている。
- ・全体の平均点は、6.94点となっている。

選択肢		幸福度											無回答	全体
		0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点		
本調査(R1)	回答数(人)	4	7	17	43	64	217	174	288	323	139	146	59	1481
	構成比	0.3%	0.5%	1.1%	2.9%	4.3%	14.7%	11.7%	19.4%	21.8%	9.4%	9.9%	4.0%	100.0%
前回(H29)	構成比	0.4%	0.6%	0.9%	2.9%	3.1%	14.9%	9.8%	23.1%	19.9%	9.8%	8.5%	6.1%	100.0%
前々回(H27)	構成比	0.6%	0.5%	0.7%	3.2%	4.1%	16.9%	10.5%	21.0%	20.4%	9.8%	8.8%	3.6%	100.0%

<過年度調査との比較>



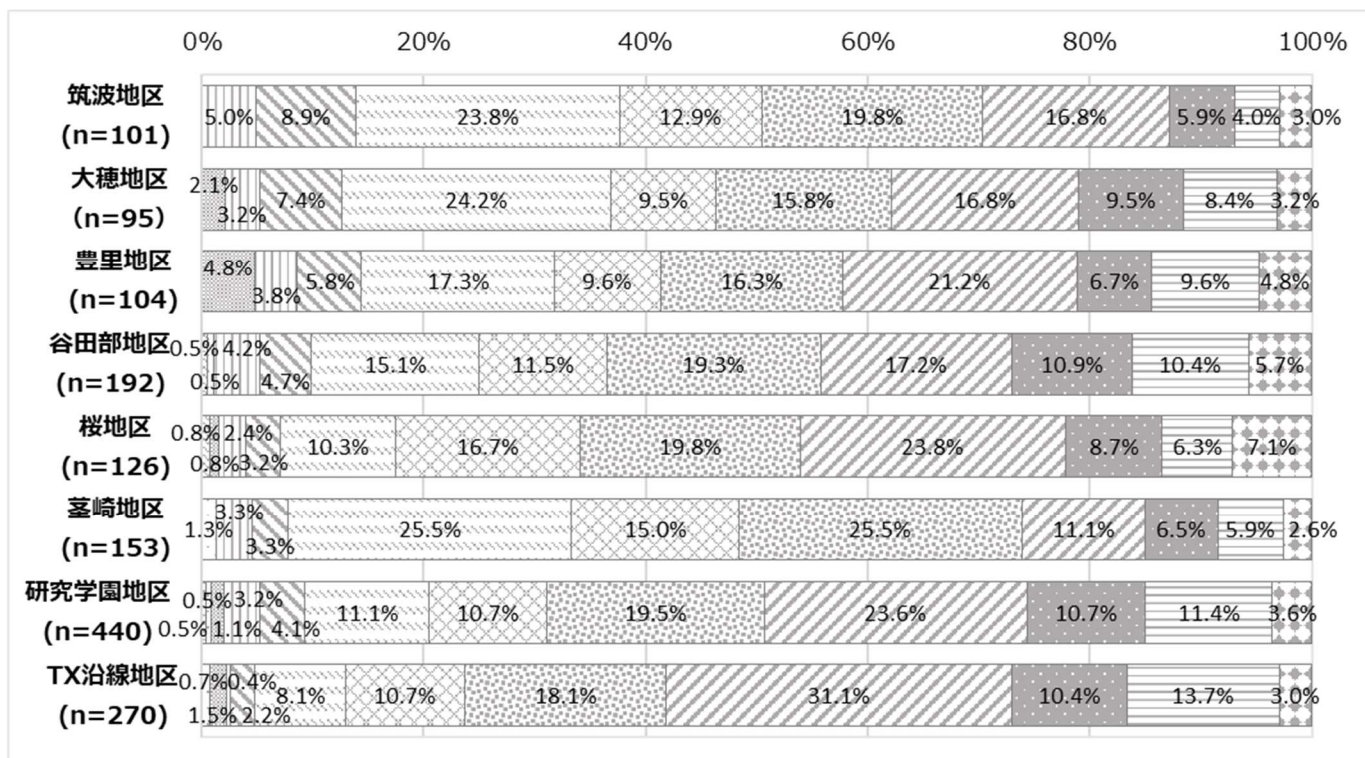
11 幸福度について

問38 あなたは、「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、現在どの程度幸せだと思いますか。
 あてはまる数字（点数）を選んでください。 <○は1つ>

② クロス集計

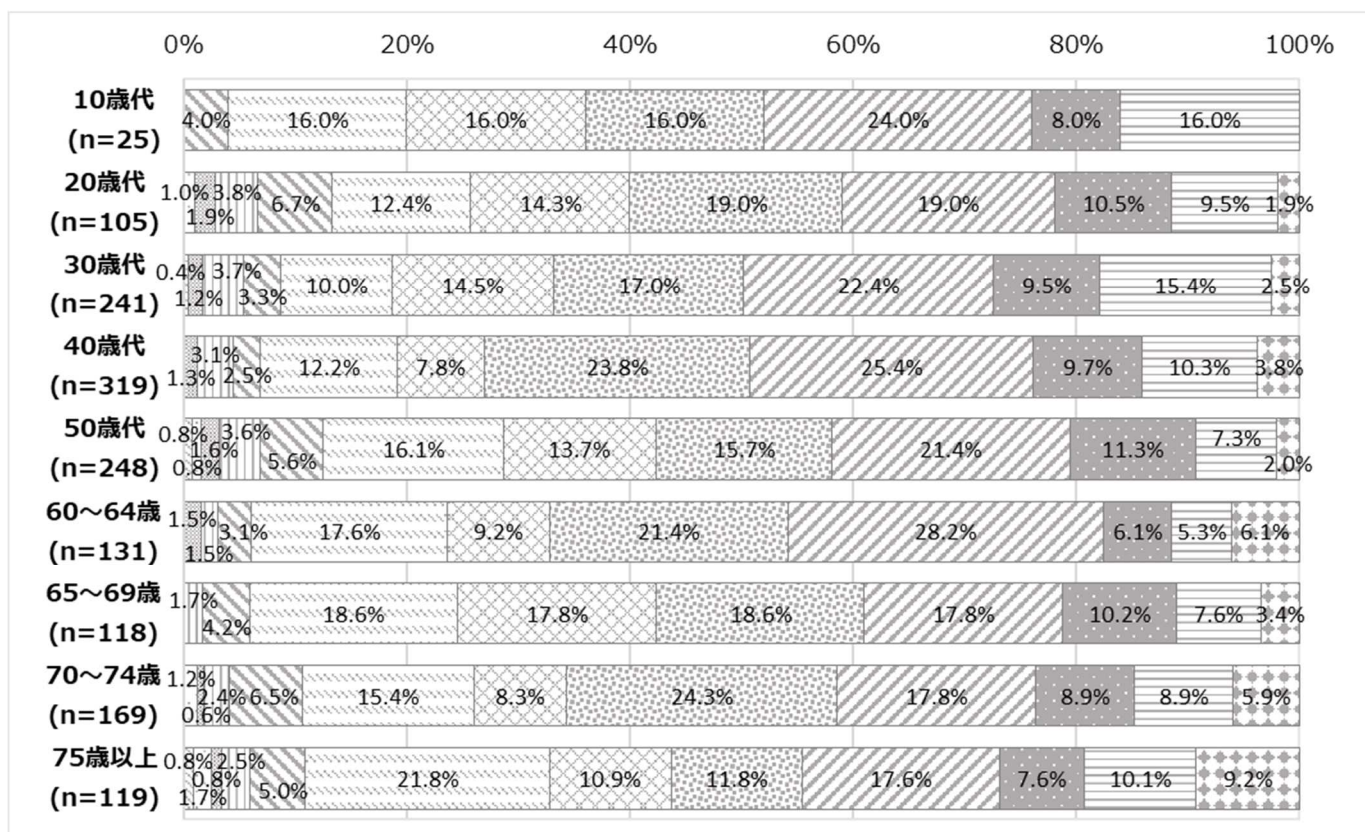
【地区別】

- ・全ての地区で6点以上の割合が60%を超えている。
- ・桜地区、TX沿線地区では6点以上の割合が他の地区に比べて多く、80%を超えている。



【年齢別】

- ・全ての年齢で6点以上の割合が65%を超えている。
- ・10歳代、30歳代では10点の割合が他の年齢に比べて多く、15%を超えている。

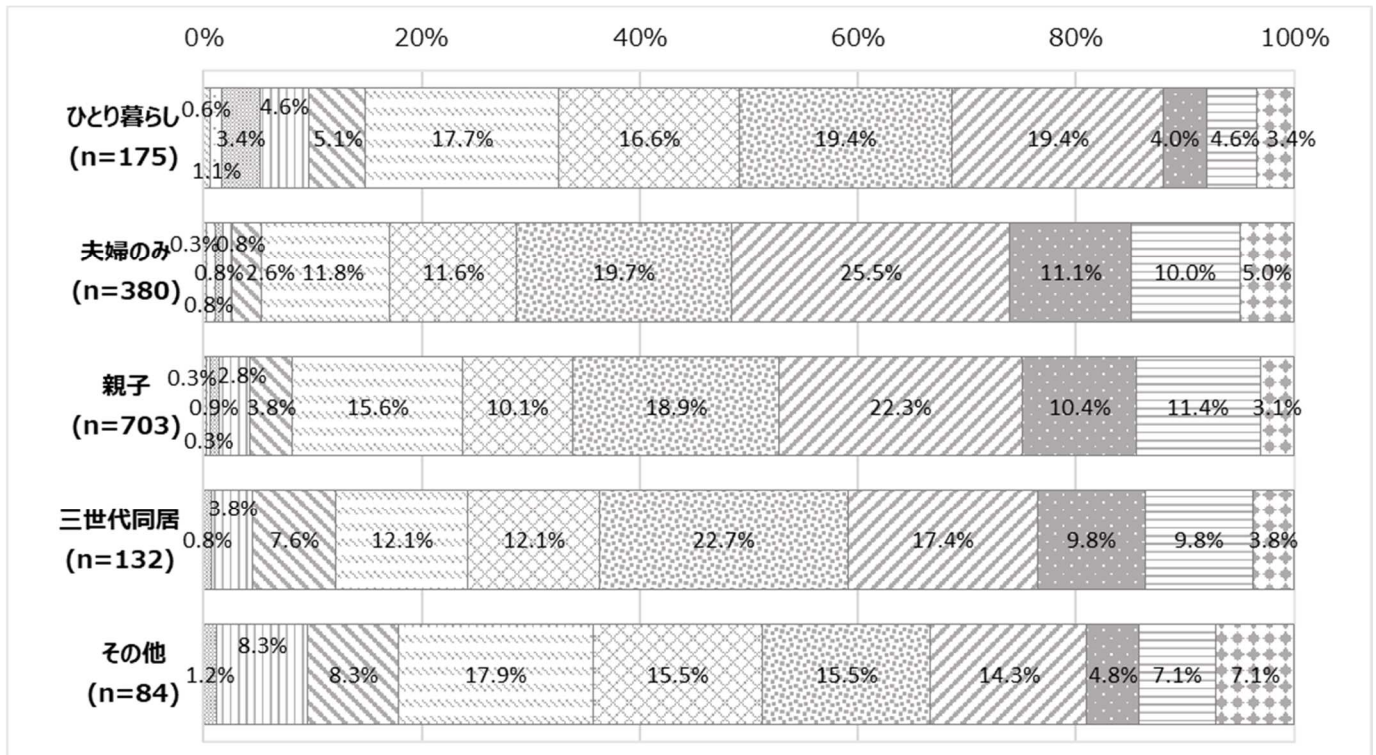


0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点 無回答



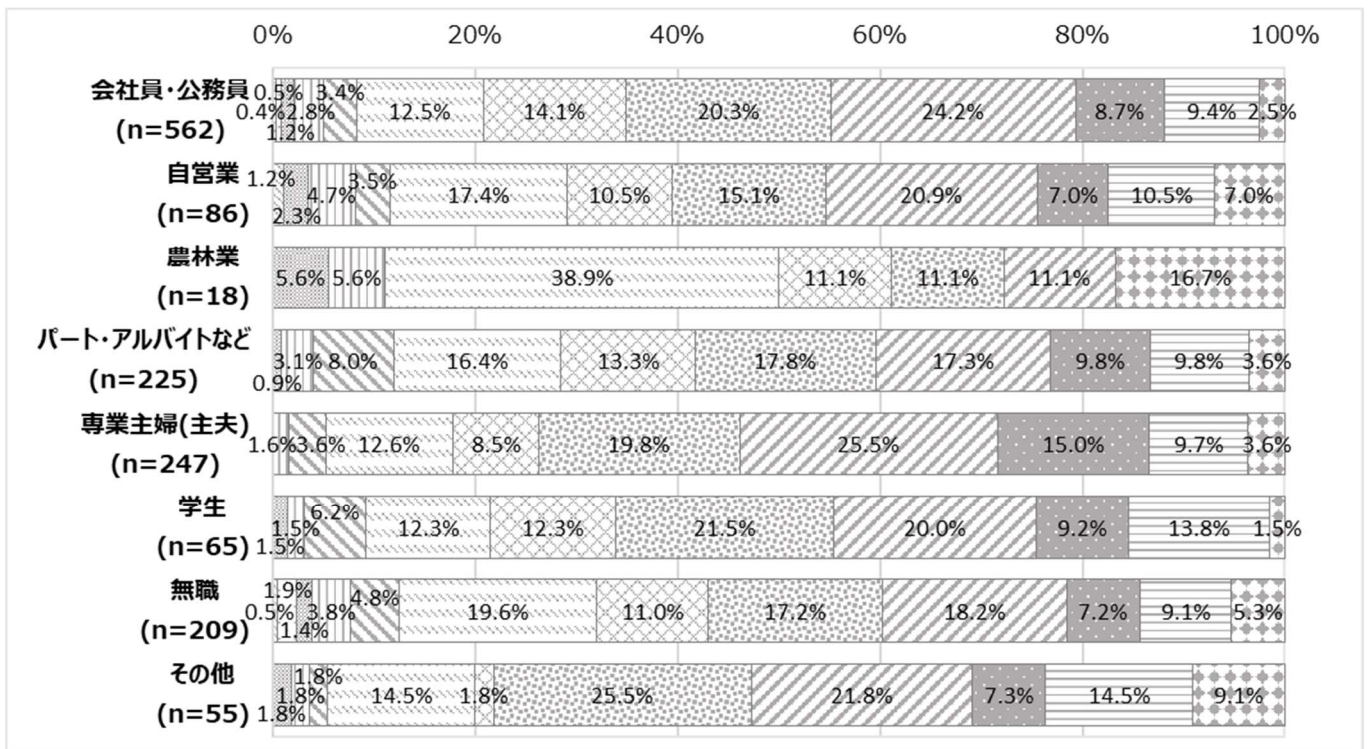
【世帯構成別】

- ・夫婦のみ、親子、三世帯同居では6点以上の割合が75%を超えている。
- ・夫婦のみ、親子では10点の割合が他の世帯構成に比べて多く、10%を超えている。



【職業別】

- ・農林業、無職以外の全ての職業で6点以上の割合が70%を超えている。
- ・自営業、学生、その他では10点の割合が他の世帯構成と比べ多く、10%を超えている



問 39 あなたが、自分の幸福感を判断する際に特に重視することは何ですか。
当てはまる番号を、右の回答欄に3つまで記入して下さい。

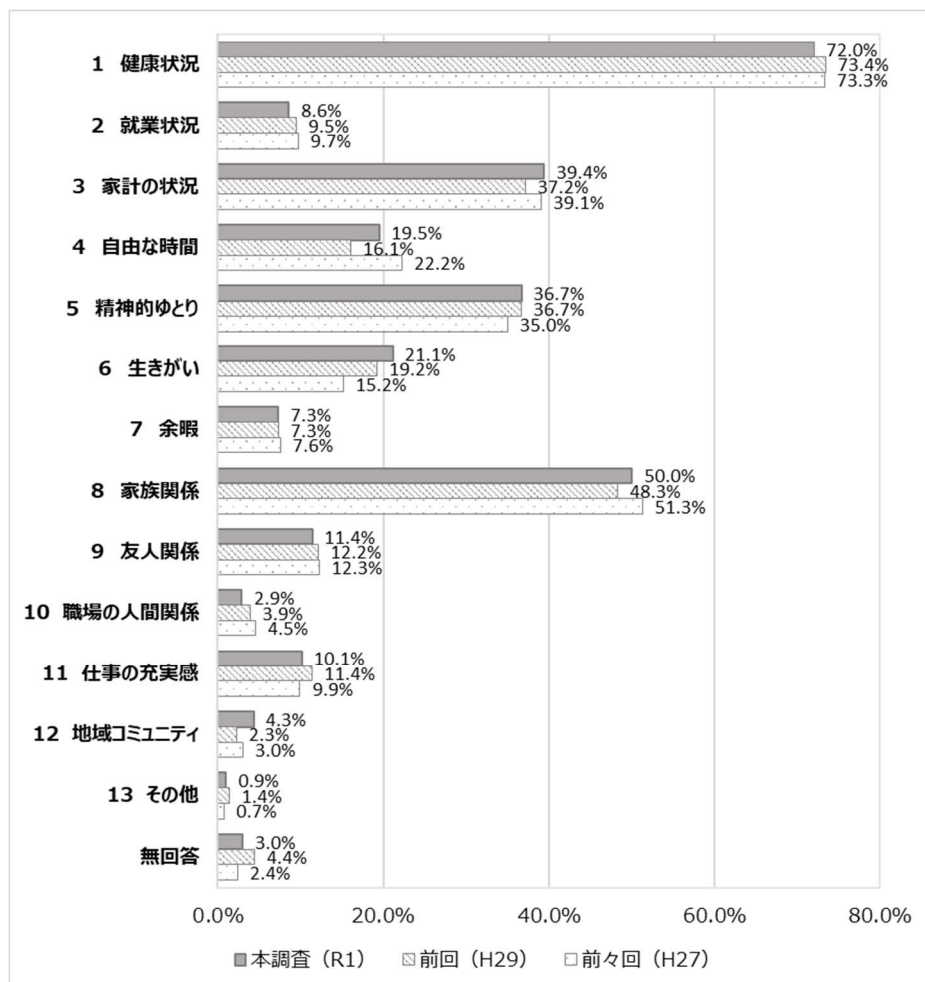
① 全体集計の結果

●幸福度を判断する際に特に重視することは、「健康状況」が7割超え

・幸福度を判断する際に特に重視することについては、「健康状況」が1,066人(72.0%)で最も多く、「家族関係」が741人(50.0%)、「家計の状況」が584人(39.4%)、「精神的ゆとり」が543人(36.7%)で続いている。

選択肢	本調査(R1)		前回(H29)	前々回(H27)
	回答数(人)	構成比	構成比	構成比
1 健康状況	1066	72.0%	73.4%	73.3%
2 就業状況	127	8.6%	9.5%	9.7%
3 家計の状況	584	39.4%	37.2%	39.1%
4 自由な時間	289	19.5%	16.1%	22.2%
5 精神的ゆとり	543	36.7%	36.7%	35.0%
6 生きがい	313	21.1%	19.2%	15.2%
7 余暇	108	7.3%	7.3%	7.6%
8 家族関係	741	50.0%	48.3%	51.3%
9 友人関係	169	11.4%	12.2%	12.3%
10 職場の人間関係	43	2.9%	3.9%	4.5%
11 仕事の充実感	150	10.1%	11.4%	9.9%
12 地域コミュニティ	64	4.3%	2.3%	3.0%
13 その他	14	0.9%	1.4%	0.7%
無回答	44	3.0%	4.4%	2.4%
全体(有効回答数)	1481			

<過年度調査との比較(項目順)>



問 39 あなたが、自分の幸福感を判断する際に特に重視することは何ですか。
当てはまる番号を、右の回答欄に3つまで記入して下さい。

② クロス集計

【地区別】

- 全ての地区で「健康状況」が最も多く、「家計の状況」「家族関係」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
筑波地区 (n=101)	健康状況		精神的ゆとり		家計の状況／家族関係				自由な時間／生きがい	
	77	76.2%	41	40.6%	39		38.6%		19	18.8%
大穂地区 (n=95)	健康状況		家計の状況		家族関係		精神的ゆとり		自由な時間	
	72	75.8%	42	44.2%	41	43.2%	38	40.0%	18	18.9%
豊里地区 (n=104)	健康状況		家計の状況		家族関係		精神的ゆとり		生きがい	
	80	76.9%	40	38.5%	39	37.5%	29	27.9%	27	26.0%
谷田部地区 (n=192)	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		生きがい	
	143	74.5%	93	48.4%	76	39.6%	67	34.9%	48	25.0%
桜地区 (n=126)	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		自由な時間	
	88	69.8%	64	50.8%	49	38.9%	46	36.5%	24	19.0%
荃崎地区 (n=153)	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		自由な時間	
	111	72.5%	77	50.3%	65	42.5%	49	32.0%	38	24.8%
研究学園地区 (n=440)	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		自由な時間	
	315	71.6%	217	49.3%	173	39.3%	154	35.0%	104	23.6%
TX沿線地区 (n=270)	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		自由な時間	
	180	66.7%	171	63.3%	119	44.1%	100	37.0%	45	16.7%

【年齢別】

- 全ての年齢で「健康状況」が上位に入っている。
- 20歳代を除く全ての年齢で「家族関係」が上位に入っている。
- 20歳代では「精神的ゆとり」が最も多くなっている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
10歳代 (n=25)	健康状況		友人関係		自由な時間／家族関係				精神的ゆとり	
	13	52.0%	12	48.0%	10		40.0%		8	32.0%
20歳代 (n=105)	精神的ゆとり		健康状況		自由な時間		家計の状況／友人関係			
	50	47.6%	44	41.9%	38	36.2%	32		30.5%	
30歳代 (n=241)	家族関係		健康状況		精神的ゆとり		家計の状況		自由な時間／生きがい	
	152	63.1%	145	60.2%	96	39.8%	90	37.3%	54	22.4%
40歳代 (n=319)	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		生きがい	
	213	66.8%	176	55.2%	140	43.9%	120	37.6%	56	17.6%
50歳代 (n=248)	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		生きがい	
	193	77.8%	134	54.0%	103	41.5%	97	39.1%	45	18.1%
60～64歳 (n=131)	健康状況		家族関係		精神的ゆとり		家計の状況		生きがい	
	110	84.0%	59	45.0%	52	39.7%	51	38.9%	33	25.2%
65～69歳 (n=118)	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		自由な時間／生きがい	
	106	89.8%	52	44.1%	44	37.3%	39	33.1%	25	21.2%
70～74歳 (n=169)	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		生きがい	
	142	84.0%	75	44.4%	69	40.8%	52	30.8%	44	26.0%
75歳以上 (n=119)	健康状況		家族関係		家計の状況		生きがい		精神的ゆとり	
	95	79.8%	50	42.0%	45	37.8%	32	26.9%	29	24.4%

11 幸福度について

【世帯構成別】

- ・全ての世帯構成で「健康状況」が最も多くなっている。
- ・夫婦のみ、親子、三世代同居、その他では「家族関係」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
ひとり暮らし (n=175)	健康状況		精神的ゆとり		家計の状況		自由な時間		生きがい	
	115	65.7%	69	39.4%	59	33.7%	47	26.9%	45	25.7%
夫婦のみ (n=380)	健康状況		家族関係		精神的ゆとり		家計の状況		生きがい	
	299	78.7%	209	55.0%	143	37.6%	134	35.3%	77	20.3%
親子 (n=703)	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		生きがい	
	503	71.6%	397	56.5%	301	42.8%	253	36.0%	140	19.9%
三世代同居 (n=132)	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		自由な時間	
	84	63.6%	60	45.5%	55	41.7%	47	35.6%	30	22.7%
その他 (n=84)	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		生きがい	
	59	70.2%	40	47.6%	31	36.9%	31	36.9%	22	26.2%

【職業別】

- ・全ての職業で「健康状況」が最も多くなっている。
- ・学生以外の全ての職業で「家族関係」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
会社員・公務員 (n=562)	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		自由な時間	
	375	66.7%	321	57.1%	209	37.2%	199	35.4%	109	19.4%
自営業 (n=86)	健康状況		家計の状況		家族関係		精神的ゆとり		生きがい	
	56	65.1%	37	43.0%	35	40.7%	24	27.9%	22	25.6%
農林業 (n=18)	健康状況		家族関係		生きがい		家計の状況		精神的ゆとり	
	13	72.2%	8	44.4%	6	33.3%	5		27.8%	
パート・アルバイトなど (n=225)	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		生きがい	
	167	74.2%	113	50.2%	101	44.9%	90	40.0%	45	20.0%
専業主婦(主夫) (n=247)	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		生きがい	
	204	82.6%	143	57.9%	109	44.1%	104	42.1%	58	23.5%
学生 (n=65)	健康状況		友人関係		精神的ゆとり		自由な時間		家計の状況	
	33	50.8%	30	46.2%	29	44.6%	25	38.5%	19	29.2%
無職 (n=209)	健康状況		家計の状況		家族関係		精神的ゆとり		生きがい	
	167	79.9%	87	41.6%	82	39.2%	75	35.9%	53	25.4%
その他 (n=55)	健康状況		家族関係		自由な時間		精神的ゆとり		生きがい	
	39	70.9%	20	36.4%	17	30.9%	16	29.1%	13	23.6%

問 40 あなたは、心配事や困っていることはありますか。

<○は当てはまるものすべて>

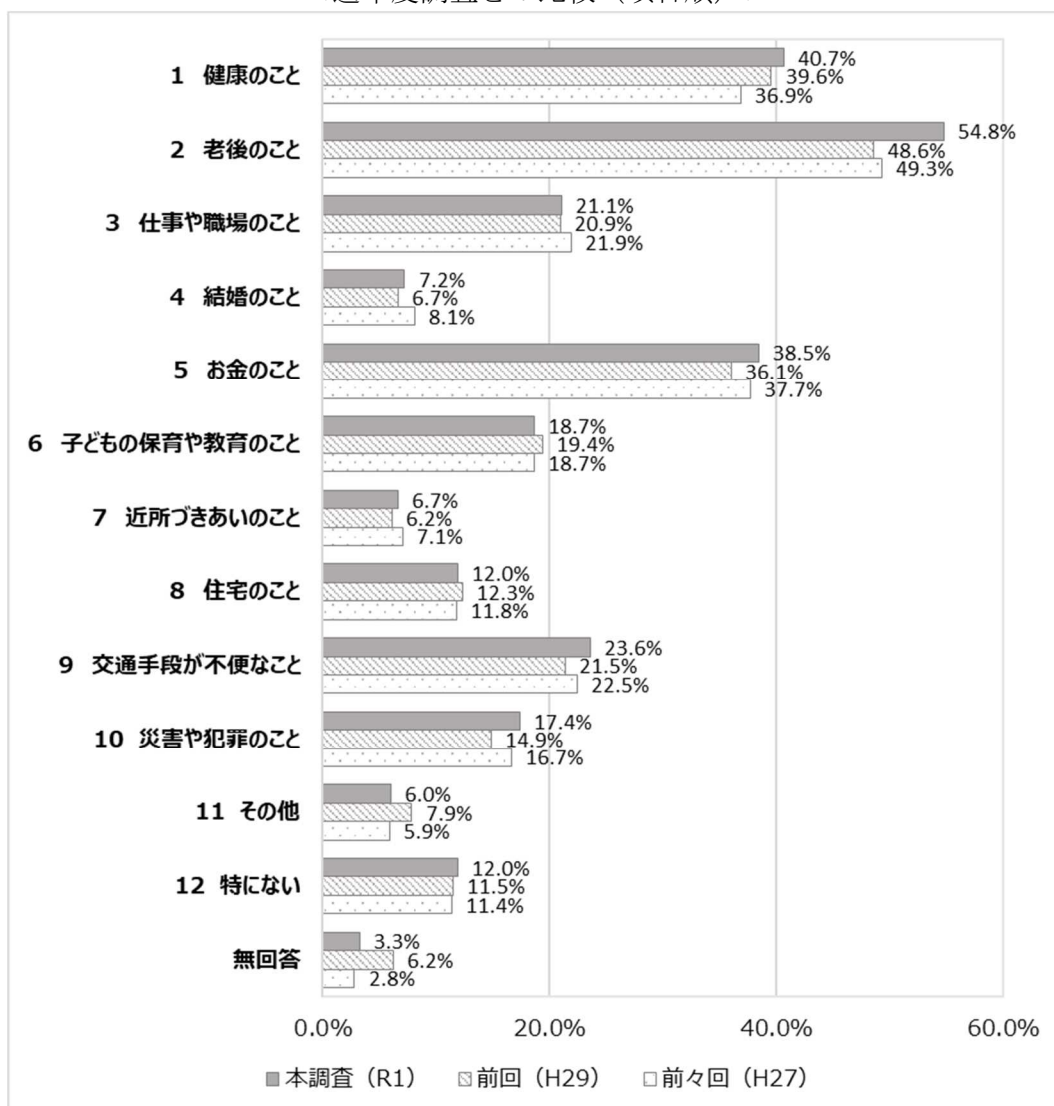
① 全体集計の結果

●心配事や困っていることは、「老後のこと」が5割半ば

・心配事や困っていることについては、「老後のこと」が811人(54.8%)で最も多く、「健康のこと」が603人(40.7%)、「お金のこと」が570人(38.5%)、「交通手段が不便なこと」が350人(23.6%)で続いている。

選択肢	本調査(R1)		前回(H29)	前々回(H27)
	回答数(人)	構成比	構成比	構成比
1 健康のこと	603	40.7%	39.6%	36.9%
2 老後のこと	811	54.8%	48.6%	49.3%
3 仕事や職場のこと	313	21.1%	20.9%	21.9%
4 結婚のこと	107	7.2%	6.7%	8.1%
5 お金のこと	570	38.5%	36.1%	37.7%
6 子どもの保育や教育のこと	277	18.7%	19.4%	18.7%
7 近所づきあいのこと	99	6.7%	6.2%	7.1%
8 住宅のこと	177	12.0%	12.3%	11.8%
9 交通手段が不便なこと	350	23.6%	21.5%	22.5%
10 災害や犯罪のこと	258	17.4%	14.9%	16.7%
11 その他	89	6.0%	7.9%	5.9%
12 特にない	177	12.0%	11.5%	11.4%
無回答	49	3.3%	6.2%	2.8%
全体(有効回答数)	1481			

<過年度調査との比較(項目順)>



11 幸福度について

問40 あなたは、心配事や困っていることはありますか。 <○は当てはまるものすべて>

② クロス集計

【地区別】

・全ての地区で「老後のこと」が最も多く、「健康のこと」「お金のこと」が上位に入っている。

回答順	1位	2位	3位	4位	5位
筑波地区 (n=101)	老後のこと	健康のこと	お金のこと	交通手段が不便なこと	災害や犯罪のこと
	65 64.4%	47 46.5%	36 35.6%	35 34.7%	21 20.8%
大穂地区 (n=95)	老後のこと	お金のこと	健康のこと	仕事や職場のこと	災害や犯罪のこと
	49 51.6%	46 48.4%	38 40.0%	32 33.7%	20 21.1%
豊里地区 (n=104)	老後のこと	健康のこと	お金のこと	交通手段が不便なこと	仕事や職場のこと
	63 60.6%	45 43.3%	35 33.7%	29 27.9%	20 19.2%
谷田部地区 (n=192)	老後のこと	健康のこと	お金のこと	交通手段が不便なこと	災害や犯罪のこと
	114 59.4%	84 43.8%	75 39.1%	53 27.6%	32 16.7%
桜地区 (n=126)	老後のこと	お金のこと	健康のこと	交通手段が不便なこと	災害や犯罪のこと
	62 49.2%	50 39.7%	44 34.9%	27 21.4%	24 19.0%
荻崎地区 (n=153)	老後のこと	健康のこと	お金のこと	交通手段が不便なこと	住宅のこと/災害や犯罪のこと
	94 61.4%	73 47.7%	65 42.5%	56 36.6%	24 15.7%
研究学園地区 (n=440)	老後のこと	お金のこと	健康のこと	仕事や職場のこと	子どもの保育や教育のこと
	215 48.9%	163 37.0%	160 36.4%	105 23.9%	89 20.2%
TX沿線地区 (n=270)	老後のこと	健康のこと	お金のこと	子どもの保育や教育のこと	仕事や職場のこと
	149 55.2%	112 41.5%	100 37.0%	91 33.7%	70 25.9%

【年齢別】

- ・10歳代から30歳代では「お金のこと」、40歳代から74歳代では「老後のこと」、75歳以上では「健康のこと」が最も多くなっている。
- ・10歳代、70歳代以上では「交通手段が不便なこと」、20歳代では「仕事や職場のこと」、30歳代では「子どもの保育や教育のこと」が上位に入っている。

回答順	1位	2位	3位	4位	5位
10歳代 (n=25)	お金のこと	交通手段が不便なこと	老後のこと/災害や犯罪のこと		結婚のこと
	10 40.0%	8 32.0%	6 24.0%		5 20.0%
20歳代 (n=105)	お金のこと	仕事や職場のこと	結婚のこと	老後のこと	健康のこと
	60 57.1%	52 49.5%	32 30.5%	30 28.6%	26 24.8%
30歳代 (n=241)	お金のこと	老後のこと/子どもの保育や教育のこと		仕事や職場のこと	健康のこと
	117 48.5%	106 44.0%		80 33.2%	74 30.7%
40歳代 (n=319)	老後のこと	お金のこと	健康のこと	子どもの保育や教育のこと	仕事や職場のこと
	173 54.2%	127 39.8%	118 37.0%	111 34.8%	90 28.2%
50歳代 (n=248)	老後のこと	健康のこと	お金のこと	仕事や職場のこと	交通手段が不便なこと
	175 70.6%	103 41.5%	99 39.9%	63 25.4%	57 23.0%
60～64歳 (n=131)	老後のこと	健康のこと	お金のこと	交通手段が不便なこと	特にない
	84 64.1%	64 48.9%	42 32.1%	33 25.2%	21 16.0%
65～69歳 (n=118)	老後のこと	健康のこと	お金のこと	交通手段が不便なこと	特にない
	76 64.4%	58 49.2%	31 26.3%	27 22.9%	22 18.6%
70～74歳 (n=169)	老後のこと	健康のこと	交通手段が不便なこと	お金のこと	特にない
	92 54.4%	80 47.3%	58 34.3%	48 28.4%	25 14.8%
75歳以上 (n=119)	健康のこと	老後のこと	交通手段が不便なこと	お金のこと	災害や犯罪のこと
	73 61.3%	66 55.5%	43 36.1%	33 27.7%	29 24.4%

【世帯構成別】

- ・全ての世帯構成で「老後のこと」が最も多く、「健康のこと」「お金のこと」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
ひとり暮らし (n=175)	老後のこと／お金のこと				健康のこと		仕事や職場のこと		結婚のこと	
	86	49.1%	78	44.6%	43	24.6%	38	21.7%		
夫婦のみ (n=380)	老後のこと		健康のこと		交通手段が不便なこと		お金のこと		災害や犯罪のこと	
	223	58.7%	164	43.2%	117	30.8%	105	27.6%	71	18.7%
親子 (n=703)	老後のこと		お金のこと		健康のこと		子どもの保育や教育のこと		仕事や職場のこと	
	369	52.5%	285	40.5%	268	38.1%	219	31.2%	166	23.6%
三世帯同居 (n=132)	老後のこと		お金のこと		健康のこと		交通手段が不便なこと		仕事や職場のこと	
	76	57.6%	53	40.2%	49	37.1%	35	26.5%	27	20.5%
その他 (n=84)	老後のこと		健康のこと		お金のこと		交通手段が不便なこと		仕事や職場のこと	
	53	63.1%	40	47.6%	37	44.0%	17	20.2%	16	19.0%

【住まい別】

- ・全ての住まいで「老後のこと」「健康のこと」「お金のこと」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
一戸建(持ち家) (n=996)	老後のこと		健康のこと		お金のこと		交通手段が不便なこと		災害や犯罪のこと	
	575	57.7%	421	42.3%	367	36.8%	265	26.6%	191	19.2%
一戸建(借家) (n=40)	老後のこと		お金のこと		健康のこと		住宅のこと		仕事や職場のこと ／交通手段が不便なこと	
	24	60.0%	21	52.5%	18	45.0%	13	32.5%	11	27.5%
集合住宅(分譲) (n=133)	老後のこと		健康のこと		お金のこと		仕事や職場のこと／子どもの保育や教育のこと			
	73	54.9%	49	36.8%	39	29.3%	26	19.5%		
集合住宅(賃貸) (n=244)	お金のこと		老後のこと		健康のこと		仕事や職場のこと		子どもの保育や教育のこと	
	115	47.1%	111	45.5%	88	36.1%	75	30.7%	66	27.0%
公営住宅(公社・ 県営・市営) (n=18)	お金のこと		健康のこと／老後のこと／仕事や職場のこと				交通手段が不便なこと			
	10	55.6%	8	44.4%	4	22.2%				
社宅・官舎 (n=25)	老後のこと		お金のこと		健康のこと／住宅のこと／災害や犯罪のこと					
	10	40.0%	9	36.0%	7	28.0%				
その他 (n=16)	健康のこと		老後のこと		お金のこと		交通手段が不便なこと		特にない	
	8	50.0%	7	43.8%	6	37.5%	4	25.0%	3	18.8%

12 自由意見

12 自由意見

(1) 記入者数と意見数

自由意見として、全回答者 1,481 人のうち、474 人 (32.8%) から 733 件の意見があった。

※1人で複数の意見を記入している場合は、内容ごとに分けて集計した。

(2) つくば市未来構想に基づく意見の集計

「つくば市未来構想」の4つのまちづくりの理念ごとに集計し、いずれにも入らないものは「⑤その他」として集計している。複数人からあった意見を「主な意見」として記載した。

理念ごとに見ると、「快適で安全・安心を実感できるまち」に関する意見が最も多く、次いで「人を育み、みんなであうまち」に関する意見が多くなっている。

項目ごとに見ると、「快適で安全・安心を実感できるまち」の「公共交通」に関する意見が最も多く、次いで「つくばの資源をいかし、世界へ貢献するまち」の「行政運営」に関する意見が多くなっている。

①人を育み、みんなであうまち

※ () は意見数

項目		主な意見(要約)
高齢者福祉(23)	高齢者の生活環境支援(18)	・高齢者が車がなくても安心して暮らせるように、公共交通機関を整備して欲しい。 ・老後の生活が心配である。 ・年々、年金受給額が少なくなっている。 など
	介護(5)	・今後、まともに介護を受けられるか不安である。 など
子育て(29)		・保育園や児童館等の施設が少ない。 ・子育て支援が不足している。 ・子育てしやすい環境づくりをして欲しい。 など
医療・健康診断(13)		・産婦人科が少ない。 ・不妊治療の助成等の支援が欲しい。 など
障害・福祉(10)		・生活困窮者や障害者への支援を充実させて欲しい。 ・弱者が住みやすい街にして欲しい。 など
教育(46)	学校施設(24)	・公立高校を増やしてほしい。 ・学校設備を充実させて欲しい。 ・校舎が老朽化している。 ・学校整備に地域格差がある。 など
	教育環境(22)	・小中一貫教育のメリットが感じられない。 ・教育環境を充実させて欲しい。 ・不登校児童への支援や居場所作りを行って欲しい。 ・スクールバスの導入等、生徒の安全を第一に考えて欲しい。 など
スポーツ・レクリエーション・イベント(23)		・ジムやプール等のスポーツ施設を増やして欲しい。 ・レクリエーション施設が欲しい。 ・つくばアリーナを作って欲しい。 など
地域コミュニティ(24)		・図書館を充実させて欲しい。大きな図書館を新設して欲しい。 ・地域で交流の機会が少ない。 ・高齢者が多く、自治会の運営が大変である。 ・交流センターを新設して欲しい。 など
国際化の推進(7)		・外国人居住者が安心して暮らせる街になって欲しい。 ・外国語案内やインターナショナルスクール施設を設置する。 など

②快適で安全・安心を実感できるまち

項目		主な意見(要約)
防犯(39)	街路灯整備(22)	<ul style="list-style-type: none"> ・街灯がとても少ないため、安全のためにも街灯を設置して欲しい。 ・夜は暗くて怖い。 など
	防犯対策(17)	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家が多く、防犯面が不安である。 ・交番や監視カメラの設置、パトロール等の防犯対策を強化して欲しい。 ・不審者が多くて怖い。 など
防災対策(6)		<ul style="list-style-type: none"> ・防災無線を取り入れて欲しい。 など
都市計画(51)	景観(12)	<ul style="list-style-type: none"> ・次々に建物ができ、景観が変わってしまい寂しい。 ・田んぼや畑等を整地して、緑を美しく保って欲しい。 ・筑波山周辺では山肌が見えていて残念である。 など
	公園・緑地(5)	<ul style="list-style-type: none"> ・公園が少ないため、大きな自然公園を作って欲しい。 ・遊具やアスレチックを設置して欲しい。 など
	都市計画全般(34)	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが住みやすい街になって欲しい。 ・老後も住みやすい、高齢者に優しい街にして欲しい。 ・安心安全に暮らせるまちづくりを考えて欲しい。 など
上下水道(6)	上下水道整備(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・上下水道が整備されていない。 など
	上下水道料金(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・上下水道料金が低い。 など
道路整備・維持管理(49)	道路整備(20)	<ul style="list-style-type: none"> ・道路整備が不十分である。 ・歩道が確保されていない道や整備されていない道が多い。 など
	道路環境(29)	<ul style="list-style-type: none"> ・交通量が多く、道幅が狭いことで、道路が渋滞している。 ・街路樹や雑草等が運転の妨げになっていて、危ない。 ・信号のない横断歩道が多い。 など
公共交通(79)	バス・タクシー(35)	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの経路を拡充し、本数やバス停を増やして欲しい。 ・つくたくが満員時が多く、予約が大変である。 など
	つくばエクスプレス(16)	<ul style="list-style-type: none"> ・つくばエクスプレスの料金を安くして欲しい。 ・つくばエクスプレスを筑波山の方まで延長して欲しい。 など
	公共交通網(28)	<ul style="list-style-type: none"> ・車がないと生活が不便である。 ・公共交通を充実させて欲しい。 ・つくばエクスプレスと常磐線をつなげて欲しい。 など
自動車・自転車交通(26)	自動車交通(11)	<ul style="list-style-type: none"> ・スピードの出し過ぎ等、運転マナーが悪い。 ・駅周辺に駐車場が少ない。 など
	自転車交通(15)	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車専用道路の整備が不十分である。 ・自転車の運転マナーが悪い。 など
中心市街地活性化(58)		<ul style="list-style-type: none"> ・つくば駅周辺の開発に力を入れて欲しい。 ・中心部と周辺地域との開発の格差が大きい。 など
生活環境(36)		<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックごみの収集日を増やして欲しい。 ・雑草を定期的に除草して欲しい。 ・野焼による悪臭や暴走族の騒音等、対策をして欲しい。 など

12 自由意見

③環境にやさしく、次世代へつなぐまち

項目	主な意見(要約)
自然環境の保全(9)	<ul style="list-style-type: none"> ・緑が失われている。 ・自然環境の保全を最優先し、市民が自然と触れ合える場所にして欲しい。 など

④つくばの資源をいかし、世界へ貢献するまち

項目	主な意見(要約)	
商業振興(24)	<ul style="list-style-type: none"> ・つくば駅前にデパート等の商業施設や娯楽施設を誘致して欲しい。 ・買い物物が不便である。 など 	
農業振興(5)	<ul style="list-style-type: none"> ・「手ぶらで農業ができる施設」「先進的な農業行政」「地場レストラン」「ファーマーズマーケットの拡大」「道の駅」 など 	
科学技術振興(13)	<ul style="list-style-type: none"> ・科学の街をもっとアピールして欲しい。 ・科学技術素養の高い教育を取り入れ、子供たちが科学実験に親しめる街にして欲しい。 ・研究施設や科学技術を身近に感じられるようにして欲しい。 など 	
観光振興(11)	<ul style="list-style-type: none"> ・筑波山の観光PRが不足している。 ・観光地をもっとアピールし、観光名所が増えて欲しい。 など 	
雇用対策(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・「引きこもりの社会復帰の支援」「高齢者の雇用」「給料水準を上げてほしい」「就職率を高くしてほしい」 など 	
行政運営(59)	行政サービス(27)	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所の窓口やサービスセンターの職員の対応が悪い。 ・支援やサービス等に地域格差がある。 ・市役所の対応が遅い。 ・職員には市民のことを理解して仕事をして欲しい。 など
	行財政改革(32)	<ul style="list-style-type: none"> ・他の市町村と比べて税金が高く、何に使われているかも分からない。 ・市の長期的なビジョンが見えない。 ・市民が気軽に意見を提案できるシステムが欲しい。 など
情報発信(21)	<ul style="list-style-type: none"> ・市の取組が見えないため、市民が分かりやすいように情報発信して欲しい。 ・市の広報紙やホームページ等が見にくいいため、もっと充実させて欲しい。 ・市の魅力を発信してアピールして欲しい。 など 	

⑤その他

項目	主な意見(要約)
アンケート(45)	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの内容が難しかった。 ・質問に対して選びたい選択肢がなく、答えにくい質問があった。 ・質問数が多い。 ・アンケートの集計結果や、それがどのように反映されるのかを、市民に分かるように情報発信して欲しい。 など
つくば市について(17)	<ul style="list-style-type: none"> ・より良いつくば市になって欲しい。 など

Ⅲ 調査票

令和元年（2019年）度つくば市民意識調査

《アンケートご協力をお願い》

皆様には、つくば市政に対して、日頃から深いご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

つくば市では、市の現状やまちづくりの取組に対する満足度、市民の皆様が重要と感じている施策や課題、社会情勢・持続可能なまちづくりの観点から重点的な取組が必要な課題について、皆様のご意見をお伺いするために市民意識調査を実施いたします。


調査票は、住民基本台帳に記載された18歳以上の男女3,000人を無作為に選ばせていただき、郵送させていただきました。

お忙しいところお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、本調査にご協力いただけますようお願い申し上げます。

令和元年（2019年）8月

つくば市長 五十嵐立青

【ご回答に当たってのお願い】

- 1 調査の回答は、あて名のご本人が行ってください。（どなたかに代筆いただいても結構です。）それが無理な場合は、ご家族の方がお答えいただいても結構です。
 - 2 設問には、「1つ」または「複数」選んで当てはまる番号もしくは当てはまる欄に○印をつけるもの、また、当てはまる番号を「3つ」まで選んで記入するものがありますので、ご案内に従い回答してください。
 - 3 ご記入後は、同封の返信用封筒に入れて、9月6日（金）までに、切手を貼らずに郵便ポストに投かんしてください。
 - 4 ウェブ回答をご希望の方は、以下の専用ウェブサイトからID・パスワードをご入力の上ご回答いただけます。（詳細は別紙参照）
 <専用ウェブサイト URL> <https://r10.to/tca01>

 - 5 その他
 - ・お名前やご連絡先をご記入いただく必要はございません。
 - ※すべて統計的に処理いたしますので、個人が特定できないことはもとより、他の目的には利用いたしません。また、ウェブ回答のIDについては、調査票にランダムに付与しており、個人は特定できないようにしています。
 - ・調査結果は、広報つくば、市ホームページで公表いたします。
- 〈お問合せ先〉 つくば市政策イノベーション部 企画経営課
 TEL 029-883-1111（代表）内線 6281
 FAX 029-828-4708

※つくば市を8つのエリア（筑波地区、大穂地区、豊里地区、谷田部地区、桜地区、荃崎地区、研究学園地区、TX沿線地区）に分け、地区ごとに色分けした調査票を配布しています。

※返信用封筒の受取人あて先の下にある「バーコード」は、料金受取人払のため郵便局が使用するものです。個人を特定するためのものではありません。

ID : a12345

あなたご自身のことについて

お答えは、当てはまる番号に○印をつけてください。

- 1 あなたの性別を教えてください。いずれにも当てはまらないと考える場合は○印をつけなくても差し支えありません。 <○は1つ>

1 男性	2 女性
------	------

- 2 あなたの年齢を教えてください。 <○は1つ>

1 10歳代	4 40歳代	7 65～69歳
2 20歳代	5 50歳代	8 70～74歳
3 30歳代	6 60～64歳	9 75歳以上

- 3 あなたの世帯構成を教えてください。 <○は1つ>

1 ひとり暮らし	4 三世帯同居
2 夫婦のみ	5 その他
3 親子	

- 4 あなたの世帯（あなた自身も含めて）には、次に当てはまる方はいますか。 <○は当てはまるものすべて>

1 6歳未満の乳幼児	3 65～74歳の方
2 小中学生	4 75歳以上の方

- 5 あなたの職業（兼業の方は主たる職業）を教えてください。 <○は1つ>

1 会社員・公務員	5 専業主婦（主夫）
2 自営業	6 学生
3 農林業	7 無職
4 パート・アルバイトなど	8 その他（具体的に：_____）

- 6 あなたの現在のお住まいを教えてください。 <○は1つ>

1 一戸建（持ち家）	5 公営住宅（公社・県営・市営）
2 一戸建（借家）	6 社宅・官舎
3 集合住宅（分譲）	7 その他
4 集合住宅（賃貸）	

現在の住環境について

お答えは、当てはまる番号に○印をつけてください。

問1 あなたは、つくば市にお住まいになって何年ぐらいになりますか。
※合併前の旧市町村も含めてお答えください。

<○は1つ>

- 1 1年未満
- 2 1年以上5年未満
- 3 5年以上10年未満
- 4 10年以上20年未満
- 5 20年以上30年未満
- 6 30年以上

問2 あなたは、つくば市以外に住んでいたことがありますか。

<○は1つ>

- 1 ある
- 2 ない

問3 あなたは、これからもつくば市に住み続けたいと思いますか。

<○は1つ>

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1 住み続けたい | 3 どちらかといえば住み続けたくない |
| 2 どちらかといえば住み続けたい | 4 住み続けたくない |
| | 5 どちらともいえない |

問4 あなたは、つくば市の「住み心地」についてどう感じていますか。

<○は1つ>

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 住みやすい | 3 どちらかといえば住みにくい |
| 2 どちらかといえば住みやすい | 4 住みにくい |
| | 5 どちらともいえない |

▶【問4で「1 住みやすい」「2 どちらかといえば住みやすい」とお答えの方にお聞きします】

問5 住みやすいと感じる主な理由は何ですか。

<○は当てはまるものすべて>

- | |
|--------------------|
| 1 豊かな自然 |
| 2 日常生活が便利 |
| 3 通勤・通学先が近い |
| 4 交通の便が良い |
| 5 教育・文化環境が良い |
| 6 居住環境が良い |
| 7 充実した医療機関・福祉サービス |
| 8 充実した公共施設 |
| 9 暮らしていて安全 |
| 10 家族が近くにいる |
| 11 住み慣れている |
| 12 その他（具体的に：_____） |

▶【問4で「3 どちらかといえば住みにくい」「4 住みにくい」とお答えの方にお聞きします】

問6 住みにくいとを感じる主な理由は何ですか。

<○は当てはまるものすべて>

- | |
|--------------------|
| 1 自然が少ない |
| 2 日常生活が不便 |
| 3 通勤・通学先が遠い |
| 4 交通の便が悪い |
| 5 教育・文化環境が悪い |
| 6 居住環境が悪い |
| 7 医療機関・福祉サービスが不足 |
| 8 公共施設が不足 |
| 9 暮らしていて不安 |
| 10 家族が遠くにいる |
| 11 住み慣れていない |
| 12 その他（具体的に：_____） |

Ⅲ 調査票

問7 あなたは、つくば市の景観をどう思いますか。

<○は1つ>

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1 優れている | 3 どちらかといえば優れていない |
| 2 どちらかといえば優れている | 4 優れていない |
| | 5 わからない |

問8 つくば市の景観として、次の項目について、どう思いますか。

<1~5のいずれか1つに○>

項目	優れている	どちらかといえば優れている	どちらかといえば優れていない	優れていない	わからない
1 筑波山・宝篋山	1	2	3	4	5
2 牛久沼	1	2	3	4	5
3 田園風景	1	2	3	4	5
4 里山・平地林	1	2	3	4	5
5 研究学園都市の街並み	1	2	3	4	5
6 つくばエクスプレス駅周辺の街並み	1	2	3	4	5
7 農村集落の街並み	1	2	3	4	5
8 筑波山麓の街並み	1	2	3	4	5
9 西部・北部工業団地の街並み	1	2	3	4	5
10 ペDESTロリアンデッキ (歩行者・自転車専用道路)	1	2	3	4	5
11 公園	1	2	3	4	5
12 街路樹	1	2	3	4	5
13 電線・電柱が地中化されている風景	1	2	3	4	5
14 その他 (具体的：_____)	1	2	3	4	5

問9 あなたは、つくば市に愛着を持っていますか。

<○は1つ>

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 愛着がある | 3 どちらかといえば愛着がない |
| 2 どちらかといえば愛着がある | 4 愛着がない |
| | 5 どちらともいえない |

つくば市の現状やまちづくりへの取組について

お答えは、当てはまる番号に○印をつけてください。

問 10 あなたは、ふだんの生活の中で、次の 1)～42)の項目について、どの程度満足していますか。

<○は1つずつ>

項 目		満足度				
		満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	わからない
健康・福祉	1) 高齢者の福祉	1	2	3	4	5
	2) 子育て環境	1	2	3	4	5
	3) 障害者の福祉	1	2	3	4	5
	4) 生活困窮者の福祉	1	2	3	4	5
	5) 健康づくりの支援	1	2	3	4	5
	6) 病院・診療所などの医療機関	1	2	3	4	5
生活環境・防犯・防災	7) 生活環境（騒音・悪臭・ごみなど）対策	1	2	3	4	5
	8) 防犯対策	1	2	3	4	5
	9) 防災対策	1	2	3	4	5
	10) 交通安全環境（通学路の安全など）	1	2	3	4	5
	11) 住宅環境	1	2	3	4	5
教育・スポーツ・文化	12) 小中一貫教育の充実	1	2	3	4	5
	13) ICT教育や科学教育の充実	1	2	3	4	5
	14) 教育環境の整備 （施設の老朽化対策、設備の充実など）	1	2	3	4	5
	15) 児童生徒の支援体制整備	1	2	3	4	5
	16) スポーツ・レクリエーション	1	2	3	4	5
	17) 文化・芸術の振興	1	2	3	4	5
	18) 文化財の保護	1	2	3	4	5
	19) 男女共同参画	1	2	3	4	5
	20) 国際化の推進	1	2	3	4	5
	21) 生涯学習の推進	1	2	3	4	5
	22) 地域交流センター、図書館等の文化施設の充実	1	2	3	4	5

満足度		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	わからない
まちづくり	23) つくば駅周辺のにぎわい	1	2	3	4	5
	24) 低炭素社会の推進 (温室効果ガスの大幅削減など)	1	2	3	4	5
	25) 環境意識の啓発	1	2	3	4	5
	26) 自然環境や資源の保全・活用	1	2	3	4	5
	27) 公園・広場・遊び場の数	1	2	3	4	5
	28) 公共交通	1	2	3	4	5
	29) 道路整備	1	2	3	4	5
	30) 上水道整備	1	2	3	4	5
	31) 下水道整備	1	2	3	4	5
産業・観光	32) 農業の振興	1	2	3	4	5
	33) 商工業の振興	1	2	3	4	5
	34) 観光の振興	1	2	3	4	5
	35) 筑波山地域ジオパークの取組	1	2	3	4	5
地域・行政	36) 広報紙による情報発信	1	2	3	4	5
	37) ホームページ・SNS 等による情報発信	1	2	3	4	5
	38) 行政改革	1	2	3	4	5
	39) 区会・ボランティアなどの地域活動	1	2	3	4	5
	40) 科学技術の振興 (研究開発の支援、成果の普及など)	1	2	3	4	5
	41) ロボットの街つくばの取組 (ロボットを活用したまちづくりや、 生活支援ロボットの実用化の促進など)	1	2	3	4	5
	42) 情報通信技術(ICT)を活用した行政サービス (電子申請・届出サービスなど)	1	2	3	4	5

▶【問 10 で「3 どちらかといえば不満」または「4 不満」とお答えの方にお聞きします】

問 11 特に不満と感じる項目番号 1)～42)と、その理由を教えてください。

<3つまで>

	項目番号	理由
1		
2		
3		

Ⅲ 調査票

問 12 あなたは、つくば市は自分らしく、自分のやりたいことができるまちであると思いますか。

<○は1つ>

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 そう思う | 3 どちらかといえばそう思わない |
| 2 どちらかと言えばそう思う | 4 そう思わない |
| | 5 わからない |

問 13 あなたが、市外の友人に紹介したい（自慢したい）と思うつくば市の魅力は何ですか。

<1～5のいずれか1つに○>

項目	自慢である 紹介したい、 紹介したい	どちらかといえ ば、紹介したい	あまり紹介した いとは思わない	紹介したいと 思わない	知らない
1 自然（筑波山、宝篋山、牛久沼など）	1	2	3	4	5
2 科学（研究学園都市、研究機関の見学施設など）	1	2	3	4	5
3 自然体験施設 （豊里ゆかりの森、筑波ふれあいの里、こもれび六斗の森、 フォレストアドベンチャー・つくばなど）	1	2	3	4	5
4 筑波山地域ジオパーク	1	2	3	4	5
5 史跡（平沢官衙遺跡、小田城跡など）	1	2	3	4	5
6 学校教育（小中一貫校、ICT教育など）	1	2	3	4	5
7 子育て環境	1	2	3	4	5
8 公園	1	2	3	4	5
9 農産物	1	2	3	4	5
10 特産品（北条米、ブルーベリー、福来みかんなど）	1	2	3	4	5
11 物産品 （つくば産品を使った菓子や酒などの加工食品）	1	2	3	4	5
12 まつり（まつりつくば、筑波山梅まつり、 つくばフェスティバルなど）	1	2	3	4	5
13 自転車の街（つくば霞ヶ浦りんりんロードなど）	1	2	3	4	5
14 ロボットの街	1	2	3	4	5
15 つくばエクスプレス	1	2	3	4	5
16 その他 （具体的に：_____）					

問14 あなたは、つくば市には、市政に市民が参加できる環境が整っていると思いますか。

<〇は1つ>

- | | |
|----------------|-------------|
| 1 そう思う | 3 あまりそう思わない |
| 2 どちらかと言えばそう思う | 4 そう思わない |
| | 5 わからない |

問15 あなたは市政に対する自分の意見等を、以下の方法で市に伝えたことがありますか。

<〇は当てはまるものすべて>

- 1 「市長へのたより」等の手紙
- 2 「市長へのメール」等の電子メール
- 3 要望書や意見書等
- 4 電話
- 5 窓口での会話・筆談等
- 6 市が実施したアンケートの回答
- 7 「タウンミーティング」や「意見交換会」、「ワークショップ」等市が主催する会合での発言
- 8 PTAを経由した意見表明
- 9 区会・自治会を経由した意見表明
- 10 市が開催する委員会・審議会などでの市民委員としての発言
- 11 パブリックコメント
- 12 その他（具体的に：_____）
- 13 市に伝えたい意見がない

問16 あなたは、つくば市の市政には、市民の声が活かされていると思いますか。

<〇は1つ>

- | | |
|----------------|-------------|
| 1 そう思う | 3 あまりそう思わない |
| 2 どちらかと言えばそう思う | 4 そう思わない |
| | 5 わからない |

少子高齢化への取組について

お答えは、当てはまる番号または当てはまる欄に○印をつけてください。

問 17 あなたは、つくば市には安心して子どもを産み育てられる環境が整っていると思いますか。

<○は1つ>

- | | | | |
|---|--------------|---|----------------|
| 1 | そう思う | 3 | どちらかといえばそう思わない |
| 2 | どちらかといえばそう思う | 4 | そう思わない |
| | | 5 | わからない |

問 18 安心して子どもを産み育てられる環境として、つくば市で充実していると思うものと不足していると思うものは何ですか。

<○は当てはまる欄すべて>

項目		充実している	不足している	わからない
1)	子育て世帯への経済的支援（予防接種への支援、医療福祉費支給制度等）			
2)	保育施設			
3)	一時預かり・夜間・休日・病児の保育			
4)	子育て支援施設			
5)	放課後児童クラブ			
6)	産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談#8000			
7)	子育てに関する相談体制（保健師訪問、メール案内、チャットボット等）			
8)	地域で子育てを支える仕組み			
9) その他	充実	（具体的に： _____）		
	不足	（具体的に： _____）		

問 19 あなたは、つくば市には高齢者が安心して住み続けられる環境が整っていると思いますか。

<〇は1つ>

1	そう思う	3	どちらかといえばそう思わない
2	どちらかといえばそう思う	4	そう思わない
		5	わからない

問 20 高齢者が安心して住み続けられる環境として、つくば市で充実していると思うものと不足していると思うものは何ですか。

<〇は当てはまる欄すべて>

項目		充実している	不足している	わからない
1)	健康づくりや介護予防事業			
2)	高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）			
3)	日常生活支援（移動・送迎、買い物等）			
4)	地域で高齢者を支える仕組み（シルバークラブや民生委員等）			
5)	利用できる介護保険サービス			
6)	在宅で介護する家族への支援			
7)	クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業 #7119			
8)	緊急時や災害時の対策（認知症見守り訓練等を通じた見守り支援等）			
9)	情報提供（チャットボットによるよくある質問への回答等）			
10) その他	充実	（具体的に： _____）		
	不足	（具体的に： _____）		

あなたの普段の生活について

お答えは、当てはまる番号に○印をつけてください。

問 21 あなたが、防災対策として実践しているものはありますか。

<○は当てはまるものすべて>

- 1 防災用品や食料・水の備蓄
- 2 タンスやテレビ、電子レンジの転倒（落下）防止措置
- 3 住まいの耐震（免震）構造
- 4 その他（具体的に： _____)
- 5 何もしていない

問 22 あなたは、地域の住民が協力して行う防犯活動（防犯ボランティアなど）に参加していますか。

<○は1つ>

- 1 いつも参加
- 2 ときどき参加
- 3 参加していない

⋮
▶【問 22 で「3 参加していない」とお答えの方にお聞きします】

問 23 防犯活動に参加しない理由は何ですか。

<○は1つ>

- 1 時間がない
- 2 活動がわずらわしい
- 3 人間関係がわずらわしい
- 4 組織がない
- 5 組織があるかわからない
- 6 必要だと思わない
- 7 わからない
- 8 その他（具体的に： _____)

問 24 あなたの普段の生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活（地域活動・学習・趣味・付き合い等）」の優先度について教えてください。

<○は1つ>

- 1 「仕事」を優先している。
- 2 「家庭生活」を優先している。
- 3 「地域・個人の生活」を優先している。
- 4 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している。
- 5 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している。
- 6 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している。
- 7 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」のすべてを優先している。
- 8 わからない

問 25 あなたは、この一年間に運動やスポーツをどのくらいしましたか。なお、運動やスポーツには、散歩や軽い体操なども含みます。

<○は1つ>

- 1 週に3日以上
- 2 週に1～2日
- 3 月に1～3日
- 4 3か月に1～2日
- 5 年に1～3日
- 6 しなかった

交通環境について

お答えは、当てはまる番号に○印をつけてください。

問 26 あなたが、日常利用する交通手段は何ですか。

<○は当てはまるものすべて>

- | | |
|--------|-------------------|
| 1 鉄道 | 6 自家用車 |
| 2 路線バス | 7 オートバイ |
| 3 つくバス | 8 自転車 |
| 4 つくタク | 9 その他（具体的に：_____） |
| 5 タクシー | |

問 27 あなたは、現在のつくば市において、歩行者と自転車と自動車と共に安全で快適に通行できていると思いますか。

<○は1つ>

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1 できている | 3 どちらかといえばできていない |
| 2 どちらかといえばできている | 4 できていない |
| | 5 わからない |

問 28 つくば市の交通環境がどのようになっていることが望ましいですか。

<○は1つ>

- | |
|----------------------------|
| 1 公共交通が便利で、自動車がなくても生活できるまち |
| 2 自動車がスムーズに走行できるまち |
| 3 自転車を安心・便利に利用できるまち |
| 4 安心・便利に歩くことができるまち |

つくば駅周辺地区の活性化について

お答えは、当てはまる番号に○印をつけてください。

問29 あなたは、どれぐらい、つくばセンター地区（つくば駅周辺）を訪れますか。

<○は1つ>

- | | |
|-----------|------------|
| 1 ほぼ毎日 | 4 月1、2回程度 |
| 2 週2、3回程度 | 5 年数回程度 |
| 3 週1回程度 | 6 まったく訪れない |

▶【問29で1～5を選択した方にお聞きします】

問30 主にどのような目的でつくばセンター地区を訪れますか。

<○は1つ>

- | |
|-------------------|
| 1 娯楽 |
| 2 趣味 |
| 3 日常の用事 |
| 4 仕事 |
| 5 移動・乗り換え |
| 6 その他（具体的に：_____） |

問31 あなたは、にぎわいのあるつくばセンター地区（つくば駅周辺）にするためには、どのような取組が必要だと思いますか。

<○は1つ>

- | |
|---|
| 1 ペDESTリアンデッキ（歩行者・自転車専用道路）を活用した歩きやすい空間づくり |
| 2 商業施設や公共施設を周遊するバスの運行 |
| 3 子どもが遊べる広場の設置 |
| 4 オープンカフェや朝市の設置 |
| 5 路上パフォーマンスやイベントなど広場等でのエンターテインメントの提供 |
| 6 科学技術の展示 |
| 7 商業施設の誘致 |
| 8 駐車場の拡充 |
| 9 公共交通でのアクセスの向上 |
| 10 バーベキューなどが楽しめる広場 |
| 11 その他（具体的に：_____） |
| 12 特に必要ない（今のままで十分） |

科学のまちについて

お答えは、当てはまる番号に○印をつけるか、または番号をお選びください。

問 32 あなたは、つくばが「科学のまち」であることの恩恵を感じることがありますか。
 <○は1つ>

- | | |
|--------------|---------|
| 1 ある | 4 ない |
| 2 どちらかといえばある | 5 わからない |
| 3 あまりない | |

問 33 あなたは、つくば市は科学のまちならではの先端的な製品・サービスが、いち早く暮らしの中に活かされていると思いますか。
 <○は1つ>

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 そう思う | 3 どちらかといえばそう思わない |
| 2 どちらかと言えばそう思う | 4 そう思わない |
| | 5 わからない |

問 34 IT や AI、ビッグデータなど、新しい技術や研究成果により、将来的に便利になっていくことを期待する分野を選び、番号を以下の解答欄に3つまで記入してください：

- | |
|---|
| 1 交通・移動に関すること（自動運転、新型モビリティなど） |
| 2 医療機関におけるサービス・手続きに関すること |
| 3 健康状態の維持に関すること（病気の予防、新たな治療技術など） |
| 4 介護の負担軽減に関すること |
| 5 気象災害などの予報に関すること |
| 6 官公庁の手続きに関すること（手続きの簡素化、インターネットでの手続き等） |
| 7 金融や決済に関すること（キャッシュレス決済や、インターネットでの手続き等） |
| 8 農業の生産性向上に関すること（人手不足の解消、収量増加など） |
| 9 物流や買い物に関すること（ドローン、宅配、産地・生産者の見える化など） |
| 10 教育や子育てに関すること（遠隔教育、AI 活用、科学体験教育など） |
| 11 環境・ゴミに関すること（水質浄化、リサイクルなど） |
| 12 防犯・安全に関すること（ロボットによる見守りなど） |
| 13 特になし |

国際都市つくばについて

お答えは、当てはまる番号をお選びください。

問 35 あなたは、「国際都市」として、つくば市が取り組むべきことは何だと思いますか。

当てはまる番号を、右の回答欄に3つまで記入してください：

- 1 外国人への日常生活支援
- 2 外国人の子どもへの教育支援
- 3 留学生への支援
- 4 外国語の案内表示
- 5 学校での国際教育
- 6 外国人と交流する機会の提供
- 7 姉妹都市・友好都市との交流
- 8 国際会議やシンポジウムの誘致
- 9 海外の芸術・文化・芸能公演
- 10 国際関係機関・団体との連携による国際化推進体制の充実
- 11 その他（具体的に：_____）
- 12 特に必要ない（今のままで十分）

SDGs（持続可能な開発目標）について

お答えは、当てはまる番号に○印をつけてください。

問 36 あなたのSDGs（※1）に関する認知度について、以下の選択肢の中から最も近いものを選んでください。

<○は1つ>

- 1 よく知っている
- 2 少し知っている
- 3 名前だけは知っている
- 4 まったく知らない（今回の調査で初めて知った）

※1 SDGsとは

Sustainable Development Goals の略。2015年の国連サミットで採択された2030年までに達成するための「持続可能な開発目標」です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。つくば市は、SDGsの理念を「持続可能都市ビジョン」として反映し、取組を進めています。

問 37 SDGsや持続可能都市に関することで、関心が高いものを選び、番号を以下の解答欄に3つまで記入してください：

--	--	--

- 1 子どもを中心とした貧困の解消
- 2 全世代の健康寿命の延伸
- 3 生涯学習や科学教育など、全世代への質の高い教育の実施
- 4 女性活躍のための仕事と子育ての両立の支援
- 5 脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止
- 6 食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負荷の低減
- 7 地産地消の推進による地元農業の推進と環境負荷の低減
- 8 市民、議会、団体、企業等のパートナーシップを生かした施策の実施
- 9 その他（具体的に： _____）

幸福度について

お答えは、当てはまる番号に○印をつけるか、または当てはまる番号をお選びください。

問 38 あなたは、「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、現在どの程度幸せだと思いますか。あてはまる数字（点数）を選んでください。

<○は1つ>

とても 幸せ	←										とても 不幸
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	

問 39 あなたが、自分の幸福感を判断する際に特に重視することは何ですか。

当てはまる番号を、右の回答欄に3つまで記入してください：

- 1 健康状況
- 2 就業状況
- 3 家計の状況
- 4 自由な時間
- 5 精神的ゆとり
- 6 生きがい
- 7 余暇
- 8 家族関係
- 9 友人関係
- 10 職場の人間関係
- 11 仕事の充実感
- 12 地域コミュニティ
- 13 その他（具体的に： _____）

問 40 あなたは、心配ごとや困っていることはありますか。

<○は当てはまるものすべて>

- 1 健康のこと
- 2 老後のこと
- 3 仕事や職場のこと
- 4 結婚のこと
- 5 お金のこと
- 6 子どもの保育や教育のこと
- 7 近所づきあいのこと
- 8 住宅のこと
- 9 交通手段が不便なこと
- 10 災害や犯罪のこと
- 11 その他（具体的に： _____)
- 12 特にない

令和元年（2019年）度つくば市民意識調査報告書

令和元年（2019年）年12月

発行 つくば市

調査・編集 つくば市 政策イノベーション部 企画経営課

〒305-8555 茨城県つくば市研究学園一丁目1番地1

電話 029-883-1111（代表）
